

豊かなくらしとお互いを尊重するまちづくりに関する

調査報告書

2007年3月

三重県いなべ市

目 次

第一章 調査の概要

I. 調査概要	1
1. 調査の目的・意義	
2. 調査内容	
3. 調査の対象・方法	
4. 回収状況	
II. 分析にあたって	2
1. 属性の表示の簡略化	
2. 統計表の省略	
III. 回答者の属性別構成	2
1. 回答者全体の特徴	
2. 男女別回答者の特徴	
3. 年齢別回答者の特徴	
4. 地域別回答者の特徴	

第二章 調査の結果

I. 家庭の生活に関する実態と意識	5
1. 家族	5
(1) 家族構成	
(2) 子ども	
(3) 高齢者	
2. 住居	8
3. 家庭で何とかしたいこと	9
4. 小括	11
II. 地域の生活に関する実態と意識	13
1. 地域の変化（10年間）に関する評価	13
(1) 10年間の評価	
(2) 住民の評価と特徴	
2. 現在の地域に住み続けたいか	23
3. 地域で何とかしたいこと	24
4. 地域における活動	26
(1) 地域活動への参加	
(2) 参加していない理由	
5. 地域の人が利用する施設	29
6. 小括	30

III. 社会や地域問題に対する住民の意識	32
1. 民主主義的な意識と地域問題に対する考え方	32
2. 社会観	38
3. 社会や地域問題に関する意識相互間の関連	41
(1) 『格差』が拡大している × 民主主義・地域問題に対する考え方	
(2) 「人権が守られている」 × 民主主義・地域問題に対する考え方	
(3) 「努力が報われない」 × 民主主義・地域問題に対する考え方	
4. 民主主義的意識相互間の関連	45
5. 小括	46
IV. 市の施設の利用と事業への参加	47
1. 市の施設の利用	47
2. 福祉施策の事業への参加	47
3. 小括	49
V. 住民の生活・意識とまちづくりの課題	50
1. 住民の生活要求－まちづくりの前提	50
(1) 家庭の生活要求	
(2) 地域の生活要求	
2. 住民の地域活動とその評価－まちづくりの主体	51
3. 民主主義と地域問題に対する考え方－まちづくりの在り方への影響	51
(1) 民主主義的な意識	
(2) 社会観と民主主義的な意識	
4. まちづくりと教育・学習活動－人権教育・啓発の課題	52
(1) 住民の生活と意識－教育・学習活動の前提	
(2) 学習課題としての人権問題	
(3) 住民参加と自主的活動の支援	
資料1 「自分の将来や老後のことで、不安に思っていることや 悩んでいることがあれば自由に書いてください。」(自由記述)	57
資料2 「子育てや家族の介護のことで、不安に思っていることや 悩んでいることがあれば自由に書いてください。」(自由記述)	81
資料3 調査票	95

調 查 報 告

第一章 調査の概要

I. 調査概要

1. 調査の目的・意義

今回の住民意識調査は、いなべ市が、「豊かなくらしとお互いを尊重するまちづくり」に向けた事業をすすめていく上での基礎資料を得ることを目的に実施したものであるが、次のような意義がある。

第一は、この種の調査としては、四町合併後に実施する最初の調査だということである。合併後、一つの自治体として統一的な施策を展開するためにも、かつての四町の住民の生活や意識に違いがあるのかどうか、またどのような特徴があるのかを把握することにつながる。

第二は、意識調査といっても、対象を住民の意識に限定しないで、住民の生活実態や生活要求をも把握しながら、まちづくりの一環として人権教育・人権啓発に関わる課題を検討する調査にしたことである。

2. 調査内容

調査内容は、次の四つの柱で構成されている。

- ①家庭の生活に関する実態と意識－「家族について」「住まいについて」「家庭で何とかしたいと思っていること」の設問で構成されている。
- ②地域の生活に関する実態と意識－「10年間の変化に対する住民の評価」「地域で何とかしたいと思っていること」「地域活動への参加」「地域の施設の利用」の設問で構成されている。
- ③社会や地域問題に対する住民の意識－「民主主義的な意識と地域問題に対する考え方」「社会観」の設問で構成されている。
- ④市の施設の利用と事業への参加－「施設の利用」「福祉施策の事業への参加」の設問で構成されている。

3. 調査の対象・方法

調査は、いなべ市に居住する20歳以上の市民36,143人（2006年8月1日現在の住民基本台帳による）の中から、等間隔無作為抽出法によって抽出した5,000人を対象とした。調査は、いなべ市が主体となって、2006年9月に郵送による質問調査法によっておこなわれた。

4. 回収状況

回収は3,158通であった（回収率63.2%）。なお、回収の中には回答者の事情によって無記入に近いものもあったが、これらもふくめて集計した。

II. 分析にあたって

1. 属性の表示の簡略化

属性の個々については、簡略化して表示した。たとえば、「学歴」「職業」については次のように表示している。

(1) 学歴

- ①「不就学、小学校」は、小学校
- ②「中学校、(高等小学校)」は、中学校
- ③「高校、(旧制中学校)」は、高校
- ④「高等専門学校、短期大学、(旧制高等学校)」は、短大
- ⑤「大学、大学院」は、大学

(2) 職業

- ①「自営業主(農林・林業をふくむ)」は、自営
- ②「家族従業者(自営業を手伝っている人)」は、家族
- ③「会社(企業)や団体の経営者・管理者・役員」は、役員
- ④「常雇の被雇用者(官公庁、会社などに正社員・正職員で雇われている人)」は、常雇
- ⑤「被雇用者のうち、日雇い・臨時雇い・派遣社員・パートタイマー」は、日雇
- ⑥「学生・無職」は、無職

2. 統計表の省略

属性と各質問項目との関連がそれほど見られない場合は、統計表の表示を省略している。また、クロス集計における χ^2 検定値の表示は省略した。

III. 回答者の属性別構成

ほとんど無記入に近い回答や属性の欄が無記入であるという回答が存在するため、属性に関する回答数は、回答者総数よりやや少なくなっている。ここでは、

表1 属性別構成(全体)

属性	区分	人数(%)	小計	合計	無記入
男女	男	1425(45.9)		3105	53
	女	1680(54.1)			
年齢	20歳代	275(8.8)		3109	49
	30歳代	348(11.2)			
	40歳代	513(16.5)			
	50歳代	630(20.3)			
	60歳代	608(19.6)			
	70歳以上	735(23.6)			
学歴	小学校	95(3.1)		3069	89
	中学校	969(31.6)			
	高校	1240(40.4)			
	短大 大学	460(15.0) 305(9.9)			
職業	自営	349(12.1)		2892	266
	家族	166(5.7)			
	役員	250(8.6)			
	常雇	758(26.2)			
	日雇	544(18.8)			
	無職	825(28.5)			
暮らし	かなり余裕	43(1.4)		3100	58
	少しは余裕	286(9.2)			
	ふつう	1934(62.4)			
	少し苦しい	597(19.3)			
	非常に苦しい	240(7.7)			
地域	北勢	阿下喜小学校区	178(5.8)	963 (31.4)	3067 91
		治田小学校区	281(9.2)		
		十社小学校区	241(7.9)		
		山郷小学校区	263(8.6)		
	員弁	員弁西小学校区	297(9.7)	579	
		員弁東小学校区	282(9.2)	(18.9)	
	大安	笠間小学校区	290(9.5)	1012 (33.0)	
		三里小学校区	234(7.6)		
		石樽小学校区	320(10.4)		
		丹生川小学校区	168(5.5)		
	藤原	東藤原小学校区	79(2.6)	513 (16.7)	
		西藤原小学校区	86(2.8)		
白瀬小学校区		138(4.5)			
立田小学校区		62(2.0)			
中里小学校区		148(4.8)			

属性に関する特徴的な傾向にふれる。

1. 回答者全体の特徴（表1）

男女別構成は、男性（45.9%）、女性（54.1%）と女性の比率が高い。年齢別構成は、20歳代（8.8%）、30歳代（11.2%）、40歳代（16.5%）、50歳代（20.3%）、60歳代（19.6%）、70歳以上（23.6%）である。70歳以上がほぼ四分の一を占める。

学歴別構成は、小学校（3.1%）、中学校（31.6%）、高校（40.4%）、短大（15.0%）、大学（9.9%）である。高校が四割を占めている。

職業別構成は、自営（12.1%）、家族（5.7%）、役員（8.6%）、常雇（26.2%）、日雇（18.8%）、無職（28.5%）である。

暮らし向き別構成は、かなり余裕（1.4%）、少しは余裕（9.2%）、ふつう（62.4%）、少し苦しい（19.3%）、非常に苦しい（7.7%）である。約四分の一が苦しい（少し苦しい・非常に苦しい）と答えている。

地域別構成は、北勢（31.4%）、員弁（18.9%）、大安（33.0%）、藤原（16.7%）である。北勢・大安が三割を超えている。

2. 男女別回答者の特徴（表2）

職業別にみると、男性は、女性と比べて自営、役員、常雇の比率が高く、女性は、男性と比べて家族、日雇、無職の比率が高い。

学歴別にみても、高校までは男性と女性の比率がほとんどかわらないが、短大では女性の比率が高く、大学では、男性の比率がやや高くなっている。短大と大学をあわせた比率は、男性

表2 属性別構成（男女・年齢）

		職 業							学 歴						暮 ら し 向 き					
		自営	家族	役員	常雇	日雇	無職	合計	小学校	中学校	高校	短大	大学	合計	かなり 余 裕	少しは 余 裕	普通	少 苦 しい	非常に 苦しい	合計
男	男	246	21	204	497	116	273	1357	34	464	597	105	204	1404	19	122	860	294	114	1409
		18.1	1.5	15.0	36.6	8.5	20.1		2.4	33.0	42.5	7.5	14.5		1.3	8.7	61.0	20.9	8.1	
女	女	99	144	46	258	426	548	1521	61	494	640	355	100	1650	24	163	1047	295	123	1652
		6.5	9.5	3.0	17.0	28.0	36.0		3.7	29.9	38.8	21.5	6.1		1.5	9.9	63.4	17.9	7.4	
	合 計	345	165	250	755	542	821	2878	95	958	1237	460	304	3054	43	285	19.7	589	237	3061
		12.0	5.7	8.7	26.2	18.8	28.5		3.1	31.4	40.5	15.1	10.0		1.4	9.3	62.3	19.2	7.7	
年 齢	20歳代	0	5	27	128	46	67	273	0	4	114	81	73	272	7	29	179	37	21	273
		0.0	1.8	9.9	46.9	16.8	24.5		0.0	1.5	41.9	29.8	26.8		2.6	10.6	65.6	13.6	7.7	
	30歳代	14	18	34	139	83	49	337	0	17	189	96	42	344	1	27	205	79	34	346
		4.2	5.3	10.1	41.2	24.6	14.5		0.0	4.9	54.9	27.9	12.2		0.3	7.8	59.2	22.8	9.8	
	40歳代	23	15	70	204	155	38	505	1	25	287	118	79	510	8	56	261	127	59	511
		4.6	3.0	13.9	40.4	30.7	7.5		0.2	4.9	56.3	23.1	15.5		1.6	11.0	51.1	24.9	11.5	
50歳代	46	44	80	248	114	75	607	0	147	324	83	72	626	7	69	359	121	64	620	
	7.6	7.2	13.2	40.9	18.8	12.4		0.0	23.5	51.8	13.3	11.5		1.1	11.1	57.9	19.5	10.3		
60歳代	105	41	29	31	135	211	552	1	358	182	33	24	598	6	54	382	129	31	602	
	19.0	7.4	5.3	5.6	24.5	38.2		0.2	59.9	30.4	5.5	4.0		1.0	9.0	63.5	21.4	5.1		
70歳以上	160	43	10	5	9	383	610	93	415	142	48	14	712	14	50	519	99	29	711	
	26.2	7.0	1.6	0.8	1.5	62.8		13.1	58.3	19.9	6.7	2.0		2.0	7.0	73.0	13.9	4.1		
	合 計	348	166	250	755	542	823	2884	95	966	1238	459	304	3062	43	285	1905	592	238	3063
		12.1	5.8	8.7	26.2	18.8	28.5		3.1	31.5	40.4	15.0	9.9		1.4	9.3	62.2	19.3	7.8	

1)上段は回答者数、下段は回答者数（合計）に対する百分比

(22.0%)、女性 (27.6%) となり、女性の比率が男性を上回っている。

3. 年齢別回答者の特徴 (表2)

職業別にみても。20歳代～50歳代では常雇の比率が高く、60歳代以上では無職の比率が高い。なお、60歳代以上で、自営の比率も高くなり、70歳以上で26.2% (約四分の一) に達している。これは農業に従事する高齢者が多いことの反映であろう。

学歴別にみても。年齢が若いほど高学歴の傾向を示している。60歳代・70歳以上は、50%以上が中学校 (高等小学校を含む) であり、30歳代～50歳代は、50%以上が高校であり、20歳代では、短大・大学あわせて56.6%となっている。高学歴化の進行が顕著である。

暮らし向き別にみても。40歳代・50歳代で非常に苦しいの比率がやや高いものの、それほど大きな違いはない。70歳以上の非常に苦しいは 4.1%にとどまっている。

4. 地域別回答者の特徴 (表3)

職業別にみても。員弁が、自営の比率がやや低く、常雇の比率がやや高いものの、四地区の職業構成に大きな違いはない。暮らし向き別にみても、四つの地域の違いはほとんど見られない。

年齢別にみても。60歳代・70歳以上をあわせると、北勢 (44.0%)、員弁 (35.9%)、大安 (40.8%)、藤原 (52.8%) である。藤原では、ほぼ半数が60歳以上である。

表3 属性別構成 (地域)

		職 業							暮 ら し 向 き						年 齢						
		自営	家族	役員	常雇	日雇	無職	合計	かなり 余 裕	少しは 余 裕	普通	少 少 しい	非常に 苦しい	合計	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 以上	合計
地 域	北 勢	115	46	79	238	160	267	905	18	89	593	193	61	954	87	112	145	192	182	240	958
		12.7	5.1	8.7	26.3	17.7	29.5		1.9	9.3	62.2	20.2	6.4		9.1	11.7	15.1	20.0	19.0	25.0	
	員 弁	43	34	44	163	108	151	543	5	60	360	98	50	573	53	81	91	145	103	104	577
		7.9	6.3	8.1	30.0	19.9	27.8		0.9	10.5	62.8	17.1	8.7		9.2	14.0	15.8	25.1	17.9	18.0	
	大 安	125	57	90	241	191	248	952	15	93	608	198	83	997	94	108	200	197	182	231	1012
		13.1	6.0	9.5	25.3	20.1	26.1		1.5	9.3	61.0	19.9	8.3		9.3	10.7	19.8	19.5	18.0	22.8	
	藤 原	61	28	36	108	80	146	459	5	42	323	94	37	501	36	42	74	89	130	140	511
		13.3	6.1	7.8	23.5	17.4	31.8		1.0	8.4	64.5	18.8	7.4		7.0	8.2	14.5	17.4	25.4	27.4	
	合 計	344	165	249	750	539	812	2859	43	284	1884	583	231	3025	270	343	510	623	597	715	3058
		12.0	5.8	8.7	26.2	18.9	28.4		1.4	9.4	62.3	19.3	7.6		8.8	11.2	16.7	20.4	19.5	23.4	

1)上段は回答者数、下段は回答者数 (合計) に対する百分比

第二章 調査の結果

I. 家庭の生活に関する実態と意識

1. 家族

(1) 家族構成 (表4)

問1① あなたと同居している家族は、どのような構成ですか。(○は1つ)

比率の高い順に、核家族 (32.0%)、三世代 (26.3%)、夫婦のみ (16.3%)、二世帯 (12.0%)、その他 (9.3%)、単身世帯 (4.2%) である。三世代が約四分の一を占めていることが注目される。

表4 家族構成

年齢別にみても、20歳代～50歳代は核家族 (親と未婚の子ども) が40%を超えている。60歳代は、夫婦のみ、核家族、三世代の三つがほぼ四分の一ずつを占めている。また、二世帯・三世代をあわせると35.0%であり、約三分の一が子ども夫婦と同居している。70歳以上は、夫婦のみと三世代の比率が高くなっている。また、二世帯・三世代をあわせると49.6%であり、約半数が子ども夫婦と同居している。但し、単身世帯の比率が一番高い。

		問1① 同居している家族						合計
		単身世帯	夫婦のみ	核家族	二世帯	三世代	その他	
全 体		4.2	16.3	32.0	12.0	26.3	9.3	3079
年 齢	20 歳 代	3.4	3.0	47.8	4.5	28.0	13.4	268
	30 歳 代	1.7	6.1	49.3	13.3	22.6	7.0	345
	40 歳 代	1.6	3.9	44.5	11.6	31.3	7.1	508
	50 歳 代	2.4	16.3	40.1	13.6	15.9	11.7	624
	60 歳 代	4.7	27.7	23.2	10.8	24.2	9.5	600
	70歳以上	8.8	24.4	9.0	13.9	35.7	8.2	697
暮 らし 向 き	かなり余裕	4.8	9.5	23.8	26.2	31.0	4.8	42
	少しは余裕	3.2	20.8	20.4	13.0	33.5	9.2	284
	ふ つ う	4.2	15.8	30.0	12.5	28.4	9.2	1897
	少し苦しい	3.8	17.3	39.2	10.1	19.9	9.7	577
	非常に苦しい	4.7	11.0	46.6	9.3	16.9	11.4	236
地 域	北 勢	3.6	15.7	30.3	12.3	29.1	8.9	934
	員 弁	3.7	15.2	34.3	12.0	28.1	6.5	565
	大 安	4.4	17.1	36.3	10.1	22.3	9.8	1000
	藤 原	4.4	16.1	24.9	14.9	27.6	12.1	503

1)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比

暮らし向き別にみても、かなり余裕を省く (回答数が少ない) と、少し苦しい・非常に苦しいでは、核家族の比率が高くなり、二世帯・三世代の比率が低くなっている。これは、逆に言えば、二世帯・三世代同居の場合、経済的な事情も配慮した家族構成であることを予測させるものである。

地域別にみても、北勢と員弁はほぼ同様の傾向を示している。大安と藤原を比較すると、藤原では、二世帯・三世代をあわせた比率 (42.5%) が核家族の比率 (24.9%) を大きく上回っているのに対し、大安では、二世帯・三世代をあわせた比率 (32.4%) は核家族の比率 (36.3%) を下回っている。大安で、核家族化の傾向が見られる。

(2) 子ども (表5-1、表5-2)

問1② あなたと同居している家族の中に、次のような子どもはおられますか。
(あてはまる子どもすべてに○をつけてください)

表5-1 子どものこと

	問1② 同居している子ども(複数)						問1③ 子どものことで心配なこと(複数)														
	乳幼児	小学生	中学生	高校生	その他	合計	しつけ	健康	友だち	不登校	いじめ	成績	ゲーム	携帯電話	安全	進路	男女交際	その他	特にな	合計	
全体 (%)	336 27.9	555 46.0	385 31.9	426 35.3	13 1.1	1206	223 20.1	45 4.1	33 3.0	21 1.9	30 2.7	96 8.7	166 15.0	64 5.8	289 26.1	280 25.3	35 3.2	50 4.5	379 34.2	1107	
暮らし向き	かなり余裕	6.3	75.0	31.3	31.3	0.0	16	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	20.0	13.3	40.0	26.7	0.0	0.0	33.3	15	
	少しは余裕	39.0	51.4	25.7	25.7	1.0	105	27.6	2.0	1.0	1.0	8.2	12.2	6.1	22.4	19.4	3.1	5.1	28.6	98	
	ふつう	28.5	46.6	32.0	33.0	1.0	727	16.6	3.1	2.5	1.5	2.1	6.4	13.3	5.1	26.5	21.6	2.4	3.1	40.9	667
	少し苦しい	25.1	40.6	32.6	41.8	1.7	239	25.7	7.2	5.4	3.6	4.5	12.6	17.1	6.8	27.0	36.5	4.5	6.3	20.3	222
	非常に苦しい	24.8	46.7	33.3	41.9	1.0	105	25.5	6.1	3.1	3.1	5.1	16.3	23.5	7.1	24.5	30.6	6.1	10.2	24.5	98
地域	北勢	27.8	45.5	29.0	34.8	1.5	396	19.4	3.0	2.4	0.8	3.2	7.3	12.4	5.1	25.3	25.0	2.4	3.8	37.1	372
	員弁	33.5	42.2	25.2	34.8	0.4	230	20.3	8.9	4.0	3.5	2.0	9.4	18.8	4.0	21.8	25.2	2.0	7.4	29.7	202
	大安	24.9	47.9	36.8	34.5	1.3	386	21.7	2.5	3.9	1.9	3.1	9.5	15.6	7.5	29.2	27.0	3.9	4.5	31.8	359
	藤原	27.4	48.0	40.0	38.3	0.6	175	18.1	4.4	1.3	1.3	1.3	9.4	14.4	5.6	27.5	24.4	4.4	3.1	36.3	160
	子ども別					乳幼児	29.7	7.7	4.2	1.4	3.5	2.8	10.5	0.3	20.6	2.8	0.0	7.3	43.4	286	
						小学生	22.7	3.9	3.0	1.1	4.5	10.5	23.5	3.9	37.0	16.4	1.1	4.7	28.2	532	
						中学生	18.2	1.9	2.2	1.9	2.8	13.8	21.8	9.6	27.8	41.0	4.7	5.5	26.7	363	
						高校生	14.1	3.1	2.6	2.9	1.6	13.0	10.9	11.5	22.1	49.2	6.8	2.1	30.2	384	

1)全体欄の上段は回答数、下段は回答者数(合計)に対する百分比。複数回答のため、回答数の合計は回答者数を超える。

2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。複数回答のため、百分比の合計は100%を超える。

子どもがいると回答したのは、1,206人(38.2%)である。約三分の一強の家庭に18歳未満の子どもがいると予測できる。このうち、子どもの内訳は、乳幼児(27.9%)、小学生(46.0%)、中学生(31.9%)、高校生(35.3%)、その他(1.1%)である。

暮らし向き別にみても(かなり余裕を省く)。少しは余裕と少し苦しい・非常に苦しいを比較すると、少し苦しい・非常に苦しいにおいて高校生の比率がやや高くなっている。学費が家庭の経済的負担の一つの要因になっていることがうかがえる。

地域別にみても。乳幼児の比率が、員弁(33.5%)でやや高く、中学生の比率が、大安(36.8%)、藤原(40.0%)でやや高いが、他には特に大きな違いは見られない。

問1③ ②で○をつけた方にお聞きします。子どものことで心配なことはありますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

心配なことがあるかとの項目に回答したのは、1,107人(35.1%)である。このうち、特にないと回答したのは379人(34.2%)であるから、心配なことがあると回答したのは、728人(65.8%)となる。約三分の二である。回答した人の中で、暮らし向き別(かなり余裕を省く)と子ども別に比率(順位)をみる。

暮らし向き別にみても。少しは余裕と少し苦しい・非常に苦しいを比較すると、少し苦しい・非常に苦しいでは進路の比率が高くなっている。家庭の経済的な状況が、教育費

表5-2 暮らし向き・子ども×子どもの心配

	暮らし向き				子ども			
	少しは余裕	ふつう	少し苦しい	非常に苦しい	乳幼児	小学生	中学生	高校生
第一位	特にな	特にな	進路	進路	特にな	安全	進路	進路
	28.6	40.9	36.5	30.6	43.4	37.0	41.0	49.2
第二位	しつけ	安全	安全	しつけ	しつけ	特にな	安全	特にな
	27.6	26.5	27.0	25.5	29.7	28.2	27.8	30.2
第三位	安全	進路	しつけ	安全	安全	ゲーム	特にな	安全
	22.4	21.6	25.7	24.5	20.6	23.5	26.7	22.1
第四位	進路	しつけ	特にな	特にな	ゲーム	しつけ	ゲーム	しつけ
	19.4	16.6	20.3	24.5	10.5	22.7	21.8	14.1

の負担だけでなく学力形成にも影響を及ぼしていることをうかがわせる。

子ども別にみても。乳幼児では特にないの比率（43.4%）が高いものの、小学生では安全の比率（37.0%）が高くなっている。子どもの誘拐事件が主として小学生に集中していたことも反映している。中学生・高校生では、やはり進路問題の比率が高くなっている。

なお、地域別には、ほとんど違いが認められない。

(3) 高齢者（表6）

問1④ あなたと同居している家族の中に、高齢（65歳以上）のために介護や世話の必要な方がおられますか。（○は1つ）

回答したのは、2,829人（89.6%）である。そのうち、介護や世話の必要な人がいると回答したのは、481人（17.0%）である。

回答した人の暮らし向き別（かなり余裕を省く）と地域別を見ると、ほとんど違いが認められない。介護問題は暮らし向きや地域に関係なく同じように生じているということである。

問1⑤ ④で「1.いる」に○をつけた方にお聞きします。その方は、どこで生活されていますか。（○は1つ）

では、介護や世話の必要な人は、どこで生活しているのでしょうか。回答したのは、469人（16.6%）である。このうち、在宅（78.0%）、病院（9.8%）、施設（11.3%）、その他（0.9%）となっている。圧倒的多数が在宅介護である。

暮らし向き別にみても。非常に苦しいで、在宅の比率がやや低くなり、病院の比率がやや高くなっている。在宅での介護の余裕がなくなってきているということなのか。

表6 高齢者のこと

	問1④要介護者			問1⑤ 生活場所					問1⑥ 介護・世話をしている方								
	いる	いない	合計	在宅	病院	施設	その他	合計	配偶者	父親	母親	兄弟姉妹	同居子供	別居子供	その他	合計	
全体 (%)	481 17.0	2348 83.0	2829	366 78.0	46 9.8	53 11.3	4 0.9	469	119 33.7	9 2.5	27 7.6	9 2.5	162 45.9	8 2.3	19 5.4	353	
暮らし向き	かなり余裕	24.4	75.6	41	88.9	11.1	0.0	0.0	9	40.0	0.0	30.0	0.0	30.0	0.0	0.0	10
	少しは余裕	18.3	81.7	268	76.6	8.5	14.9	0.0	47	33.3	0.0	6.1	0.0	51.5	6.1	3.0	33
	ふつう	16.5	83.5	1738	79.9	8.1	11.3	0.7	284	33.8	2.7	6.8	2.3	47.0	1.4	5.9	219
	少し苦しい	16.6	83.4	542	75.6	12.8	10.5	1.2	86	39.0	5.1	8.5	5.1	37.3	1.7	3.4	59
	非常に苦しい	17.5	82.5	212	69.4	16.7	11.1	2.8	36	23.1	0.0	7.7	3.8	53.8	3.8	7.7	26
地域	北勢	16.9	83.1	868	73.4	11.2	14.0	1.4	143	36.7	1.0	5.1	4.1	46.9	2.0	4.1	98
	員弁	15.8	84.2	533	90.2	4.9	3.7	1.2	82	32.3	1.5	7.7	3.1	47.7	1.5	6.2	65
	大安	16.3	83.7	921	77.0	7.4	14.9	0.7	148	31.9	6.2	8.0	0.9	45.1	2.7	5.3	113
	藤原	19.6	80.4	449	76.5	16.5	7.1	0.0	85	35.2	0.0	9.9	1.4	45.1	2.8	5.6	71

1)全体欄の上段は回答者数、下段は回答者数（合計）に対する百分比。

2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。

地域別にみても。他の三つの地域と比べて、員弁の在宅の比率（90.2%）が高くなっている。

問1⑥ ⑤で「1. 在宅」に○をつけた方にお聞きします。主に介護や世話をしている方はどなたですか。介護や世話を受けている方から見た続柄でお答えください。
(○は1つ)

在宅介護の比率が高いのだが、では誰が介護や世話をしているのでしょうか。回答したのは、353人（11.2%）である。このうち、同居の子ども（45.9%）と配偶者（33.7%）の比率が圧倒的に高い。こうした傾向は、暮らし向き別にも地域別にも共通した傾向となっている。いなべ市では、二世帯・三世帯同居の比率が高いのは、経済的な事情が重なっていると同時に、高齢者介護の意味も含まれていることを予測させる。

(自由記述) 自分の将来や老後のことで、不安に思っていることや悩んでいることがあれば自由に書いてください。(資料1)

(自由記述) 子育てや家族の介護のことで、不安に思っていることや悩んでいることがあれば自由に書いてください。(資料2)

2. 住居 (表7)

問2① 現在の住まい (住居) はどれにあたりますか。(○は1つ)

回答したのは、3,122人（98.9%）である。このうち、持ち家が97.0%であり、ほとんどが持ち家である。年齢別のところで、20歳代にアパート（3.3%）が若干あるものの、圧倒的多数が持ち家であるという傾向は変わらない。暮らし向き別・地域別にみても、こうした傾向は一貫している。

このことは、未婚の子どもは親の持ち家に同居し、結婚した場合も、親と同居するか、持ち家を建てて別居しているということになる。いなべ市では、持ち家での居住が一般的になっている。

問2② あなたは、現在の住まいに何年間お住まいですか。(○は1つ)

回答したのは、3,108人（98.4%）である。3年未満（2.0%）、3年～9年（8.4%）、10年～19年（18.8%）、20年以上（70.9%）となっている。70%以上が、20年以上生活している。

年齢別にみても。他の年代と比べて、30歳代の3～9年（32.9%）と40歳代の10～19年（40.6%）の比率が高くなっている。これは、主として結婚を契機に持ち家を持つことになっている状況が反映されているといえる。

地域別にみても。他の三地区に比べて、大安が10～19年（21.0%）の比率がやや高く、20年以上（66.2%）の比率がやや低いなど、居住年数がやや短くなっている。これは、核家族の比率が高いことと関連している。

表7 住まいのこと

		問2① 現在の住まい								問2② 居住年数				
		持ち家	マンション	公住	営宅	民借	間家	アパート	社・宅寮	その他	合計	3年未満	3～9年	10～19年
全体 (%)		3028 97.0	3 0.1	12 0.4	26 0.8	17 0.5	14 0.4	22 0.7	3122	62 2.0	260 8.4	583 18.8	2203 70.9	3108
年齢	20歳代	92.0	1.1	0.4	0.7	3.3	1.5	1.1	275	5.1	8.8	17.2	69.0	274
	30歳代	93.9	0.0	0.0	2.0	1.7	1.2	1.2	347	6.6	32.9	28.6	31.8	346
	40歳代	96.7	0.0	0.0	1.2	0.4	0.6	1.2	511	1.8	10.4	40.6	47.3	512
	50歳代	97.8	0.0	0.8	1.0	0.0	0.5	0.0	627	0.6	4.0	16.2	79.1	628
	60歳代	98.8	0.0	0.2	0.8	0.0	0.0	0.2	607	1.5	4.0	9.8	84.8	604
	70歳以上	98.3	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	1.0	718	0.4	2.7	9.3	97.6	708
暮らし向き	かなり余裕	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42	7.1	7.1	14.3	71.4	42
	少しは余裕	97.9	0.3	0.0	0.3	0.7	0.7	0.0	286	2.1	6.6	15.0	76.2	286
	ふつう	97.2	0.1	0.4	0.6	0.5	0.5	0.7	1926	1.5	8.2	17.3	73.0	1920
	少し苦しい	96.1	0.0	0.7	1.5	0.3	0.3	1.0	595	2.4	9.9	22.9	64.8	593
	非常に苦しい	95.4	0.4	0.4	2.1	1.3	0.0	0.4	240	4.6	7.9	23.8	63.6	239
地域	北勢	98.6	0.0	0.1	0.7	0.2	0.1	0.2	955	1.9	6.7	19.3	72.1	953
	員弁	94.8	0.3	1.0	1.6	0.9	1.2	0.2	577	1.6	10.8	16.6	71.0	573
	大安	97.0	0.0	0.3	0.4	0.9	0.6	0.8	1077	2.6	10.2	21.0	66.2	1006
	大藤原	97.2	0.2	0.2	0.8	0.2	0.0	1.4	504	1.2	5.4	17.4	76.0	501

1)全体欄の上段は回答者数、下段は回答者数（合計）に対する百分比。

2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。

3. 家庭で何とかしたいこと（表8-1、表8-2、図1）

問3② あなたやあなたの家庭で、日ごろ何とかしなければならぬと思っていることにはどのようなことがありますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

回答したのは、2,946人（93.3%）である。比率の高い順に自分の老後のこと（41.6%）、医療費が高い（30.5%）、税金が高い（30.5%）、年金のこと（26.0%）、収入が少ない（21.0%）、家族の病気・事故（16.9%）、老人・病人の介護（16.9%）、物価が高い（16.1%）、子育てや子どもの進路（14.0%）、特にない（14.0%）などとなっている。

家庭における生活要求の特徴は、第一に、高齢者問題である。これは、さしせまった高齢者・病人の介護の問題にとどまらず、年金のこともふくんで、自分の老後の問題を伴って進行している。第二は、経済的な問題である。医療費・税金・物価が高いだけでなく、収入が少ないことが問題となっている。

年齢別にみても。まず第一は、高齢者問題である。自分の老後のことは、年齢が高いほど比率が高い。特に50歳代・60歳代は50%を超えている。ただし、年金のことは、20歳代（17.2%）、30歳代（21.5%）、40歳代（22.1%）、50歳代（35.6%）、60歳代（32.3%）、70歳以上（20.1%）と、年齢を問わず比率が高い。年金問題が、単に高齢者の問題だけでなく、保険料の支払いをふくんで、若い年齢層の関心事にもなっていることを示している。第二は経済的な問題である。収入が少ないは、若い年代で比率が高く、医療費が高いは50歳代以上で比率が高いが、税金が高いはどの年代においても比率が高くなっている。第三は、特定の年齢層の比率が高い問題である。子育てのことは30歳代・40歳代で比率が高く、結婚のことは20歳代で比率が高い。

表 8-1 家庭でなんとかしたいこと

		問3② 家庭でなんとかしたいこと (複数)																				合計		
		子育てや 子の進路	子ども などの結婚	後継者が いない	家族の病 気・事故	老人・病 人の介護	近所づ きあい	相談相手 が少ない	自分の老 後のこと	年金の こと	医療費 が高い	仕事 がない	労働時間 が長い	通勤時間 が長い	商売がよ くない	収入が 少ない	税金が 高い	物価が 高い	借金の 返済	子ども等 への虐待	配偶者等 の暴力		その他	特 にない
全体 (%)		413 14.0	363 12.3	160 5.4	498 16.9	497 16.9	215 7.3	167 5.7	1226 41.6	767 26.0	900 30.5	79 2.7	179 6.1	136 4.6	72 2.4	620 21.0	899 30.5	474 16.1	339 11.5	35 1.2	5 0.2	50 1.7	412 14.0	2946
年 齢	20歳代	6.9	26.8	2.7	16.5	13.4	5.7	4.2	15.7	17.2	15.7	3.8	14.2	11.9	2.3	33.3	28.7	10.0	11.1	0.4	0.4	1.9	18.8	261
	30歳代	26.3	15.2	1.5	16.7	9.3	13.7	7.8	22.4	21.5	20.3	6.0	11.0	7.5	1.8	30.1	31.0	15.5	21.2	1.2	0.0	2.1	15.2	335
	40歳代	39.8	6.5	2.4	15.6	18.5	8.1	3.9	33.3	22.1	22.9	2.6	9.5	5.3	2.6	29.6	31.0	16.8	21.7	1.0	0.4	2.6	10.1	493
	50歳代	11.1	17.8	4.9	19.9	23.3	8.8	5.5	56.0	35.6	31.6	2.4	7.0	4.9	2.8	23.7	33.0	15.5	12.6	2.1	0.2	1.1	8.2	613
	60歳代	3.6	12.0	9.2	18.8	14.9	6.4	5.6	52.6	32.3	44.8	1.6	1.7	2.1	2.8	16.1	32.8	19.8	6.1	1.4	0.0	1.9	11.6	576
	70歳以上	3.1	4.4	8.0	13.8	17.1	3.3	6.9	45.1	20.1	33.4	1.7	0.6	1.7	2.0	6.9	25.7	15.4	2.8	0.6	0.2	0.9	22.1	408
	暮ら し向 き	余 裕	17.1	9.8	9.8	17.1	9.8	4.9	2.4	22.0	12.2	12.2	0.0	12.2	2.4	2.4	4.9	17.1	2.4	0.0	0.0	2.4	36.6	41
少しは余裕		14.1	12.6	7.4	15.6	19.6	7.4	4.1	35.6	18.1	21.1	0.7	8.5	4.8	1.5	2.6	25.6	6.7	2.2	0.7	0.0	0.4	20.7	270
ふつう		11.6	12.3	5.0	15.4	15.4	6.0	5.0	39.9	22.6	28.1	1.5	4.8	4.0	1.5	12.2	27.4	13.1	6.5	1.0	0.1	1.7	17.6	1796
少し苦しい		18.2	12.4	4.8	17.7	19.8	8.6	6.5	48.7	36.5	37.5	4.3	8.1	5.3	3.1	42.7	37.9	24.6	22.0	1.7	0.3	1.7	3.3	581
非常に苦しい		21.0	12.6	5.9	26.5	18.9	13.9	10.1	46.6	37.4	45.8	10.5	7.1	8.0	8.8	58.8	44.1	31.1	36.1	1.7	0.4	3.4	1.7	410
地 域	北 勢	14.7	11.5	5.6	15.8	18.3	7.2	5.1	42.1	26.8	29.3	3.2	7.3	5.3	1.9	21.5	32.3	16.0	10.6	1.3	0.2	1.5	14.7	904
	員 弁	15.5	12.1	4.7	17.6	13.5	8.6	5.6	37.2	25.0	31.8	3.1	4.3	2.9	3.4	20.5	29.1	14.4	11.2	1.3	0.0	1.4	14.6	556
	大 安	14.4	12.6	5.4	17.5	17.2	6.3	5.8	42.6	25.9	29.8	2.3	6.0	4.6	2.1	20.6	29.0	16.1	13.8	1.6	0.1	2.3	13.6	951
	藤 原	11.5	12.8	5.7	17.2	18.1	7.4	5.7	43.6	25.3	32.1	1.7	6.2	5.7	3.0	21.3	31.1	17.7	9.4	0.2	0.4	1.1	13.0	470

1)全体欄の上段は回答数、下段は回答者数(合計)に対する百分比。複数回答のため、回答数の合計は回答者数を超える。
2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。複数回答のため、百分比の合計は100%を超える。

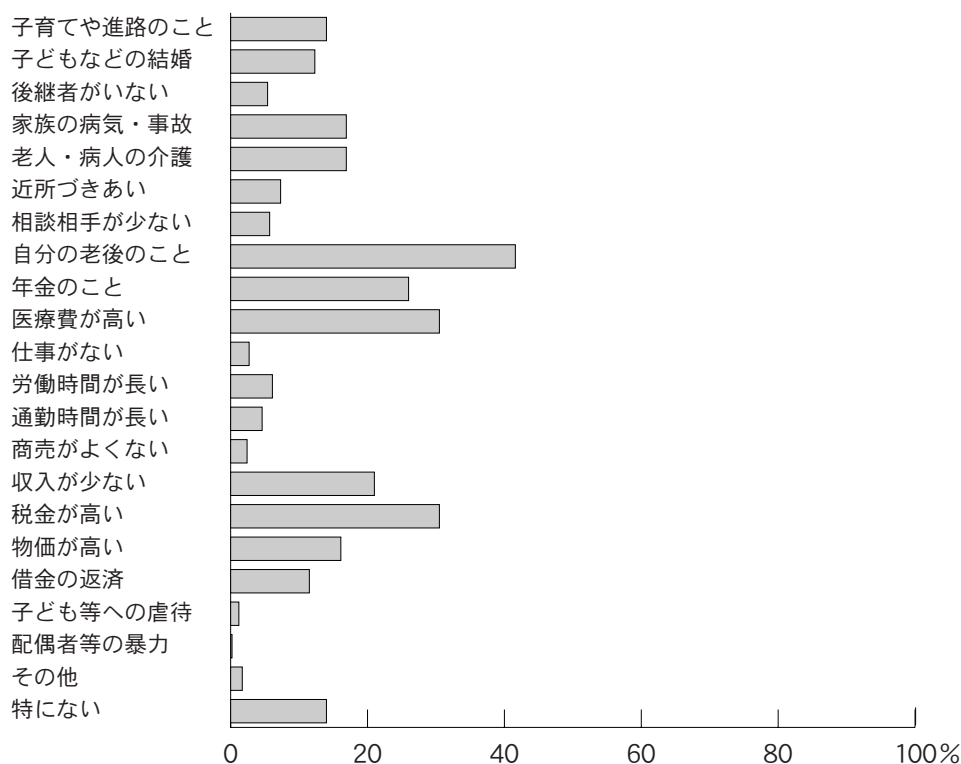


図 1

表8-2 年齢・暮らし向き×家庭で何とかしたいこと

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
年 齢	20歳代	収入が少 33.3	税金高 28.7	結 婚 26.8	特にな 18.8	年 金 17.2	病気事 16.5	老後不 15.7	医療費 15.7	労働時 14.2	介 護 13.4
	30歳代	税金高 31.0	収入が少 30.1	子育 26.3	老後不 22.4	年 金 21.5	借金返 21.2	医療費 20.3	病気事 16.7	結 婚 15.2	特にな 15.2
	40歳代	子育 39.8	老後不 33.3	税金高 31.0	収入が少 29.6	医療費 22.9	年 金 22.1	借金返 21.7	介 護 18.5	物価高 16.8	病気事 15.6
	50歳代	老後不 56.0	年 金 35.6	税金高 33.0	医療費 31.6	収入が少 23.7	介 護 23.3	病気事 19.9	結 婚 17.8	物価高 15.5	借金返 12.6
	60歳代	老後不 52.6	医療費 44.8	税金高 32.8	年 金 32.3	物価高 19.8	病気事 18.8	収入が少 16.1	介 護 14.9	結 婚 12.0	特にな 11.6
	70歳以上	老後不 45.1	医療費 33.4	税金高 25.7	特にな 22.1	年 金 20.1	介 護 17.1	物価高 15.4	病気事 13.8	--	--
	暮らし 向 き	少しは余 裕	老後不 安	税金高 い	医療費	特にな い	介 護	年 金	病気事 故	子育て	結 婚
ふつう	老後不 安	医療費	税金高 い	年 金	特にな い	病気事 故	介 護	物価高 い	結 婚	収入が 少	--
少しは苦 しい	老後不 安	収入が 少	税金高 い	医療費	年 金	物価高 い	借金返 済	介 護	子育て	病気事 故	12.2
非常に苦 しい	収入が 少	老後不 安	医療費	税金高 い	年 金	借金返 済	物価高 い	病気事 故	子育て	介 護	17.7
		58.8	46.6	45.8	44.1	37.4	36.1	31.1	26.5	21.0	18.9

暮らし向き別にみても。第一は、高齢者問題である。自分の老後のことは、少しは余裕(35.6%)、ふつう(39.9%)、少し苦しい(48.7%)、非常に苦しい(46.6%)であり、年金のことは、少しは余裕(18.1%)、ふつう(22.6%)、少し苦しい(36.5%)、非常に苦しい(37.4%)である。どちらも、少し苦しい・非常に苦しいの比率が高くなっている。第二は、経済的な問題である。税金が高いは、少しは余裕(25.6%)、ふつう(27.4%)、少し苦しい(37.9%)、非常に苦しい(44.1%)であり、医療費が高いは、少しは余裕(21.1%)、ふつう(28.1%)、少し苦しい(37.5%)、非常に苦しい(45.8%)である。いずれも暮らしが苦しいほど比率が高くなっている。また、収入が少ないは、少し苦しい(42.7%)、非常に苦しい(58.8%)の比率が特に高くなっている。

なお、地域別にはほとんど違いがない。

4. 小括

- (1) 核家族の比率(32.0%)が低く(三重県全体は59.6%=2005年国勢調査)、二世帯・三世帯の比率が相対的に高くなっている。
- (2) 住居はほとんどが持ち家である。未婚の子どもは持ち家に同居し、結婚した場合も親と同居するか、家を建てて別居していることになる。家を建てる余裕がない場合は、外にでるか(民間のアパートなど)、親との同居ということになる。
- (3) 二世帯・三世帯の比率が相対的に高い事情には、まず第一は、経済的な理由が、第二は、親の介護の問題があると考えられる。在宅で介護している人は、配偶者=高齢者(33.7%)とともに同居の子ども(45.9%)の比率が高い。
- (4) 少子・高齢化は全国的な傾向である。いなべ市でも、子ども(18歳未満)がいると回答した

のは約三分の一の世帯にとどまる。このうち、約三分の二の家庭が「心配なことがある」と答えている。乳幼児では、特にないの比率が高いものの、小学生では、安全、中学生・高校生では、進路の比率が高くなっている。

いなべ市では、介護の必要な高齢者がいる世帯は約六分の一である。そのうちの約80%が在宅介護となっている。病院や施設の体制が実情にあっていないということなのか、在宅介護の比率が高い。自由記述でも、在宅介護に対する不安・意見は多い。

- (5) 家庭で何とかしたいことは、高齢者問題と経済問題の二つが中心である。二つの問題とも、若い世代も巻き込みながらどの年代でも自覚されていること、暮らし向きの苦しい家庭に問題が現れやすくなっているのが特徴的である。

II. 地域の生活に関する実態と意識

1. 地域の変化（10年間）に関する評価

（1）10年間の評価（表9-1、図2）

11の側面から、この10年間における地域の変化をたずねた。設問は、客観的な基準を設定して確認できるものとできないものがあるが、これらを区別しないで地域の変化を住民がどのように意識しているかをみたものである。

ここでは、「「そう思う」「少し思う」をあわせて肯定的意見、「あまり思わない」「思わない」をあわせて否定的意見、「わからない」を不明として扱う。

問4① 道路・住宅などの生活環境がよくなった。（○は1つ）

回答したのは、3,064人（97.0%）である。そう思う（22.4%）、少し思う（35.4%）、あまり思わない（25.5%）、思わない（11.4%）、わからない（5.3%）である。肯定的意見（57.8%）が否定的意見（36.9%）を上回っている。この10年間で生活環境が変化したと思っている人は多い。

年齢別にみても。肯定的意見は20歳代（49.8%）、30歳代（48.4%）、40歳代（52.0%）、50歳代（58.7%）、60歳代（59.2%）、70歳以上（67.9%）である。20歳代～40歳代では、肯定的意見と否定的意見の比率が接近しているが、50歳代以上では肯定的意見の比率が高くなっている。

地域別にみても（表9-2）。肯定的意見の比率が高いのは西藤原（68.2%）、丹生川（67.5%）、白瀬（67.2%）、石樽（63.7%）、中里（60.1%）、東藤原（60.0%）である。逆に、否定的意見の比率が高いのは（40%以上）、阿下喜（47.1%）、山郷（45.7%）、立田（42.6%）、員弁西（41.6%）である。

問4② 働く場所がふえた。（○は1つ）

回答したのは、2,928人（92.7%）である。そう思う（10.5%）、少し思う（21.9%）、あまり思わない（34.1%）、思わない（19.8%）、わからない（13.7%）である。否定的意見（53.9%）が肯定的意見（32.4%）を上回っている。この10年間で働く場所が増えたと思っている人は少ない。

年齢別にみても。否定的意見は20歳代（60.6%）、30歳代（65.8%）、40歳代（59.7%）、50歳代（56.6%）、60歳代（47.6%）、70歳以上（42.3%）である。若い世代で高く、20歳代・30歳代では60%を超えている。

地域別にみても（表9-2）。否定的意見の比率が40%台なのは、員弁西（48.4%）、中里（41.2%）だけで、他の地域は50%台である。地域の違いがあまりみられない。

問4③ 暮らしの面で利用できる施設がふえた。（○は1つ）

回答したのは、3,005人（95.2%）である。そう思う（11.3%）、少し思う（30.2%）、あまり思わない（34.0%）、思わない（16.6%）、わからない（7.8%）である。肯定的意見（41.5%）に比べて否定的意見（50.6%）の比率がやや高い。この10年間で利用できる施設が増えたとはあまり思われていない。

表9-1 10年間の変化に関する評価

		問4① 生活環境がよくなった						問4② 働く場所がふえた					
		そう思う	少し思う	あまり	思わない	不明	合計	そう思う	少し思う	あまり	思わない	不明	合計
全体 (%)		687	1084	782	350	161	3064	308	641	997	580	402	2928
		22.4	35.4	25.5	11.4	5.3		10.5	21.9	34.1	19.8	13.7	
男女	男	24.2	33.8	25.5	12.6	3.9	1398	11.7	23.7	33.1	20.1	11.4	1348
	女	20.7	36.8	25.8	10.6	6.2	1627	9.5	20.4	35.1	19.7	15.3	1552
年齢	20歳代	11.8	38.0	30.3	11.8	8.1	271	5.5	18.4	39.3	21.3	15.4	272
	30歳代	11.8	36.6	30.3	12.7	8.6	347	4.6	13.0	43.5	22.3	16.5	345
	40歳代	15.3	36.7	31.2	12.4	4.5	510	7.2	23.9	42.7	17.0	9.2	511
	50歳代	19.4	39.3	25.8	12.5	2.9	623	10.6	24.8	35.5	21.1	8.0	622
	60歳代	27.8	31.4	24.1	12.1	4.0	598	14.3	25.9	25.7	21.9	12.2	575
	70歳以上	35.0	32.9	18.2	8.2	5.7	683	15.6	19.8	25.3	17.0	22.3	582
北勢	阿下喜	16.9	29.1	34.3	12.8	7.0	172	9.5	20.2	35.7	17.9	16.7	168
	治田	25.8	37.5	22.5	9.7	4.5	267	9.2	21.8	33.7	23.8	11.5	261
	十社	21.1	36.7	21.9	17.7	2.5	237	11.5	27.4	27.9	25.2	8.0	226
	山郷	16.3	33.7	31.8	14.0	4.3	258	8.6	18.4	42.4	14.7	15.9	245
員弁	員弁西	21.3	30.9	27.8	13.7	6.2	291	11.3	22.5	31.6	16.7	17.8	275
	員弁東	19.5	36.1	28.5	10.8	5.1	277	8.0	20.8	36.7	18.6	15.9	264
大安	笠間	19.0	36.7	26.0	12.1	6.2	289	9.8	21.0	38.0	16.3	14.9	276
	三里	17.4	38.7	27.0	8.7	8.3	230	8.4	19.6	39.6	16.4	16.0	225
	石樽	28.0	35.7	21.7	9.2	5.4	314	14.7	18.5	31.2	23.3	12.3	292
	丹生川	23.9	43.6	19.0	11.0	2.5	163	8.7	21.1	25.5	28.0	16.8	161
藤原	東藤原	29.3	30.7	28.0	8.0	4.0	75	11.1	20.8	36.1	20.8	11.1	72
	西藤原	32.9	35.3	18.8	10.6	2.4	85	9.9	23.5	29.6	27.2	9.9	81
	白瀬	26.9	40.3	24.6	6.0	2.2	134	10.8	23.8	39.2	16.9	9.2	130
	立田	21.3	31.1	32.8	9.8	4.9	61	13.3	28.3	31.7	21.7	5.0	60
	中里	29.7	30.4	23.2	9.4	7.2	138	15.3	34.4	27.5	13.7	9.2	131
		問4③ 利用可能な施設がふえた						問4④ 大学進学者がふえた					
		そう思う	少し思う	あまり	思わない	不明	合計	そう思う	少し思う	あまり	思わない	不明	合計
全体 (%)		341	909	1023	498	234	3005	1107	697	371	106	618	2899
		11.3	30.2	34.0	16.6	7.8		38.2	24.0	12.8	3.7	21.3	
男女	男	10.0	29.4	35.2	18.1	7.3	1381	34.8	24.7	14.3	4.4	21.8	1325
	女	12.4	31.1	33.1	15.4	7.9	1593	40.8	23.6	11.7	3.1	20.8	1545
年齢	20歳代	10.7	29.4	37.5	15.4	7.0	272	27.5	25.6	15.0	4.0	27.8	273
	30歳代	7.0	29.0	38.0	17.7	8.4	345	23.2	18.0	15.7	4.9	38.3	345
	40歳代	8.0	27.2	41.3	18.8	4.7	511	30.9	25.4	19.3	4.1	20.3	508
	50歳代	10.0	31.2	36.2	16.7	5.8	618	41.7	29.6	11.9	3.0	13.7	604
	60歳代	11.1	33.2	30.7	17.7	7.3	587	42.8	23.9	10.1	3.7	19.6	545
	70歳以上	17.7	30.1	26.2	13.8	12.2	645	49.8	20.3	8.3	3.2	18.5	601
北勢	阿下喜	12.3	33.9	34.5	12.9	6.4	171	36.1	24.9	11.2	3.6	24.3	169
	治田	11.7	29.8	33.2	19.6	5.7	265	44.3	22.1	12.2	5.0	16.4	262
	十社	10.0	31.6	32.5	19.0	6.9	231	33.3	33.3	14.7	4.4	14.2	225
	山郷	8.4	27.3	39.8	18.5	6.0	249	37.7	23.7	11.4	2.5	24.6	236
員弁	員弁西	11.4	33.5	33.1	13.2	8.9	281	38.4	21.7	15.6	3.3	21.0	276
	員弁東	16.1	33.9	32.1	10.9	6.9	274	34.7	28.6	14.5	2.3	19.8	262
大安	笠間	8.7	28.3	37.8	15.7	9.4	286	32.6	21.2	13.9	4.0	28.2	273
	三里	7.5	26.1	37.2	17.7	11.5	226	29.4	23.9	11.0	3.2	32.6	218
	石樽	12.3	31.7	31.1	15.9	9.1	309	36.4	20.6	13.4	5.2	24.4	291
	丹生川	12.3	30.2	29.0	21.6	6.8	162	43.1	23.1	10.6	5.0	18.1	160
藤原	東藤原	23.0	27.0	27.0	17.6	5.4	74	44.1	25.0	11.8	0.0	19.1	68
	西藤原	14.3	31.0	31.0	16.7	7.1	84	51.3	21.8	15.4	1.3	10.3	78
	白瀬	8.3	28.6	36.8	19.5	6.8	133	50.0	21.4	13.5	1.6	13.5	126
	立田	10.2	16.9	35.6	25.4	11.9	59	42.9	26.8	12.5	3.6	14.3	56
	中里	10.3	36.0	36.0	12.5	5.1	136	42.0	29.0	9.4	5.8	13.8	138

		問4⑤ 結婚する二人の意志の尊重						問4⑥ 女性の社会参加がふえた					
		そう思う	少し思う	あまり	思わない	不明	合計	そう思う	少し思う	あまり	思わない	不明	合計
全体 (%)		1168	759	264	91	598	2880	750	1133	486	145	475	2989
		40.6	26.4	9.2	3.2	20.8		25.1	37.9	16.3	4.9	15.9	
男	男	36.7	28.7	9.8	3.3	21.5	1313	24.3	38.8	16.0	5.1	15.7	1365
女	女	44.0	24.1	8.6	3.1	20.2	1541	25.6	37.2	16.3	4.7	16.1	1592
年 齢	20歳代	25.1	22.2	12.0	3.6	37.1	275	18.5	29.1	15.6	4.7	32.0	275
	30歳代	25.7	24.5	13.1	4.1	32.7	343	19.9	40.1	12.3	5.0	22.8	342
	40歳代	31.7	30.3	13.4	2.8	21.8	501	18.9	41.3	17.9	4.7	17.3	509
	50歳代	45.9	30.1	7.7	2.8	13.5	614	25.3	38.1	20.4	5.4	10.7	624
	60歳代	50.9	27.3	5.7	2.9	13.2	546	28.2	39.6	16.2	5.5	10.5	579
	70歳以上	49.5	20.2	6.6	3.4	20.3	580	32.6	36.4	12.9	3.9	14.0	634
北 勢	阿下喜	45.9	20.6	8.8	3.5	21.2	170	31.4	36.6	14.9	2.3	14.9	175
	治田	42.6	27.1	9.7	3.9	16.7	258	23.3	35.0	21.4	3.4	16.9	266
	十社	41.1	27.2	9.8	5.8	16.1	224	20.7	35.8	17.2	10.3	15.9	232
	山郷	36.1	27.7	9.7	1.7	24.8	238	22.8	37.0	19.9	4.1	16.3	246
員 弁	員弁西	40.4	27.9	9.2	3.3	19.1	272	27.8	37.7	14.4	5.3	14.8	284
	員弁東	38.0	34.5	9.3	1.9	16.3	258	22.0	46.3	14.2	4.9	12.7	268
大 安	笠間	37.6	22.6	9.5	2.2	28.1	274	25.4	38.5	14.5	4.2	17.3	283
	三里	34.1	25.3	11.5	2.8	26.3	217	22.9	40.4	12.1	4.9	19.7	223
	石樽	43.0	22.7	8.9	2.4	23.0	291	23.8	36.3	16.8	5.9	17.2	303
	丹生川	46.3	23.8	7.5	2.5	20.0	160	30.5	34.1	13.4	4.9	17.1	164
藤 原	東藤原	38.8	28.4	7.5	3.0	22.4	67	27.4	35.6	13.7	5.5	17.8	73
	西藤原	49.4	26.6	6.3	3.8	13.9	79	29.3	40.2	15.9	7.3	7.3	82
	白瀬	41.4	27.3	11.7	3.1	16.4	128	25.2	33.6	22.1	4.6	14.5	131
	立田	40.0	27.3	1.8	3.6	27.3	55	29.3	36.2	15.5	1.7	17.2	58
	中里	43.4	27.9	8.1	5.9	14.7	136	27.2	41.2	19.1	2.2	10.3	136
		問4⑦ 昔のしきたりにこだわらない						問4⑧ 他地域との交流がふえた					
		そう思う	少し思う	あまり	思わない	不明	合計	そう思う	少し思う	あまり	思わない	不明	合計
全体 (%)		576	1379	580	320	205	3060	331	734	1110	528	332	3035
		18.8	45.1	19.0	10.5	6.7		10.9	24.2	36.6	17.4	10.9	
男	男	20.0	46.4	17.1	9.8	6.7	1392	12.0	24.1	38.2	16.5	9.2	139
女	女	17.6	43.9	20.6	11.3	6.6	1633	9.7	24.3	35.5	18.4	12.2	1606
年 齢	20歳代	8.0	36.1	24.1	12.8	19.0	274	6.9	15.0	33.6	19.7	24.8	274
	30歳代	4.7	41.6	25.9	18.6	9.3	344	4.0	21.4	37.0	20.5	17.1	346
	40歳代	8.8	43.4	25.2	15.5	7.0	511	5.3	20.2	45.2	19.2	10.2	511
	50歳代	16.3	50.5	19.8	9.9	3.5	626	7.6	18.9	45.2	22.1	6.3	620
	60歳代	24.1	50.6	14.5	6.5	4.3	601	12.4	29.9	34.3	16.5	7.0	589
	70歳以上	35.5	41.4	12.2	5.9	5.0	674	21.8	32.8	25.1	10.2	10.1	665
北 勢	阿下喜	23.2	41.2	21.5	5.6	8.5	177	8.0	30.1	36.4	14.2	11.4	176
	治田	26.9	41.0	20.9	7.5	3.7	268	9.3	26.1	34.3	20.1	10.1	268
	十社	15.5	50.8	18.5	10.9	4.2	238	14.6	23.2	36.9	17.6	7.7	233
	山郷	15.6	44.5	21.1	9.8	9.0	256	8.6	22.0	44.7	16.1	8.6	255
員 弁	員弁西	15.5	44.1	20.0	15.2	5.2	290	10.5	26.6	36.4	17.1	9.4	286
	員弁東	18.0	51.8	12.9	7.9	9.4	278	10.5	24.0	40.4	14.2	10.9	275
大 安	笠間	17.0	41.0	20.1	14.2	7.6	288	10.1	21.7	34.3	19.6	14.3	286
	三里	14.5	48.2	16.7	7.5	13.2	228	6.2	19.0	38.1	21.2	15.5	226
	石樽	19.0	45.4	18.6	13.4	3.6	306	13.2	23.2	31.6	19.4	12.6	310
	丹生川	16.8	42.5	22.8	12.6	5.4	167	13.3	26.5	29.5	19.9	10.8	166
藤 原	東藤原	25.3	52.0	12.0	9.3	1.3	75	14.7	25.3	33.3	16.0	10.7	75
	西藤原	27.4	41.7	17.9	8.3	4.8	84	16.9	26.5	39.8	13.3	3.6	83
	白瀬	14.7	45.6	23.5	9.6	6.6	136	6.7	24.6	42.5	16.4	9.7	134
	立田	23.0	41.0	19.7	8.2	8.2	61	10.5	26.3	33.3	17.5	12.3	57
	中里	20.9	47.5	19.4	7.9	4.3	139	11.6	26.8	38.4	14.5	8.7	138

		問4⑨ 住民相互のまとまりが進んだ						問4⑩ 地域行事への参加者が増えた					
		そう思う	少し思う	あまり	思わない	不明	合計	そう思う	少し思う	あまり	思わない	不明	合計
全体 (%)		148 4.9	541 17.9	1339 44.4	587 19.5	399 13.2	3014	254 8.4	593 19.5	1151 37.9	612 20.2	427 14.1	3037
男女	男	4.6	19.6	45.3	19.8	10.7	1383	7.8	19.7	40.1	21.3	11.2	1388
	女	5.1	16.2	44.1	19.4	15.1	1595	8.6	19.0	36.5	19.5	16.4	1612
年齢	20歳代	3.7	10.3	38.5	19.4	28.2	273	3.3	9.9	30.3	25.9	30.7	274
	30歳代	2.6	15.2	42.3	21.3	18.7	343	2.6	15.7	37.1	21.4	23.2	345
	40歳代	1.0	13.2	51.4	22.0	12.4	508	1.4	12.5	46.6	26.8	12.7	511
	50歳代	2.3	15.1	51.6	23.2	7.8	616	3.5	14.9	44.9	27.1	9.5	623
	60歳代	6.8	20.1	44.2	19.2	9.7	588	11.0	25.5	37.0	17.4	9.1	592
	70歳以上	10.5	26.6	36.8	13.7	12.3	657	20.7	29.5	29.8	8.6	11.5	662
北勢	阿下喜	3.4	21.5	42.9	18.6	13.6	177	4.5	19.3	43.8	17.0	15.3	176
	治田	4.4	17.6	40.7	26.0	11.4	273	11.0	19.0	32.2	23.4	14.3	273
	十社	6.1	16.0	45.9	20.8	11.3	231	8.2	22.3	39.5	18.9	11.2	233
	山郷	6.0	14.7	49.6	17.5	12.3	252	10.0	18.3	39.8	19.1	12.7	251
員弁	員弁西	4.3	15.3	49.1	18.5	12.8	281	6.9	17.7	36.8	23.6	14.9	288
	員弁東	4.0	19.0	45.8	17.6	13.6	273	5.5	20.2	40.4	20.6	13.2	272
大安	笠間	3.9	13.2	45.9	24.2	12.8	281	7.4	13.7	37.0	27.8	14.1	284
	三里	1.8	15.0	43.2	20.3	19.8	227	3.9	18.7	41.3	18.3	17.8	230
	石樽	4.7	18.3	44.2	17.6	15.3	301	7.5	17.9	41.0	17.3	16.3	307
	丹生川	6.6	19.2	37.7	21.6	15.0	167	10.2	22.3	39.2	15.7	12.7	166
藤原	東藤原	12.3	20.5	47.9	9.6	9.6	73	9.3	25.3	29.3	21.3	14.7	75
	西藤原	8.4	37.3	37.3	16.9	0.0	83	15.7	26.5	33.7	21.7	2.4	83
	白瀬	3.8	17.4	47.0	19.7	12.1	132	9.0	20.9	36.6	21.6	11.9	134
	立田	10.7	30.4	37.5	12.5	8.9	56	15.3	27.1	25.4	15.3	16.9	59
	中里	5.8	23.4	45.3	13.9	11.7	137	13.6	22.1	38.6	15.7	10.0	140
		問4⑪ お互いの人権の尊重が進んだ											
		そう思う	少し思う	あまり	思わない	不明	合計						
全体 (%)		280 9.3	916 30.5	898 29.9	334 11.1	578 19.2	3006						
男女	男	9.9	31.5	31.8	11.9	14.9	1379						
	女	8.7	29.2	28.5	10.6	23.0	1590						
年齢	20歳代	6.2	22.5	26.9	9.8	34.5	275						
	30歳代	3.5	20.7	31.2	14.3	30.3	343						
	40歳代	3.7	27.0	38.3	9.7	21.3	507						
	50歳代	5.8	33.5	34.3	13.0	13.4	621						
	60歳代	13.6	34.4	25.6	12.4	14.1	582						
	70歳以上	18.0	34.5	23.8	8.3	15.4	650						
北勢	阿下喜	11.9	22.0	33.3	14.1	18.6	177						
	治田	9.2	32.7	29.8	12.5	15.8	272						
	十社	8.2	30.6	36.6	9.1	15.5	232						
	山郷	10.5	26.2	29.0	11.7	22.6	248						
員弁	員弁西	7.7	26.4	33.5	14.8	17.6	284						
	員弁東	6.6	31.3	32.0	10.3	19.9	272						
大安	笠間	8.1	33.0	27.7	13.3	17.9	285						
	三里	7.5	30.7	27.2	7.9	26.8	228						
	石樽	10.7	32.7	28.3	9.0	19.3	300						
	丹生川	11.0	34.4	27.0	6.7	20.9	163						
藤原	東藤原	14.1	31.0	23.9	11.3	19.7	71						
	西藤原	18.5	32.1	25.9	11.1	12.3	81						
	白瀬	6.0	34.6	33.1	11.3	15.0	133						
	立田	13.6	27.1	18.6	11.9	28.8	59						
	中里	11.0	33.8	27.9	8.8	18.4	136						

1)全体欄の上段は回答者数、下段は回答者数（合計）に対する百分比。

2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。

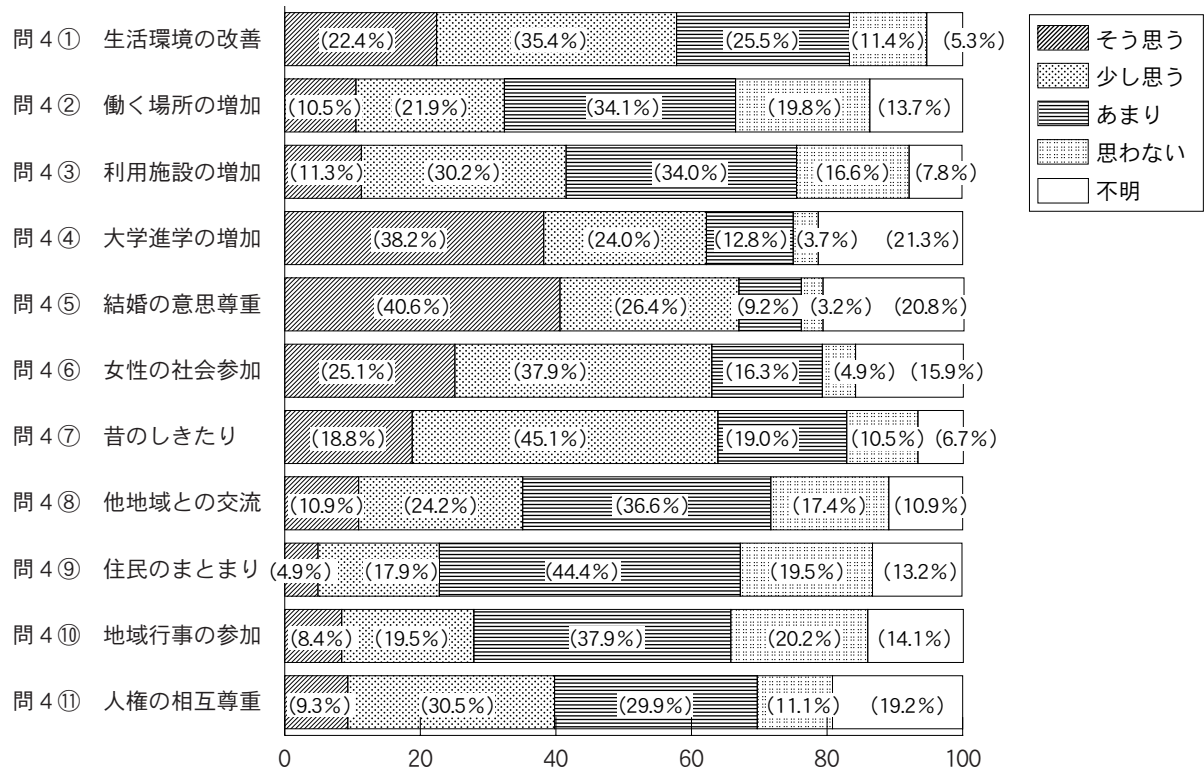


図 2

年齢別にみても、否定的意見は20歳代（52.9%）、30歳代（55.7%）、40歳代（60.1%）、50歳代（52.9%）、60歳代（48.4%）、70歳以上（40.0%）である。70歳以上の比率がやや低い、他の年代はそれほど違いがない。

地域別にみても（表9-2）。肯定が否定を上回っているのは、員弁東と東藤原の二地域だけで、他は否定が肯定を上回っている。特に、山郷、三里、白瀬、立田の地域では、否定が肯定を大きく上回っている（20%前後）。

表9-2

		問4① 生活環境			問4② 働く場所			問4③ 利用施設		
		肯定	否定	不明	肯定	否定	不明	肯定	否定	不明
北勢	阿下喜	45.9	47.1	7.0	29.8	53.6	16.7	46.2	47.4	6.4
	治田	63.3	32.2	4.5	31.0	57.5	11.5	41.5	52.8	5.7
	十社	57.8	39.7	2.5	38.9	53.1	8.0	41.6	51.5	6.9
	山郷	50.0	45.7	4.3	26.9	57.1	15.9	35.7	58.2	6.0
員弁	員弁西	52.2	41.6	6.2	33.8	48.4	17.8	44.8	46.3	8.9
	員弁東	55.6	39.4	5.1	28.8	55.3	15.9	50.0	43.1	6.9
大安	笠間	55.7	38.1	6.2	30.8	54.3	14.9	37.1	53.5	9.4
	三里	56.1	35.7	8.3	28.0	56.0	16.0	33.6	54.9	11.5
	石樽	63.7	30.9	5.4	33.2	54.5	12.3	44.0	46.9	9.1
	丹生川	67.5	30.1	2.5	29.8	53.4	16.8	42.6	50.6	6.8
藤原	東藤原	60.0	36.0	4.0	31.9	56.9	11.1	50.0	44.6	5.4
	西藤原	68.2	29.4	2.4	33.3	56.8	9.9	45.2	47.6	7.1
	白瀬	67.2	30.6	2.2	34.6	56.2	9.2	36.8	56.4	6.8
	立田	52.4	42.6	4.9	41.7	53.3	5.0	27.1	61.0	11.9
	中里	60.1	32.6	7.2	49.6	41.2	9.2	46.3	48.5	5.1

1)肯定・否定の比率は、四捨五入の関係で、表9-1の数字の合計とは異なる場合がある。

問4④ 大学に進学する子どもたちがふえた。(○は1つ)

回答したのは、2,899人(91.8%)である。そう思う(38.2%)、少し思う(24.0%)、あまり思わない(12.8%)、思わない(3.7%)、わからない(21.3%)である。肯定的意見(62.2%)が否定的意見(16.5%)を大きく上回っている。この10年間で、大学に進学する子どもたちが増加したと思っている人は多い。但し、不明の比率も高い。

年齢別にみてる。肯定的意見は20歳代(53.1%)、30歳代(41.2%)、40歳代(56.3%)、50歳代(71.3%)、60歳代(66.7%)、70歳以上(70.1%)である。年齢による違いがある。若い世代では肯定的意見の比率が低く、不明の比率も高い(特に30歳代)。これは、すでに一定の比率で大学進学者が存在する若い世代にとっては、10年前と比較してもそれほど変化したとは意識されにくいということであろう。

地域別にみてる(表9-3)。肯定的意見の比率は、西藤原(73.1%)、白瀬(71.4%)、中里(71.0%)では70%を超えているが、笠間(53.8%)、三里(53.2%)、石樽(57.0%)では50%台である。後者の三地域が50%台にとどまっているのは、不明の比率の高さが影響している。

問4⑤ 結婚する2人の意志が尊重されるようになった。(○は1つ)

回答したのは、2,880人(91.2%)である。そう思う(40.6%)、少し思う(26.4%)、あまり思わない(9.2%)、思わない(3.2%)、わからない(20.8%)である。肯定的意見(67.0%)が否定的意見(12.4%)を大きく上回っている。この10年間で、自由な結婚が前進したと思っている人は多い。但し、不明の比率も高い。

年齢別にみてる。肯定的意見の比率は、20歳代(47.3%)、30歳代(50.2%)、40歳代(62.0%)、50歳代(76.0%)、60歳代(78.2%)、70歳以上(69.7%)である。20歳代・30歳代では、他の年代に比べて肯定的意見の比率が低く、不明の比率が高い(30%を超えている)。これは、「大学に進学する子どもたちがふえた」と同様に、すでにある程度自由な結婚が実現してきている20歳代・30歳代にとっては、10年前と比較してもそれほど変化したとは意識されにくいということであろう。

地域別にみてる(表9-3)。肯定的意見の比率は山郷(63.9%)、笠間(60.2%)、三里(59.4%)の三地域がやや低いが、これは不明の比率の高さが影響している。

問4⑥ 社会的な活動に参加する女性がふえた。(○は1つ)

回答したのは、2,989人(94.6%)である。そう思う(25.1%)、少し思う(37.9%)、あまり思わない(16.3%)、思わない(4.9%)、わからない(15.9%)である。肯定的意見(63.0%)が否定的意見(21.2%)を大きく上回っている。この10年間で、社会的な活動に参加する女性が増えたと思っている人は多い。

年齢別にみてる。肯定的意見の比率は、20歳代(47.6%)、30歳代(60.0%)、40歳代(60.2%)、50歳代(63.4%)、60歳代(67.8%)、70歳以上(69.0%)である。20歳代では、他の年代と比べて肯定的意見の比率が低く、不明の比率が高い。

地域別にみても（表9-3）。肯定的意見の比率が50%台は、山郷（59.8%）、白瀬（58.8%）、治田（58.3%）、十社（56.5%）だけで、他の地域は60%台である。地域の違いがあまりみられない。

表9-3

		問4④ 大学進学			問4⑤ 結婚の意志			問4⑥ 社会的活動		
		肯定	否定	不明	肯定	否定	不明	肯定	否定	不明
北勢	阿下喜	60.9	14.8	24.3	66.5	12.4	21.2	68.0	17.1	14.9
	治田	66.4	17.2	16.4	69.8	13.6	16.7	58.3	24.8	16.9
	十社	66.7	19.1	14.2	68.3	15.6	16.1	56.5	27.6	15.9
	山郷	61.4	14.0	24.6	63.9	11.3	24.8	59.8	24.0	16.3
員弁	員弁西	60.1	18.8	21.0	68.4	12.5	19.1	65.5	19.7	14.8
	員弁東	63.4	16.8	19.8	72.5	11.2	16.3	68.3	19.0	12.7
大安	笠間	53.8	17.9	28.2	60.2	11.7	28.1	64.0	18.7	17.3
	三里	53.2	14.2	32.6	59.4	14.3	26.3	63.2	17.0	19.7
	石樽	57.0	18.6	24.4	65.6	11.3	23.0	60.1	22.8	17.2
	丹生川	66.3	15.6	18.1	70.0	10.0	20.0	64.6	18.3	17.1
藤原	東藤原	69.1	11.8	19.1	67.2	10.4	22.4	63.0	19.2	17.8
	西藤原	73.1	16.7	10.3	75.9	10.1	13.9	69.5	23.2	7.3
	白瀬	71.4	15.1	13.5	68.8	14.8	16.4	58.8	26.7	14.5
	立田	69.6	16.1	14.3	67.3	5.5	27.3	65.5	17.2	17.2
	中里	71.0	15.2	13.8	71.3	14.0	14.7	68.4	21.3	10.3

1)肯定・否定の比率は、四捨五入の関係で、表9-1の数字の合計とは異なる場合がある。

問4⑦ 昔からのしきたりにこだわらなくなった。(○は1つ)

回答したのは、3,060人（96.9%）である。そう思う（18.8%）、少し思う（45.1%）、あまり思わない（19.0%）、思わない（10.5%）、わからない（6.7%）である。肯定的意見（63.9%）が否定的意見（29.5%）を大きく上回っている。この10年間で、昔からのしきたりにこだわらなくなったと思っている人は多い。

年齢別にみても。肯定的意見の比率は、20歳代（44.1%）、30歳代（46.3%）、40歳代（52.2%）、50歳代（66.8%）、60歳代（74.7%）、70歳以上（76.9%）である。年齢が高いほど比率が高く、60歳代以上では70%を超えている。

地域別にみても（表9-4）。肯定的意見の比率は東藤原（77.3%）が高く、逆に、員弁西（59.7%）、丹生川（59.3%）、笠間（58.0%）が50%台で、他の地域は60%台である。

問4⑧ 他の地域の人たちと交流する機会がふえた。(○は1つ)

回答したのは、3,035人（96.1%）である。そう思う（10.9%）、少し思う（24.2%）、あまり思わない（36.6%）、思わない（17.4%）、わからない（10.9%）である。否定的意見（54.0%）が肯定的意見（35.1%）を上回っている。この10年間で、他地域との交流が進んだと思っている人は少ない。

年齢別にみても。否定的意見の比率は、20歳代（53.3%）、30歳代（57.5%）、40歳代（64.4%）、50歳代（67.3%）、60歳代（50.8%）、70歳以上（35.3%）である。70歳以上の比率は低いものの、特に30歳代・40歳代では60%を超えている。20歳代・30歳代では不明の比率も高い。

地域別にみても（表9-4）。否定的意見の比率が高いのは、山郷（60.8%）、三里（59.3%）、白瀬（59.0%）などの地域である。

表9-4

		問4⑦ しきたり			問4⑧ 交流の機会			問4⑨ まとまり		
		肯定	否定	不明	肯定	否定	不明	肯定	否定	不明
北勢	阿下喜	64.4	27.1	8.5	38.1	50.6	11.4	24.9	61.6	13.6
	治田	67.9	28.4	3.7	35.4	54.5	10.1	22.0	66.7	11.4
	十社	66.4	29.4	4.2	37.8	54.5	7.7	22.1	66.7	11.3
	山郷	60.2	30.9	9.0	30.6	60.8	8.6	20.6	67.1	12.3
員弁	員弁西	59.7	35.2	5.2	37.1	53.5	9.4	19.6	67.6	12.8
	員弁東	69.8	20.9	9.4	34.5	54.5	10.9	23.1	63.4	13.6
大安	笠間	58.0	34.4	7.6	31.8	53.8	14.3	17.1	70.1	12.8
	三里	62.7	24.1	13.2	25.2	59.3	15.5	16.7	63.4	19.8
	石樽	64.4	32.0	3.6	36.5	51.0	12.6	22.9	61.8	15.3
	丹生川	59.3	35.3	5.4	39.8	49.4	10.8	25.7	59.3	15.0
藤原	東藤原	77.3	21.3	1.3	40.0	49.3	10.7	32.9	57.5	9.6
	西藤原	69.0	26.2	4.8	43.4	53.0	3.6	45.8	54.2	0.0
	白瀬	60.3	33.1	6.6	31.3	59.0	9.7	21.2	66.7	12.1
	立田	63.9	27.9	8.2	36.8	50.9	12.3	41.1	50.0	8.9
	中里	68.3	27.3	4.3	38.4	52.9	8.7	29.2	59.1	11.7

1)肯定・否定の比率は、四捨五入の関係で、表9-1の数字の合計とは異なる場合がある。

問4⑨ 住民相互のまとまりや助け合いが進んだ。(○は1つ)

回答したのは、3,014人（95.4%）である。そう思う（4.9%）、少し思う（17.9%）、あまり思わない（44.4%）、思わない（19.5%）、わからない（13.2%）である。否定的意見（63.9%）が肯定的意見（22.8%）を大きく上回っている。この10年間で、住民相互のまとまりや助け合いが進んだと思っている人は少ない。

年齢別にみても。否定的意見は20歳代（57.9%）、30歳代（63.6%）、40歳代（73.4%）、50歳代（74.8%）、60歳代（63.4%）、70歳以上（50.5%）である。特に40歳代・50歳代の比率が高く、70%を超えている。なお、20歳代・30歳代では不明の比率が高い。

地域別にみても（表9-4）。否定的意見の比率は、笠間（70.1%）が70%を超えているが、逆に丹生川（59.3%）、中里（59.1%）、東藤原（57.5%）、西藤原（54.2%）、立田（50.0%）は50%台で、他の地域は60%台である。

問4⑩ 地域の行事に参加する人が多くなった。(○は1つ)

回答したのは、3,037人（96.2%）である。そう思う（8.4%）、少し思う（19.5%）、あまり思わない（37.9%）、思わない（20.2%）、わからない（14.1%）である。否定的意見（58.1%）が肯定的意見（27.9%）を大きく上回っている。この10年間で、地域の行事に参加する人が増えたと思っている人は少ない。

年齢別にみても。否定的意見の比率は、20歳代（56.2%）、30歳代（58.5%）、40歳代（73.4%）、50歳代（72.0%）、60歳代（54.4%）、70歳以上（38.4%）である。70歳以上の比率は低いものの、40歳代・50歳代の比率が特に高く、70%を超えている。なお、20歳代・30歳代では

不明の比率が高い。

地域別にみても（表9-5）。否定的意見の比率は、笠間（64.8%）、阿下喜（60.8%）、員弁東（61.0%）、員弁西（60.4%）で60%を超えている。逆に、立田（40.7%）では40%台で、他の地域は50%台である。

問4⑩ お互いの人権が尊重されるようになった。（○は1つ）

回答したのは、3,006人（95.2%）である。そう思う（9.3%）、少し思う（30.5%）、あまり思わない（29.9%）、思わない（11.1%）、わからない（19.2%）である。肯定的意見（39.8%）と否定的意見（41.0%）がほとんど同じ比率である。この10年間で、お互いの人権が尊重されるようになったと思う人はあまり多くない。

年齢別にみても。肯定的意見の比率は、20歳代（28.7%）、30歳代（24.2%）、40歳代（30.7%）、50歳代（39.3%）、60歳代（48.0%）、70歳以上（52.5%）である。年代が高いほど比率が高くなっている。なお20歳代・30歳代では不明の比率が高い。

地域別にみても（表9-5）。肯定的意見の比率は、西藤原（50.6%）で50%を超えているが、十社（38.6%）、三里（38.2%）、員弁東（37.9%）、山郷（36.7%）、員弁西（34.2%）、阿下喜（33.9%）では30%台である。他の地域は40%台である。

表9-5

		問4⑩地域の行事			問4⑩互いの人権		
		肯定	否定	不明	肯定	否定	不明
北勢	阿下喜	23.9	60.8	15.3	33.9	47.5	18.6
	治田	30.0	55.7	14.3	41.9	42.3	15.8
	十社	30.5	58.4	11.2	38.6	45.7	15.5
	山郷	28.3	59.0	12.7	36.7	40.7	22.6
員弁	員弁西	24.7	60.4	14.9	34.2	48.2	17.6
	員弁東	25.7	61.0	13.2	37.9	42.3	19.9
大安	笠間	21.1	64.8	14.1	41.1	41.1	17.9
	三里	22.6	59.6	17.8	38.2	35.1	26.8
	石樽	25.4	58.3	16.3	43.3	37.3	19.3
	丹生川	32.5	54.8	12.7	45.4	33.7	20.9
藤原	東藤原	34.7	50.7	14.7	45.1	35.2	19.7
	西藤原	42.2	55.4	2.4	50.6	37.0	12.3
	白瀬	29.9	58.2	11.9	40.6	44.4	15.0
	立田	42.4	40.7	16.9	40.7	30.5	28.8
	中里	35.7	54.3	10.0	44.9	36.8	18.4

1)肯定・否定の比率は、四捨五入の関係で、表9-1の数字の合計とは異なる場合がある。

(2) 住民の評価と特徴

10年間の地域の変化に対する住民評価の特徴について、内容別、年齢別、地域別の三つの側面から検討する。

ア. 内容別特徴

11の項目に対する評価は、三つに分類できる。

第一は、全体として住民が肯定的に評価している項目である。「道路・住宅などの生活環境がよくなった」では、肯定的意見（57.8%）、否定的意見（36.9%）であり、「大学に進学する子どもた

ちがふえた」では、肯定的意見（62.2%）、否定的意見（16.5%）であり、「結婚する2人の意志が尊重されるようになった」では、肯定的意見（67.0%）、否定的意見（12.4%）であり、「社会的な活動に参加する女性がふえた」では、肯定的意見（63.0%）、否定的意見（21.2%）であり、「昔からのしきたりにこだわらなくなった」では、肯定的意見（63.9%）、否定的意見（29.5%）である。いずれも肯定的意見が否定的意見を上回っており（特に後者の四項目が顕著）、住民自身に変化の大きさが意識されている。

第二は、全体として住民が否定的に評価している項目である。「働く場所がふえた」では、否定的意見（53.9%）、肯定的意見（32.4%）であり、「他の地域の人たちと交流する機会がふえた」では、否定的意見（54.0%）、肯定的意見（35.1%）であり、「住民相互のまとまりや助け合いが進んだ」では、否定的意見（63.9%）、肯定的意見（22.8%）であり、「地域の行事に参加する人が多くなった」では、否定的意見（58.1%）、肯定的意見（27.9%）である。いずれも否定的意見が肯定的意見を上回っており、住民自身は変化について否定的である。

第三は、肯定的意見と否定的意見にあまり違いがない項目である。「くらしの面で利用できる施設がふえた」では、肯定的意見（41.5%）、否定的意見（50.6%）であり、「お互いの人権が尊重されるようになった」では、肯定的意見（39.8%）、否定的意見（41.0%）である。住民にはそれほど変化したとは思われていないということである。

以上の評価は、実際の変化とは必ずしも適合していない場合がある。事実としては変化しているのにそれほど変化していないと意識されたり、逆に、それほど変化していないのに変化してしていると意識されたりするからである。こうした評価の仕方には、住民の要求・願いが反映されていると考えるべきである。

イ. 年齢別特徴

11の項目に対する評価には、次のような特徴がある。

第一は、すべての項目で、年齢が高くなるほど肯定的意見の比率が高くなる傾向にあることである。たとえば、否定的意見の比率が特に高い「住民相互のまとまりや助け合いが進んだ」でも、肯定的意見は、20歳代（14.0%）、30歳代（17.8%）、40歳代（14.2%）、50歳代（17.4%）、60歳代（26.9%）、70歳以上（37.1%）である。60歳代・70歳以上の比率が高い。これは、年齢が高いほど、自らの生活体験から、戦後の変化の大きさの実感（10年間に限定されない）が反映されているのであろう。

第二は、若い年代で不明の比率が高い項目があることである。不明の比率は、「大学に進学する子どもたちがふえた」では、20歳代（27.8%）、30歳代（38.3%）であり、「結婚する2人の意志が尊重されるようになった」では、20歳代（37.1%）、30歳代（32.7%）であり、「社会的な活動に参加する女性がふえた」では、20歳代（32.0%）、30歳代（22.8%）であり、「地域の行事に参加する人が多くなった」では、20歳代（30.7%）、30歳代（23.2%）であり、「お互いの人権が尊重されるようになった」では、20歳代（34.5%）、30歳代（30.3%）であり、「昔からのしきたりにこだわらなくなった」では、20歳代（19.0%）であり、「他の地域の人たちと交流する機会がふえた」では、20歳代（24.8%）であり、「住民相互のまとまりや助け合いが進んだ」では、20歳代（28.2%）である。いずれも他の年代に比べて比率が高くなっている。これは、年齢が若いことによって、10年前との違いがわかりにくいということであろう。年齢が高い層と比べれば、こうした傾向になりやすい。

ウ. 地域別特徴

11の項目に対する評価には、地域による違いが見られる項目とあまり見られない項目がある。

第一は、不明の比率も配慮すると、「働く場所がふえた」「大学に進学する子どもたちがふえた」「結婚する2人の意志が尊重されるようになった」「社会的な活動に参加する女性がふえた」の項目は、あまり違いが見られない。

第二は、違いが見られる項目のうち、「道路・住宅などの生活環境がよくなった」「くらしの面で利用できる施設がふえた」は、具体的な行政施策に関連している。二つの項目とも否定的意見の比率が高い地域があるなど地域的な違いがあり、検討を要する。また、「住民相互のまとめりや助け合いが進んだ」「地域の行事に参加する人が多くなった」は、住民の地域活動に直接関連している。これも、二つの項目で否定的意見の比率の高い地域があるなど地域的な違いがあり、検討を要する。

2. 現在の地域に住み続けたいか（表10）

問5 現在、あなた（と家族）が住んでいる地域にこのまま住み続けたいですか。
（○は1つ）

回答したのは、3,066人（97.1%）である。ずっと住み続けたい（63.9%）、できれば引っ越したい（11.1%）、わからない（22.7%）、その他（2.3%）である。

年齢別にみても。ずっと住み続けたいは、20歳代（39.2%）、30歳代（45.5%）、40歳代（46.2%）、50歳代（61.1%）、60歳代（77.9%）、70歳以上（86.6%）である。年齢が高くなるほど、住みなれた地域に住み続けたいという思いが強くなるのは当然であろう。また、わからないは、20歳代（44.3%）、30歳代（35.4%）、40歳代（34.1%）、50歳代（24.0%）、60歳代（11.5%）、70歳以上（7.6%）である。年齢が若いほど、どこの地域に住むかの判断は、家族の事情（就職・異動・結婚など）に左右される。わからないの比率が多いのは、こうした事情が反映していると思われる。

暮らし向き別にみても（かなり余裕があるは省く）。ずっと住み続けたいは、少しは余裕がある（68.9%）、ふつう（67.7%）、少し苦しい（55.3%）、非常に苦しい（43.2%）である。暮らしが苦しいほど比率が低い。また、できれば引っ越したいは、少しは余裕がある（9.2%）、ふつう（8.4%）、少し苦しい（15.0%）、非常に苦しい（27.4%）である。暮らしが苦しいほど比率が高い。引っ越したい事情は、家庭の暮らし向きに関係しているといえる。

地域別にみても。藤原で、できれば引っ越したいの比率がやや低いものの、地域の違いは

表10 住み続けたいか

		問5 地域に住み続けたいか				合計
		住み続けたい	引っ越したい	わからない	その他	
全体 (%)		1958 63.9	340 11.1	697 22.7	71 2.3	3066
年 齢	20歳代	39.2	12.5	44.3	4.0	273
	30歳代	45.5	16.5	35.4	2.6	345
	40歳代	46.2	17.4	34.1	2.3	511
	50歳代	61.1	13.0	24.0	1.9	624
	60歳代	77.9	7.5	11.5	3.1	585
	70歳以上	86.6	4.8	7.6	1.0	693
	暮 ら し 向 き	かなり余裕	78.6	9.5	11.9	0.0
少しは余裕		68.9	9.2	19.4	2.5	283
ふつう		67.7	8.4	21.9	2.0	1887
少し苦しい		55.3	15.0	26.6	3.1	580
非常に苦しい		43.2	27.4	26.9	2.6	234
地 域	北勢	66.1	10.5	21.6	1.8	943
	員弁	60.6	11.6	25.1	2.6	569
	大安	62.3	12.7	23.1	1.8	990
	藤原	68.0	7.9	20.2	3.9	491

1)全体欄の上段は回答者数、下段は回答者数（合計）に対する百分比。

2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。

それほどみられない。なお、「できれば引っ越したい」事情の検討は、後の項目でもおこなう。

3. 地域で何とかしたいこと（表11-1、表11-2、図3）

問6 あなた（と家族）が住んでいる地域で、日ごろ何とかしなければならないと思っ
ていることにはどのようなことがありますか。
（あてはまるものすべてに○をつけてください）

回答したのは、2,973人（94.1%）である。比率の高い順に、青少年が少ない（35.6%）、交通が不便（30.3%）、障害者・高齢者が利用できる交通機関が少ない（28.6%）、遊び場や運動の場所が少ない（24.4%）、公共施設が遠い（23.7%）、高齢者介護の施設が少ない（22.8%）、救急・休日・夜間の診療体制が不十分（22.6%）、介護が必要な高齢者のいる世帯（20.1%）などである。

地域における生活要求の特徴は、第一に、青少年問題である。青少年が少ないだけでなく、子育てに必要な遊び場や運動の場所が少ないことが問題になっている。第二に、交通問題である。障害者・高齢者が利用できる交通機関が少ないことをはじめ、交通の不便さが問題となっている。公共施設が遠いことも、この問題に関連している。第三に、高齢者問題である。高齢者介護の施設にとどまらず、介護が必要な高齢者のいる世帯のことが問題になっている。第四は、診療体制の問題である。

年齢別にみても。第一は、青少年問題である。青少年が少ないが、50歳代～70歳以上では第一位になっているが、20歳代（26.5%）、30歳代（27.8%）、40歳代（29.5%）での比率も高い。遊び場や運動の場所が少ないも、30歳代で第一位になっており、他の年代（70歳以上を除く）での比率も高い。第二は、交通問題である。交通が不便、障害者・高齢者が利用できる交通機関が少ないは、どの年代でも比率が高いが、前者は20歳代～50歳代で30%を超え、後者は、40歳代～70歳以上で30%前後の比率となっている。第三は、高齢者問題である。高齢者介護の施設が少ないは、40歳代から比率が高くなり、40歳代～70歳以上で20%を超えている。また、介護が必要な高齢者のいる世帯のことは、どの年代も20%前後の比率となっている。第四は、診療体制の問題である。救急・休日・夜間の診療体制が不十分は、60歳代・70歳以上より20歳代～50歳代の比率が高い。

暮らし向き別にみても。第一は、青少年問題である。青少年が少ないは、少しは余裕、ふつうで第一位になっており、少し苦しい、非常に苦しいでの比率も高い。また、遊び場や運動の場所が少ないは、どの暮らし向きも25%前後の比率となっている。第二は、交通問題である。交通が不便は、少し苦しい、非常に苦しいで第一位になっており、少しは余裕、ふつうでの比率も高い。障害者・高齢者が利用できる交通機関が少ないは、どの暮らし向きも30%前後の比率となっている。第三は、高齢者問題である。高齢者介護の施設が少ないは、どの暮らし向きも20%台の比率となっている。第四は、診療体制の問題である。救急・休日・夜間の診療体制が不十分は、非常に苦しいで30%を超え、他の暮らし向きでも20%を超えている。

地域別にみても。藤原が他の三地域と比べて、青少年が少ない（56.2%）、後継者がいない（22.3%）、障害者・高齢者が利用できる交通機関が少ない（41.1%）、公共施設が遠い（34.9%）、買い物が不便（33.2%）などの比率が高い。藤原では、高齢化の問題と交通問題が大きな関心事になっている。

表11-1 地域でなんとかしたいこと

		問6 地域でなんとかしたいこと（複数）																				合計		
		青少年が 少ない	後継者が いない	下水道 の整備	ゴミの 処理	障害者の 交通機関	交通が 不便	公共施設 が遠い	医療機関 が遠い	診療体制 が不十分	地元にし 事がな	住民のま とまり	買い物が 不便	遊び場が 少ない	いじめ・ 不登校	要介護の 老人世帯	高齢者介 護の施設	障害者の いる世帯	母子・父 子家庭	子ども等 への虐待	配偶者等 の暴力		その他	特にな
全体	(%)	1057	408	75	541	851	902	705	561	671	413	436	578	725	104	599	678	188	96	75	9	63	344	2973
		35.6	13.7	2.5	18.2	28.6	30.3	23.7	18.9	22.6	13.9	14.7	19.4	24.4	3.5	20.1	22.8	6.3	3.2	2.5	0.3	2.1	11.6	
年 齢	20歳代	26.5	6.5	4.6	16.2	22.3	36.9	15.8	16.2	21.9	22.3	11.9	21.9	26.5	5.8	16.5	9.2	7.3	3.8	2.3	0.4	3.8	11.9	260
	30歳代	27.8	4.4	2.1	16.9	17.8	36.1	17.5	19.8	37.6	16.0	8.6	19.2	42.9	7.1	11.8	10.4	5.3	0.9	3.0	0.3	2.7	9.8	338
	40歳代	29.5	7.8	2.4	18.6	30.9	38.3	25.1	22.2	27.3	15.2	10.6	19.0	27.9	4.6	23.2	20.8	7.4	3.6	1.0	0.4	2.8	9.0	499
	50歳代	34.6	13.9	2.5	19.7	28.6	31.3	20.7	18.0	22.5	15.2	18.9	16.1	19.9	2.6	23.0	28.8	7.5	3.1	2.5	0.7	1.3	9.4	604
	60歳代	45.7	21.5	2.9	20.3	32.6	23.4	26.6	18.0	19.8	12.5	21.6	19.9	23.9	3.1	22.0	28.0	6.0	4.5	3.6	0.0	1.9	12.2	582
	70歳以上	39.7	17.9	1.8	16.3	31.2	24.7	29.4	18.6	14.0	8.7	12.2	21.7	16.3	1.2	19.2	26.4	5.1	3.0	2.6	0.2	1.7	15.7	663
暮 ら し 向 き	かなり余裕	47.2	19.4	2.8	11.1	22.2	19.4	19.4	16.7	16.7	13.9	8.3	11.1	11.1	2.8	19.4	19.4	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	25.0	36
	少しは余裕	39.1	17.2	2.9	19.3	31.0	29.9	21.2	17.2	22.6	10.9	14.6	18.6	27.4	1.8	24.5	23.0	5.8	2.6	1.5	0.0	2.2	9.1	274
	ふつう	36.3	13.1	2.0	17.5	27.7	28.2	23.1	17.2	20.3	11.7	13.6	17.1	23.5	2.6	18.6	21.8	5.9	2.6	2.4	0.0	1.6	13.7	1822
	少し苦しい	34.7	13.8	3.0	20.1	30.7	35.8	26.2	22.0	25.1	19.4	17.3	25.5	26.0	5.2	22.9	24.3	6.5	5.2	2.4	0.5	3.0	6.8	573
	非常に苦しい	27.8	10.3	3.4	20.1	29.9	35.5	26.9	26.5	34.2	21.8	18.8	24.8	27.4	8.1	20.9	27.4	9.8	4.3	5.6	0.9	4.3	7.7	234
地 域	北勢	35.4	12.8	2.0	21.1	30.2	30.3	24.2	12.9	18.5	14.7	15.6	17.9	24.8	3.8	21.8	24.6	5.3	3.4	3.1	0.4	2.4	10.9	914
	員弁	31.6	11.1	2.7	14.4	19.5	21.2	14.6	13.7	27.4	10.4	16.2	9.5	29.7	3.3	18.4	20.4	7.3	2.7	2.0	0.0	2.2	15.1	548
	大安	28.2	11.2	2.9	17.4	25.7	31.6	22.9	24.5	25.9	12.0	14.7	19.6	20.3	3.6	18.6	21.5	6.7	3.6	2.8	0.3	2.2	12.2	966
	藤原	56.2	22.3	2.7	19.0	41.1	37.6	34.9	24.8	18.0	20.5	11.1	33.2	25.7	2.7	21.9	24.8	6.7	3.1	1.9	0.4	1.0	7.7	479
住 み 続 け た い か	住み続けたい	40.1	16.1	2.2	17.5	28.4	23.9	22.5	15.7	19.6	11.0	13.5	15.8	23.0	3.1	20.1	22.1	6.3	3.3	2.7	0.2	1.7	13.1	1872
	引っ越したい	26.0	13.0	2.1	25.1	34.1	46.8	29.3	30.8	33.5	22.7	23.0	32.9	27.8	4.2	21.8	26.6	6.3	3.9	2.7	1.2	3.0	5.1	331
	わからない	28.8	8.0	3.6	17.0	24.0	38.5	22.9	21.1	25.3	15.5	13.8	21.5	26.7	4.1	19.3	21.2	6.4	2.6	2.0	0.2	1.8	11.5	659
	その他	32.4	8.5	1.4	19.7	49.3	42.3	31.0	29.6	25.4	35.2	15.5	26.8	25.4	5.6	23.9	31.0	11.3	2.8	1.4	0.0	12.7	5.6	71

1)全体欄の上段は回答数、下段は回答者数（合計）に対する百分比。複数回答のため、回答数の合計は回答者数を超える。

2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。複数回答のため、百分比の合計は100%を超える。

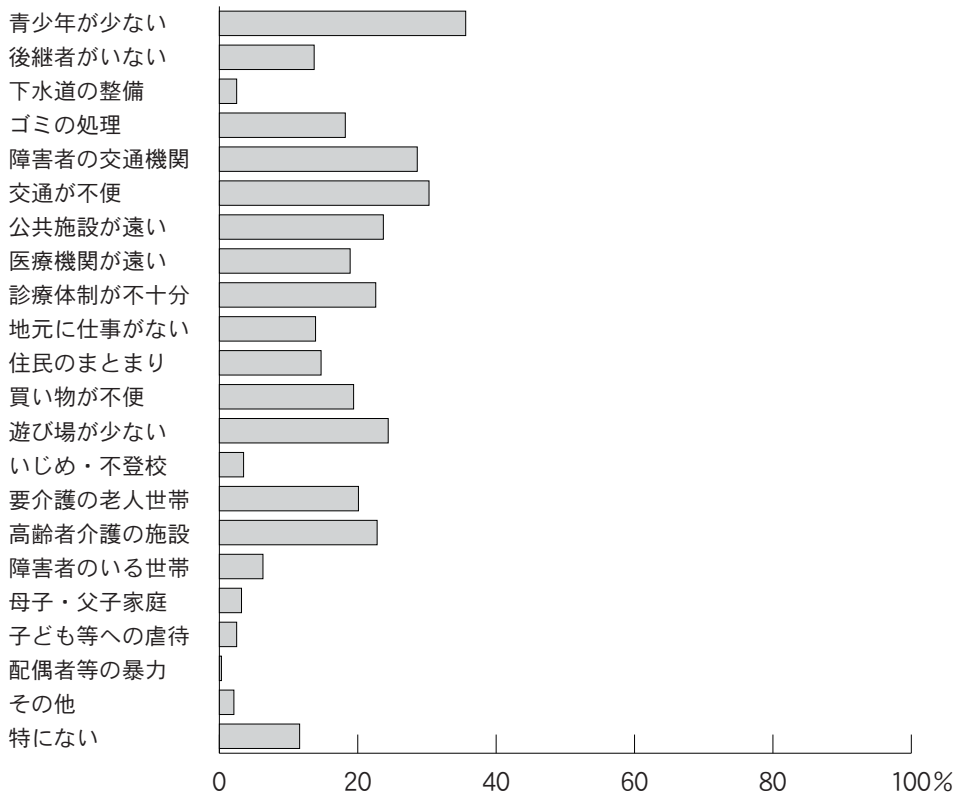


図 3

表11-2

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
年 齢	20歳代	交通不便 36.9	青少年少 26.5	遊び場少 26.5	障害者等 22.3	地元仕事 22.3	診療体制 21.9	買物不便 21.9	要介護 16.5	ゴミ処理 16.2	医療機関 16.2
	30歳代	遊び場少 42.9	診療体制 37.6	交通不便 36.1	青少年少 27.8	医療機関 19.8	買物不便 19.2	障害者等 17.8	公共施設 17.5	ゴミ処理 16.9	地元仕事 16.0
	40歳代	交通不便 38.3	障害者等 30.9	青少年少 29.5	遊び場少 27.9	診療体制 27.3	公共施設 25.1	要介護 23.2	医療機関 22.2	介護施設 20.8	買物不便 19.0
	50歳代	青少年少 34.6	交通不便 31.3	介護施設 28.8	障害者等 28.6	要介護 23.0	診療体制 22.5	公共施設 20.7	遊び場少 19.9	ゴミ処理 19.7	まとまり 18.9
	60歳代	青少年少 45.7	障害者等 32.6	介護施設 28.0	公共施設 26.6	遊び場少 23.9	交通不便 23.4	要介護 22.0	まとまり 21.6	後継者 21.5	ゴミ処理 20.3
	70歳以上	青少年少 39.7	障害者等 31.2	公共施設 29.4	介護施設 26.4	交通不便 24.7	買物不便 21.7	要介護 19.2	医療機関 18.6	後継者 17.9	ゴミ処理 16.3
	暮 ら し 向 き	少しは余裕	青少年少 39.1	障害者等 31.0	交通不便 29.9	遊び場少 27.4	要介護 24.5	介護施設 23.0	診療体制 22.6	公共施設 21.2	ゴミ処理 19.3
ふつう		青少年少 36.3	交通不便 28.2	障害者等 27.7	遊び場少 23.5	公共施設 23.1	介護施設 21.8	診療体制 20.3	要介護 18.6	ゴミ処理 17.5	医療機関 17.2
少し苦しい		交通不便 35.8	青少年少 34.7	障害者等 30.7	公共施設 26.2	遊び場少 26.0	買物不便 25.5	診療体制 25.1	介護施設 24.3	要介護 22.9	医療機関 22.0
非常に苦しい		交通不便 35.5	診療体制 34.2	障害者等 29.9	青少年少 27.8	遊び場少 27.4	介護施設 27.4	公共施設 26.9	医療機関 26.5	買物不便 24.8	地元仕事 21.8

現在の地域に住み続けたいかの問いに対して、「ずっと住み続けたい」と「できれば引っ越したい」と答えた人を比較してみる。「ずっと住み続けたい」と比べて、「できれば引っ越したい」の比率が高いのは、交通が不便（46.8%）、医療機関が遠い（30.8%）、救急・休日・夜間の診療体制が不十分（33.5%）、買い物が不便（32.9%）などである。主に、交通問題と医療への不安である。なお、住民相互のまとまりが乏しい（23.0%）の比率もやや高い。

4. 地域における活動

(1) 地域活動への参加（表12）

問7① あなたは現在、地域でどのような活動に参加されていますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

回答したのは、3,050人（96.6%）である。比率の高い順に、町内会・自治会（36.4%）、特にない（35.5%）、老人クラブ・高齢者団体（18.9%）、教養・趣味のサークル（10.0%）、PTA・保護者会（7.9%）などとなっている。特にないと答えた1,084人（35.5%）を除く、1,966人（64.5%）が何らかの活動に参加していることになる。

男女別にみても。男性は、町内会・自治会の比率が高く、女性は、教養・趣味のサークル、特にないの比率が高い。特にないは40%を超えている。

年齢別にみても。まず注目されるのは、20歳代では、特にない（73.8%）の比率がすこぶる高いことである。約四分の三の青年が地域活動に参加していないことになる。活動している中では、町内会・自治会は30歳代～60歳代の比率が高く、老人クラブ・高齢者団体は60歳代・70歳以上の

比率が高く、また、子どもの年齢との関係で、子ども会、PTA・保護者会は30歳代・40歳代の比率が高く、教養・趣味のサークルは60歳代・70歳以上の比率が高くなっている。なお、50歳代は主たる活動が町内会・自治会に限られている。

地域別にみても、地域別には、藤原のボランティア（15.4%）の比率が高いが、他には特に大きな違いが認められない。

現在の地域に住み続けたいかの問いに対して、「ずっと住み続けたい」と「できれば引っ越したい」と答えた人を比較してみる。「ずっと住み続けたい」と比べて、「できれば引っ越したい」は、老人クラブ・高齢者団体の比率が低く、子ども会、PTA・保護者会の比率がやや高く、「特にない」の比率が高い。前の三項目については年齢に関係しているが（後述する）、問題はやはり「特にない」の比率の高さである（「わからない」と回答した人の「特にない」の比率も高い）。

表12 地域で参加している活動

		問7① 地域で参加している活動（複数）															合 計
		町内会・自治会	婦人会・女性団体	老人クラブなど	青年団・青年団体	スポーツ団体	子ども会	青少年育成	PTA・保護者会	障害者団体	ボランティア	人権教育・啓発	趣味等のサークル	消防団・自警団	その他	特にない	
全 体	(%)	1111	128	576	24	239	210	49	241	50	214	37	305	58	54	1084	3050
		36.4	4.2	18.9	0.8	7.8	6.9	1.6	7.9	1.6	7.0	1.2	10.0	1.9	1.8	35.5	
男	男	48.6	0.9	20.3	1.5	10.1	6.2	2.3	7.3	1.5	7.0	1.1	5.3	3.7	2.0	29.4	1392
女	女	26.4	7.0	17.3	0.2	6.0	7.6	1.0	8.6	1.7	6.9	1.4	13.8	0.4	1.5	41.1	1627
年 齢	20歳代	7.7	0.4	0.0	4.4	7.7	2.6	0.7	0.4	0.7	2.2	0.7	3.0	4.1	0.4	73.8	271
	30歳代	41.0	5.5	0.0	1.2	11.6	27.3	1.5	23.5	0.3	1.7	0.3	3.5	5.2	1.7	34.6	344
	40歳代	51.4	5.1	0.2	1.4	15.6	18.2	4.9	27.7	1.2	4.0	1.0	6.7	1.4	1.6	26.5	506
	50歳代	49.2	5.9	1.4	0.2	7.1	1.0	2.1	1.9	1.0	9.1	1.9	9.1	1.0	2.1	36.5	624
	60歳代	37.1	4.7	28.1	0.0	4.6	1.4	0.2	0.7	3.0	14.0	1.9	16.2	1.5	2.7	32.0	591
	70歳以上	22.7	2.5	57.4	0.0	3.9	0.3	0.4	0.4	2.3	5.7	0.9	13.4	0.9	1.5	29.8	687
地 域	北 勢	37.4	2.8	18.2	0.2	7.1	8.0	2.1	7.3	1.0	4.9	1.3	10.5	2.2	1.9	35.7	934
	員 弁	35.9	4.2	17.3	2.7	11.0	6.2	2.8	7.8	1.9	4.6	2.5	10.3	2.5	1.2	35.0	565
	大 安	39.8	5.8	18.9	0.2	6.9	7.6	0.6	8.8	1.3	6.4	0.4	8.7	0.7	1.5	36.1	991
	藤 原	30.4	4.3	20.7	1.0	7.9	4.5	1.4	8.5	3.2	15.4	1.4	10.8	3.0	2.4	34.7	493
住 居 関 係	住み続けたい	38.0	4.5	25.6	0.8	7.2	5.1	1.6	5.9	2.1	8.8	1.3	11.2	2.0	2.1	32.8	1917
	引っ越したい	34.8	4.5	6.5	0.6	8.3	10.4	0.6	12.5	0.3	5.4	1.8	8.6	2.4	0.9	46.4	336
	わからない	34.1	3.1	5.6	0.9	9.5	10.4	2.5	11.4	0.7	3.1	0.6	6.0	1.2	0.7	47.1	683
	その他	34.3	1.4	14.3	0.0	7.1	7.1	0.0	10.0	2.9	5.7	1.4	12.9	1.4	5.7	42.9	70

1)全体欄の上段は回答数、下段は回答者数（合計）に対する百分比。複数回答のため、回答数の合計は回答者数を超える。

2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。複数回答のため、百分比の合計は100%を超える。

(2) 参加していない理由 (表13)

問7② ①で「15. 特に参加していない」に○をつけた方にお聞きします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

選択肢にあげた参加しない理由は、三つに区分できる。一つは、やむをえない事情である。「仕事が忙しい」「病気がちである」「高齢である」「病人・高齢者の介護」「家事・育児」がこれに相当する。二つめは、関心が向かないという理由である。「他にやりたいことがある」「関心がない」がこれに相当する。三つめは、参加を阻んでいる条件である。「一緒に活動する仲間がない」「参加の仕方がわからない」がこれに相当する。ここで、注目すべきなのは、三つめの参加を阻んでいる

条件である。これは、働きかけしだいでは参加することにつながる。

回答したのは、1,071人（33.9%）である。一つめの理由は、仕事が忙しい（37.9%）、高齢である（15.9%）、病気がちである（9.6%）、病人・高齢者の介護（3.2%）、家事・育児（5.9%）であり、二つめの理由は、他にやりたいことがある（12.0%）、関心がない（22.4%）である。三つめの理由は、一緒に活動する仲間がいない（16.2%）、参加の仕方がわからない（11.7%）である。一つめの理由の比率が高いものの、三つめの理由も10%を超えている。

表13 「特に参加していない」理由

		問7② 「特に参加していない」理由（複数）										合計
		仕事が忙しい	病気がちである	高齢である	病人・老人の介護	家事・育児	他に関心ごと	仲間がいない	参加の仕方が不明	関心がない	その他	
全体（%）		406 37.9	103 9.6	170 15.9	34 3.2	63 5.9	129 12.0	174 16.2	125 11.7	240 22.4	78 7.3	1071
男女	男	41.6	8.8	18.6	1.7	1.7	15.4	15.4	10.3	26.4	5.1	409
	女	35.7	10.1	14.0	4.1	8.5	10.1	16.8	12.7	20.0	8.7	656
年齢	20歳代	44.7	0.5	0.0	0.5	5.6	16.8	18.8	20.8	30.5	9.1	197
	30歳代	45.8	2.5	0.8	1.7	18.6	15.3	18.6	17.8	26.3	7.6	118
	40歳代	57.6	6.8	0.0	2.3	11.4	13.6	17.4	12.1	30.3	6.1	132
	50歳代	47.3	9.3	1.3	5.8	3.5	13.7	19.5	11.9	22.6	6.6	226
	60歳代	36.2	13.5	12.4	3.8	3.2	10.3	21.6	10.3	19.5	9.7	185
	70歳以上	5.3	21.4	68.4	3.9	0.5	4.4	3.4	0.0	9.7	4.9	206
地域	北勢	34.3	12.2	16.1	2.7	7.0	10.3	14.9	14.0	24.3	5.8	329
	員弁	46.2	7.2	8.2	3.6	4.6	10.8	19.0	12.8	25.1	8.7	195
	大安	36.9	8.1	16.8	2.8	6.1	14.0	17.0	12.0	20.1	7.3	358
	藤原	38.3	10.8	22.2	4.8	5.4	13.2	14.4	6.0	19.2	7.8	167
住み続けたいか	住み続けたい	34.1	12.9	21.9	4.0	5.9	10.7	12.8	9.3	17.4	6.6	580
	引っ越したい	37.2	9.7	6.9	6.2	7.6	14.5	27.6	12.4	26.2	7.6	145
	わからない	45.0	4.0	8.3	0.7	5.7	12.3	18.3	16.7	30.0	7.3	300
	その他	56.7	0.0	3.3	0.0	3.3	20.0	6.7	6.7	30.0	16.7	30

1)全体欄の上段は回答数、下段は回答者数（合計）に対する百分比。複数回答のため、回答数の合計は回答者数を超える。

2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。複数回答のため、百分比の合計は100%を超える。

男女別にみても。男女別には、特に大きな違いはない。

年齢別にみても。一つめの理由は、年齢によって変化している。たとえば、20歳代～60歳代は「仕事が忙しい」の比率が高く、60歳代・70歳以上では、他の年代と比べて「病気がちである」「高齢である」の比率が高くなっている。また、30歳代・40歳代では「家事・育児」の比率が高い。しかし、三つめの理由である「一緒に活動する仲間がいない」は20歳代～60歳代で20%前後の比率で推移している。「参加の仕方がわからない」も年齢が高くなるほど比率は低くなっているものの、20歳代～60歳代で10%を超えている。

地域別にみても。員弁が、「仕事が忙しい」の比率がやや高く、「高齢である」の比率がやや低い程度で、大きな違いはない。

現在の地域に住み続けたいかの問いに対して、「できれば引っ越したい」は、「ずっと住み続けたい」と比べて、「一緒に活動する仲間がいない」（27.6%）、「関心がない」（26.2%）の比率が高い。

5. 地域の人が利用する施設（表14）

問10① 身近に、地域の人が集まったり、話し合ったりする施設がありますか。
（○は1つ）

回答したのは、3,044人（96.4%）である。ある（75.0%）、ない（25.0%）である。四分の三があると答えている。

地域別にみても。あるの比率は、他の三地区に比べて北勢がやや低くなっているが、これは回答者の範囲での回答であって、実際の設置率と整合しているわけではない。

問10②ア ①で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします。その施設はどんな施設ですか。（○は1つ）

回答したのは、2,158人（68.3%）である。市の施設（13.4%）、自治会の施設（84.3%）、その他（2.3%）である。圧倒的多数が自治会の施設である。

地域別にみても。自治会の施設の比率は、藤原でやや低くなっているが、これも回答者の範囲での回答であって、実際の設置率と整合しているわけではない。

問10②イ その施設を、あなたは利用されていますか。（○は1つ）

表14 地域で利用する施設

	問10① 地域の施設			問10②ア どんな施設か				問10②イ 利用しているか					
	ある	ない	合計	市の施設	自治会	その他	合計	よく利用する	ときどき利用する	あまり利用しない	利用しない	合計	
全体 (%)	2283 75.0	761 25.0	3044	290 13.4	1819 84.3	49 2.3	2158	167 7.3	895 39.4	674 29.6	538 23.7	2274	
男女	75.4 74.3	24.6 25.7	1393 1617	10.9 15.6	87.9 81.4	1.2 3.0	1004 1124	8.4 6.3	42.4 36.5	28.6 30.6	20.6 26.5	1054 1188	
年齢	20歳代	65.3	34.7	265	22.2	74.1	3.7	162	2.9	15.2	17.0	64.9	171
	30歳代	64.9	35.1	339	18.1	80.5	1.4	210	4.0	29.8	36.0	30.2	225
	40歳代	75.6	24.4	508	13.8	83.2	3.0	369	3.6	36.5	37.2	22.7	384
	50歳代	75.1	24.9	618	8.8	89.8	1.4	441	1.9	37.0	35.9	25.2	465
	60歳代	77.7	22.3	592	13.9	84.5	1.6	433	11.8	44.7	25.7	17.8	456
	70歳以上	80.4	19.6	693	11.9	85.4	2.7	521	13.1	50.4	24.1	12.4	548
暮らし向き	かなり余裕	71.4	28.6	42	21.4	78.6	0.0	28	23.3	43.3	16.7	16.7	30
	少しは余裕	78.9	21.1	280	12.4	86.2	1.4	210	9.6	46.8	26.6	17.0	218
	ふつう	76.0	24.0	1869	13.4	84.4	2.2	1353	7.6	39.4	30.2	22.7	1412
	少し苦しい 非常に苦しい	74.1 63.2	25.9 36.8	583 231	13.4 15.9	83.9 81.7	2.7 2.4	410 126	5.7 3.4	37.2 34.0	29.7 30.6	27.4 32.0	435 147
地域	北勢	69.6	30.4	940	12.4	86.6	1.0	619	6.6	40.6	29.8	23.1	655
	員弁	79.2	20.8	559	14.3	84.1	1.7	421	6.3	39.7	32.7	21.2	443
	大安	78.0	22.0	987	11.5	85.4	3.1	742	7.2	38.2	29.0	25.6	769
	藤原	74.7	25.3	491	18.5	78.6	3.0	336	9.8	39.8	28.0	22.4	357

1)全体欄の上段は回答者数、下段は回答者数（合計）に対する百分比。

2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。

問題なのは、こうした施設を利用しているかどうかにある。回答したのは、2274人（72.0%）である。よく利用する（7.3%）、ときどき利用する（39.4%）、あまり利用しない（29.6%）、利用しない（23.7%）である。「よく利用する」「ときどき利用する」をあわせると46.7%となる。約半数が利用している。

男女別にみても。「よく利用する」「ときどき利用する」をあわせた比率に、あまり違いはない。

年齢別にみても。「よく利用する」「ときどき利用する」をあわせた比率は、20歳代（18.1%）、30歳代（33.8%）、40歳代（40.1%）、50歳代（38.9%）、60歳代（56.5%）、70歳以上（63.5%）である。20歳代の比率が低く、60歳代・70歳以上の比率が高い。なお、20歳代は、利用しない（64.9%）の比率が他の年代に比べて特に高くなっている。

暮らし向き別にみても（かなり余裕は省く）。「よく利用する」「ときどき利用する」をあわせた比率は、少しは余裕（56.4%）、ふつう（47.0%）、少し苦しい（42.9%）、非常に苦しい（37.4%）である。暮らしが苦しいほど、利用率は減少している。

地域別にみても。「よく利用する」「ときどき利用する」をあわせた比率は、北勢（47.2%）、員弁（46.0%）、大安（45.4%）、藤原（49.6%）である。地域による違いはあまりみられない。

6. 小括

(1) 10年間の変化の評価については、第一に、「大学に進学する子どもたちがふえた」「結婚する2人の意志が尊重されるようになった」「社会的な活動に参加する女性がふえた」「昔からのしきたりにこだわらなくなった」では、高学歴化、自由な恋愛の前進、女性の社会的進出、古い慣習の克服といった社会的前進面が、いなべ市でも着実に進行していることを示している。

第二に、「道路・住宅などの生活環境がよくなった」「くらしの面で利用できる施設がふえた」といった直接行政施策に関連している項目では、否定的意見が多かったわけではないが、地域的な違いが存在することが問題となる。公平な行政施策への意見・評価として検討する必要がある。

第三は、「働く場所がふえた」「他の地域の人たちと交流する機会がふえた」「住民相互のまとめりや助け合いが進んだ」「地域の行事に参加する人が多くなった」といった否定的な意見が多かった項目であるが、特に後者の三項目は住民の活動に直接関係していることが重要な検討事項となる。

(2) 現在の地域に住み続けたいかの問いに対しては、「できれば引っ越したい」と答えた人の事情が問題となる。「できれば引っ越したい」と答えた人は、20歳代～50歳代に多く、しかも暮らしが苦しいほど比率が高い。地域で何とかしたいことに関して言えば、交通問題と医療への不安に関心が高い。また地域活動では、「特にない」が多く、その理由として「一緒に活動する仲間がいない」「関心がない」の比率が高い。

(3) 地域で何とかしたいことは、第一に、青少年問題である。青少年が少ないだけでなく、子育てに必要な遊び場や運動の場所が少ないことが問題になっている。第二に、交通問題である。障害者・高齢者が利用できる交通機関が少ないことをはじめ、交通の不便さが問題となっている。公共施設が遠いことも、この問題に関連している。第三に、高齢者問題である。高齢者介護の施設にとどまらず、介護が必要な高齢者のいる世帯のことが問題になっている。第四は、診療体制の問題である。なお、藤原は、他の三地域に比べて、高齢化の問題と交通問題が大きな関心事になっている。

(4) 地域活動への参加では、何らかの活動に参加しているのは約三分の二であり、約三分の一の人が参加していない。しかし、参加していない理由の中で、「一緒に活動する仲間がない」「参加の仕方がわからない」が一定の比率を占めていることは、今後の問題として検討を要する。また、20歳代の場合、約四分の三が「特に参加していない」と回答しており、他の年代に比べて特に高い。

これは地域の施設の利用にも関連している。約半数の人が身近な施設を利用しているが、20歳代では「利用しない」(64.9%)が他の年代と比べて特に高くなっている。青少年問題は、青少年が少ないだけでなく、地域で生活している青少年自身が地域への関わりをあまり持っていないという問題としても顕在化している。

Ⅲ. 社会や地域問題に対する住民の意識

1. 民主主義的な意識と地域問題に対する考え方（表15-1、図4）

民主主義的な意識と地域問題に対する考え方についてたずねた。民主主義的な意識は、問8（1）～（4）の設問であり、地域問題に対する考え方は、問8（5）～（8）である。ここでは、問8（1）（3）（4）は、「おかしい」「少しおかしい」をあわせて否定的意見、「それほどおかしいとは思わない」「おかしいとは思わない」をあわせて肯定的意見とした。問8（2）は、「当人同士の合意」「どちらかといえば当人同士の合意」をあわせて当人、「どちらかといえば家族やまわりの人の意見」「家族やまわりの人の意見」をあわせて家族とした。問8（5）（6）（7）（8）は、「そう思う」「少し思う」をあわせて肯定的意見、「あまり思わない」「思わない」をあわせて否定的意見とした。また、全体を通して、「わからない」は不明とした。

問8① 今の日本では、男女の仕事や役割に関して、「男は仕事、女は家庭」「男は外、女は内」「男は主、女は従」といった考え方が存在しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

回答したのは、3,022人（95.7%）である。おかしい（30.3%）、少しおかしい（26.1%）、それほど（27.1%）、おかしくない（10.5%）、わからない（6.1%）である。否定的意見（56.4%）が肯定的意見（37.6%）を上回っている。男女の役割分担意識に批判的な人が多い。

男女別にみても。男女の役割意識をたずねた問いであるが、男女の違いはあまり見られない。

年齢別にみても。否定的意見の比率は、20歳代（78.7%）、30歳代（65.6%）、40歳代（70.0%）、50歳代（60.0%）、60歳代（47.9%）、70歳以上（37.3%）である。20歳代～50歳代の比率が高い（特に20歳代）。

地域別にみても（表15-2）。否定的意見の比率が高いのは、阿下喜（66.5%）、員弁東（60.6%）、三里（60.8%）、東藤原（61.1%）などである。逆に、治田（42.6%）は肯定的意見が40%を超えている。

問8② 結婚に際して、いろいろな理由で家族やまわりの人々が反対することがあります。このことについて、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

回答したのは、2,993人（94.8%）である。当人同士の合意（27.9%）、より当人同士の合意（61.0%）、より家族の意見（4.7%）、家族の意見（2.0%）、わからない（4.4%）である。当人（88.9%）が家族（6.7%）を大幅に上回っている。当人同士の合意を尊重するという意識は定着してきているといえる。

男女別にみても。男女別には、ほとんど違いはない。

年齢別にみても。当人の比率は、20歳代（96.3%）、30歳代（92.4%）、40歳代（91.7%）、50歳代（90.6%）、60歳代（90.9%）、70歳以上（78.7%）である。20歳代～60歳代の比率が高い（特に20歳代）。

地域別にみても（表15-2）。地域別の違いはほとんど見られない。

表15-1 民主主義的な意識と地域での課題

		問8① 男女の役割意識					問8② 結婚観						
		おかし	少しおかし	それほど	おかしくない	わからない	合計	本人達の合意尊重	より本人達の意見	より家族の意見	家族の意見尊重	わからない	合計
全体 (%)		916	788	818	317	183	3022	834	1825	140	61	133	2993
		30.3	26.1	27.1	10.5	6.1		27.9	61.0	4.7	2.0	4.4	
男女	男	28.0	25.9	28.7	11.3	6.2	1380	31.4	58.9	4.2	1.9	3.7	1366
	女	32.5	26.5	25.7	9.4	5.8	1611	24.5	63.5	5.0	2.1	4.9	1596
年齢	20歳代	49.3	29.4	14.3	3.7	3.3	272	26.6	69.7	1.1	0.7	1.8	271
	30歳代	30.9	34.7	21.9	6.4	6.1	343	24.6	67.8	2.0	1.2	4.3	345
	40歳代	40.5	29.5	21.6	5.7	2.8	509	23.2	68.5	2.6	1.0	4.8	504
	50歳代	31.7	28.3	25.4	9.4	5.3	619	26.5	64.1	4.5	1.6	3.2	619
	60歳代	23.5	24.4	34.8	12.3	5.0	583	32.8	58.1	4.3	1.9	2.9	580
	70歳以上	19.5	17.8	34.0	17.8	10.9	668	30.2	48.5	9.6	4.3	7.4	648
北勢	阿下喜	38.2	28.3	23.1	6.4	4.0	173	29.9	59.2	6.3	1.1	3.4	174
	治田	22.4	30.1	30.5	12.1	4.8	272	26.0	61.7	5.6	1.9	4.8	269
	十社	32.8	24.7	27.7	10.6	4.3	235	30.0	59.1	5.2	1.7	3.9	230
	山郷	29.8	25.0	27.8	10.3	7.1	252	26.0	61.2	4.8	1.6	6.4	250
員弁	員弁西	25.9	27.2	27.2	12.4	7.2	290	24.4	65.2	4.5	2.1	3.8	287
	員弁東	31.6	29.0	25.3	8.6	5.6	269	29.4	60.0	5.7	1.1	3.8	265
大安	笠間	30.7	22.6	28.9	10.5	7.3	287	28.2	60.3	4.9	2.1	4.5	287
	三里	33.5	27.3	22.9	9.7	6.6	227	26.2	66.7	1.8	1.3	4.0	225
	石樽	32.0	25.0	26.7	10.3	6.0	300	27.3	58.0	7.0	3.3	4.3	300
	丹生川	26.5	30.7	29.5	9.0	4.2	166	24.5	64.4	2.5	3.7	4.9	163
藤原	東藤原	36.1	25.0	23.6	8.3	6.9	72	31.4	57.1	2.9	2.9	5.7	70
	西藤原	28.9	24.1	32.5	7.2	7.2	83	31.0	59.5	4.8	4.8	0.0	84
	白瀬	31.9	27.4	25.2	11.9	3.7	135	27.5	64.1	3.1	0.8	4.6	131
	立田	28.6	25.0	21.4	14.3	10.7	56	27.3	65.5	0.0	3.6	3.6	55
	中里	31.9	20.3	31.2	8.7	8.0	138	33.6	56.4	3.6	0.7	5.7	140
		問8③ 自治会役員に女性が少ない					問8④ 結婚相手の家柄へのこだわり						
		おかし	少しおかし	それほど	おかしくない	わからない	合計	おかし	少しおかし	それほど	おかしくない	わからない	合計
全体 (%)		333	541	1150	588	421	3033	957	832	726	263	247	3025
		11.0	17.8	37.9	19.4	13.9		31.6	27.5	24.0	8.7	8.2	
男女	男	12.2	20.0	38.9	18.3	10.7	1389	33.3	27.1	23.4	8.7	7.6	1382
	女	10.1	16.0	37.3	20.4	16.3	1610	30.6	28.1	24.4	8.5	8.4	1609
年齢	20歳代	17.6	19.0	26.7	9.2	27.5	273	42.6	28.7	13.6	4.8	10.3	272
	30歳代	8.4	18.0	37.7	17.7	18.3	345	31.7	33.4	17.6	6.1	11.2	347
	40歳代	12.2	20.3	38.2	15.9	13.4	508	29.2	32.3	24.7	6.1	7.7	507
	50歳代	13.0	19.6	41.0	16.1	10.3	622	33.0	30.5	23.1	6.9	6.5	619
	60歳代	9.0	17.7	41.0	22.7	9.6	586	36.1	23.8	26.4	8.5	5.3	588
	70歳以上	8.8	14.1	37.2	27.0	12.9	674	24.1	21.4	29.6	15.2	9.8	665
北勢	阿下喜	14.5	19.1	37.0	14.5	15.0	173	37.6	30.6	21.4	5.2	5.2	173
	治田	10.3	17.6	36.3	23.4	12.5	273	30.5	27.9	24.3	9.6	7.7	272
	十社	5.1	11.8	44.3	26.6	12.2	237	23.4	32.5	25.5	11.7	6.9	231
	山郷	9.9	17.4	39.9	19.8	13.0	253	32.7	26.8	22.0	8.7	9.8	254
員弁	員弁西	10.2	20.8	37.8	18.0	13.1	283	31.0	31.0	23.2	5.3	9.5	284
	員弁東	12.3	17.4	39.1	16.3	14.9	276	32.6	26.7	25.6	7.0	8.1	273
大安	笠間	11.6	17.5	39.6	18.2	13.0	285	31.7	22.2	28.5	9.5	8.1	284
	三里	11.1	15.9	35.4	19.5	18.1	226	30.1	28.3	23.9	8.4	9.3	226
	石樽	8.8	20.6	38.2	19.0	13.4	306	31.4	27.5	23.9	9.7	7.4	309
	丹生川	8.5	23.8	35.4	22.6	9.8	164	35.5	23.5	26.5	9.6	4.8	166
藤原	東藤原	13.3	17.3	36.0	14.7	18.7	75	36.0	20.0	24.0	8.0	12.0	75
	西藤原	20.2	14.3	39.3	14.3	11.9	84	28.9	31.3	27.7	8.4	3.6	83
	白瀬	14.1	14.8	37.8	19.3	14.1	135	28.4	34.3	20.1	10.4	6.7	134
	立田	19.0	17.2	25.9	22.4	15.5	58	43.1	34.5	8.6	1.7	12.1	58
	中里	12.9	23.6	35.7	15.7	12.1	140	36.0	21.6	20.1	11.5	10.8	139

		問8⑤ 自治会の役割は重要か						問8⑥ 高齢者は大切にされているか					
		そう思う	少し思う	あまり	思わない	わからない	合計	そう思う	少し思う	あまり	思わない	わからない	合計
全体 (%)		1177	842	409	120	454	3002	756	951	658	152	552	3069
		39.2	28.0	13.6	4.0	15.1		24.6	31.0	21.4	5.0	18.0	
男女	男	45.0	26.3	13.5	4.9	10.3	1374	24.4	30.4	24.3	5.0	16.0	1403
	女	34.4	29.5	13.8	3.3	19.1	1595	25.0	31.4	19.1	4.9	19.5	1632
年齢	20歳代	22.5	32.1	10.3	4.8	30.3	271	19.6	28.4	20.3	3.7	28.0	271
	30歳代	22.9	36.2	15.1	5.8	20.0	345	18.2	29.4	21.3	3.5	27.7	347
	40歳代	30.6	30.4	18.7	4.0	16.5	504	22.8	37.0	17.3	3.1	19.7	508
	50歳代	39.8	29.3	15.4	4.9	10.6	611	23.3	31.6	23.0	4.7	17.4	621
	60歳代	51.2	26.3	10.7	3.3	8.5	578	27.7	30.2	22.7	5.4	14.1	596
	70歳以上	50.3	20.9	11.4	2.7	14.7	666	29.9	28.9	22.6	7.2	11.3	698
北勢	阿下喜	41.3	25.0	13.4	6.4	14.0	172	21.4	24.9	22.2	9.2	22.5	173
	治田	41.9	28.3	13.6	3.7	12.5	272	23.6	29.3	25.7	3.6	17.8	276
	十社	40.5	29.3	9.9	5.2	15.1	232	23.3	34.6	20.8	6.3	15.0	240
	山郷	39.0	27.7	12.0	3.6	17.7	249	22.9	27.9	24.4	3.5	21.3	258
員弁	員弁西	36.0	28.6	16.3	3.9	15.2	283	20.1	33.3	19.4	6.3	20.8	288
	員弁東	33.7	32.2	14.5	2.9	16.7	276	25.7	26.4	22.5	6.2	19.2	276
大安	笠間	35.9	27.5	14.8	4.9	16.9	284	20.2	34.1	22.6	4.2	18.8	287
	三里	37.8	24.0	17.3	3.6	17.3	225	20.1	28.4	18.8	4.4	28.4	229
	石樽	39.9	25.2	12.0	7.0	15.9	301	27.7	31.9	21.9	4.5	13.9	310
	丹生川	46.1	29.7	10.9	2.4	10.9	165	24.4	39.0	16.5	5.5	14.6	164
藤原	東藤原	45.2	26.0	13.7	0.0	15.1	73	27.0	41.9	21.6	2.7	6.8	74
	西藤原	41.5	31.7	15.9	1.2	9.8	82	47.1	21.2	16.5	4.7	10.6	85
	白瀬	40.6	35.3	14.3	2.3	7.5	133	31.6	30.1	25.7	2.9	9.6	136
	立田	57.9	24.6	5.3	0.0	12.3	57	27.9	34.4	19.7	3.3	14.8	61
	中里	35.6	32.6	11.4	4.5	15.9	132	31.0	37.3	18.3	2.1	11.3	142
		問8⑦ 障害者が安心して暮らせるか						問8⑧ 外国人が住みやすいか					
		そう思う	少し思う	あまり	思わない	わからない	合計	そう思う	少し思う	あまり	思わない	わからない	合計
全体 (%)		265	565	1023	453	736	3042	243	351	711	397	1350	3052
		8.7	18.6	33.6	14.9	24.2		8.0	11.5	23.3	13.0	44.2	
男女	男	9.2	18.9	35.1	15.6	21.2	1385	7.8	11.9	24.9	14.0	41.4	1392
	女	8.3	18.1	32.7	14.4	26.6	1622	8.1	11.2	22.1	12.2	46.5	1626
年齢	20歳代	5.1	11.0	37.0	17.6	29.3	273	9.2	8.5	27.6	8.8	46.0	272
	30歳代	4.3	13.3	36.7	19.9	25.7	346	6.6	11.6	25.4	10.7	45.7	346
	40歳代	4.6	17.2	40.2	15.6	22.4	505	7.7	13.6	25.7	13.2	39.9	509
	50歳代	6.6	14.0	41.4	13.5	24.5	621	7.5	12.4	24.7	14.1	41.3	623
	60歳代	11.7	24.5	27.8	13.7	22.3	597	9.3	11.6	21.4	14.1	43.6	594
	70歳以上	15.0	23.8	24.3	13.1	23.8	672	7.6	10.4	19.1	13.7	49.2	681
北勢	阿下喜	9.8	19.7	30.1	12.7	27.7	173	16.7	16.7	16.1	10.3	40.2	174
	治田	7.8	19.7	35.3	13.4	23.8	269	5.1	10.9	25.8	13.5	44.7	275
	十社	7.6	19.1	34.3	16.5	22.5	236	10.1	8.8	20.6	18.5	42.0	238
	山郷	5.9	17.6	34.4	16.4	25.8	256	7.8	14.1	22.7	8.2	47.3	256
員弁	員弁西	7.8	17.3	33.2	13.4	28.3	283	8.8	13.7	23.5	10.9	43.2	285
	員弁東	11.9	16.2	37.1	12.9	21.9	278	8.3	12.0	25.4	13.0	41.3	276
大安	笠間	5.6	16.1	36.7	17.1	24.5	286	7.7	8.1	27.8	14.8	41.5	284
	三里	6.6	19.3	30.7	11.4	32.0	228	6.6	11.4	24.9	7.0	50.2	229
	石樽	10.5	18.0	35.6	15.4	20.6	306	8.1	10.3	19.0	18.4	44.2	310
	丹生川	9.0	24.1	33.1	10.8	22.9	166	4.8	13.8	22.2	9.6	49.7	167
藤原	東藤原	12.2	14.9	36.5	13.5	23.0	74	6.7	6.7	25.3	14.7	46.7	75
	西藤原	12.2	15.9	32.9	14.6	24.4	82	4.9	9.8	25.6	14.6	45.1	82
	白瀬	9.0	22.6	36.8	19.5	12.0	133	5.2	8.9	31.1	17.8	37.0	135
	立田	10.0	16.7	21.7	23.3	28.3	60	5.1	5.1	22.0	15.3	52.5	59
	中里	13.4	21.1	29.6	16.2	19.7	142	7.8	17.7	22.7	9.9	41.8	141

1)全体欄の上段は回答者数、下段は回答者数（合計）に対する百分比。

2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。

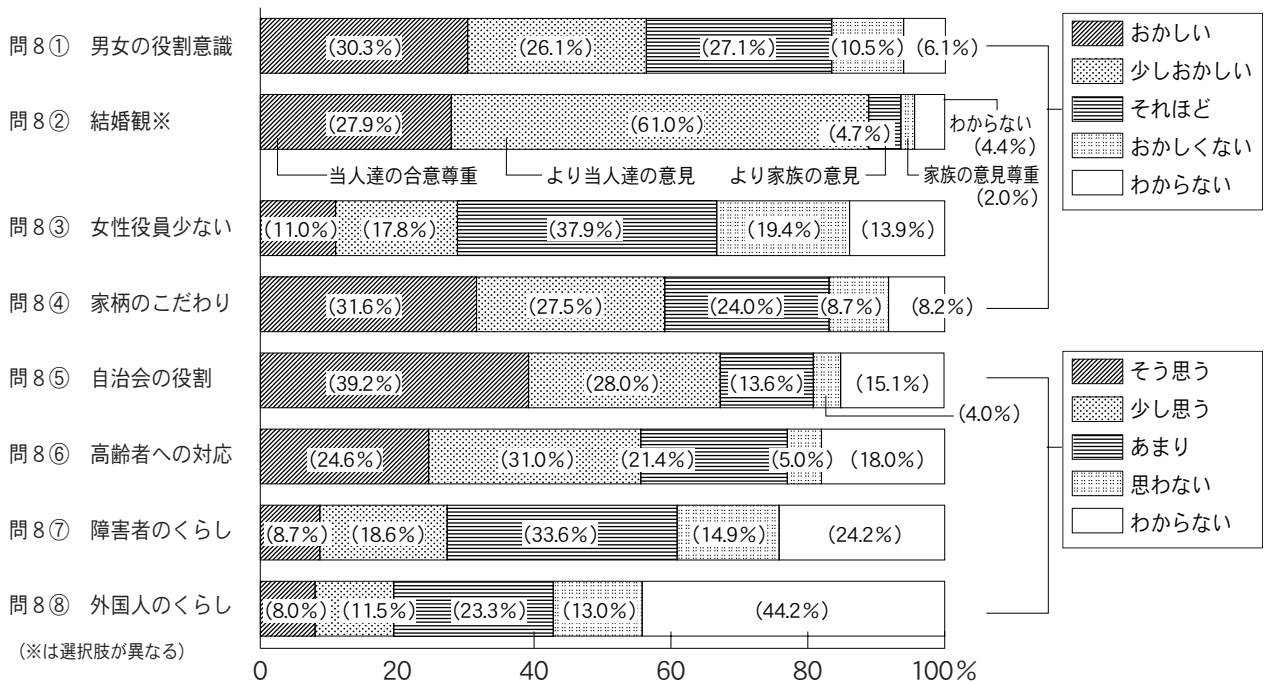


図 4

表15-2

		問8① 役割意識			問8② 結婚観			問8③ 女性役員		
		否定	肯定	不明	当人	家族	不明	否定	肯定	不明
北勢	阿下喜	66.5	29.5	4.0	89.1	7.5	3.4	33.5	51.4	15.0
	治田	52.6	42.6	4.8	87.7	7.4	4.8	27.8	59.7	12.5
	十社	57.4	38.3	4.3	89.1	7.0	3.9	16.9	70.9	12.2
	山郷	54.8	38.1	7.1	87.2	6.4	6.4	27.3	59.7	13.0
員弁	員弁西	53.1	39.7	7.2	89.5	6.6	3.8	31.1	55.8	13.1
	員弁東	60.6	33.8	5.6	89.4	6.8	3.8	29.7	55.4	14.9
大安	笠間	53.3	39.4	7.3	88.5	7.0	4.5	29.1	57.9	13.0
	三里	60.8	32.6	6.6	92.9	3.1	4.0	27.0	54.9	18.1
	石樽	57.0	37.0	6.0	85.3	10.3	4.3	29.4	57.2	13.4
	丹生川	57.2	38.6	4.2	89.0	6.1	4.9	32.3	57.9	9.8
藤原	東藤原	61.1	31.9	6.9	88.6	5.7	5.7	30.7	50.7	18.7
	西藤原	53.0	39.8	7.2	90.5	9.5	0.0	34.5	53.6	11.9
	白瀬	59.3	37.0	3.7	91.6	3.8	4.6	28.9	57.0	14.1
	立田	53.6	35.7	10.7	92.7	3.6	3.6	36.2	48.3	15.5
	中里	52.2	39.9	8.0	90.0	4.3	5.7	36.4	51.4	12.1

1)肯定・否定、当人・家族の比率は、四捨五入の関係で、表15-1の数字の合計とは異なる場合がある。

問8③ 自治会の役員に女性が少ないことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

回答したのは、3,033人(96.0%)である。おかしい(11.0%)、少しおかしい(17.8%)、それほど(37.9%)、おかしくない(19.4%)、わからない(13.9%)である。肯定的意見(57.3%)が否定的意見(28.8%)を大きく上回っている。女性役員が少ないことをそれほど問題にしていない。

男女別にみても、女性役員の問題であるが、男女による違いはほとんどない。女性自身も、必

ずしも「おかしい」とは思っていない。

年齢別にみても。肯定的意見の比率は、20歳代（35.9%）、30歳代（55.4%）、40歳代（54.1%）、50歳代（57.1%）、60歳代（63.7%）、70歳以上（64.2%）である。年齢が高いほど比率が高くなる傾向にある。しかし、20歳代では否定的意見の比率が高いわけではなく、不明の比率が高くなっているのが特徴的である。

地域別にみても（表15-2）。地域別にはそれほど大きな違いはないが、十社（70.9%）の肯定的意見だけががきわだって高いのが特徴的である。

問8④ 結婚の相手を決めるときに家柄を問題にすることについて、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

回答したのは、3,025人（95.8%）である。おかしい（31.6%）、少しおかしい（27.5%）、それほど（24.0%）、おかしくない（8.7%）、わからない（8.2%）である。否定的意見（59.1%）が肯定的意見（32.7%）を上回っている。家柄を問題にすることについては、批判的な人が多い。

男女別にみても。男女別にはほとんど違いが見られない。

年齢別にみても。否定的意見の比率は、20歳代（71.3%）、30歳代（65.1%）、40歳代（61.5%）、50歳代（63.5%）、60歳代（59.9%）、70歳以上（45.5%）である。年齢が若いほど比率が高くなる傾向にある。20歳代で70%を超えている。

地域別にみても（表15-3）。地域別にはそれほど大きな違いはないが、立田（77.6%）の否定的意見だけががきわだって高いのが特徴的である。

問8⑤ お互いを尊重する地域づくりのためには、自治会の役割が重要だという意見があります。このことについて、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

回答したのは、3,002人（95.1%）である。そう思う（39.2%）、少し思う（28.0%）、あまり思わない（13.6%）、思わない（4.0%）、わからない（15.1%）である。肯定的意見（67.2%）が否定的意見（17.6%）を大幅に上回っている。自治会の役割を重視する人が多い。

男女別にみても。肯定的意見の比率は、男性の方がやや高いが大きな違いはない。

年齢別にみても。肯定的意見の比率は、20歳代（54.6%）、30歳代（59.1%）、40歳代（61.0%）、50歳代（69.1%）、60歳代（77.5%）、70歳以上（71.2%）である。年齢が高いほど比率が高くなる傾向にある。では、20歳代・30歳代で否定的意見の比率が高いかということそうではない。むしろ、20歳代・30歳代では、不明の比率が高くなっている。

地域別にみても（表15-3）。地域別にはそれほど大きな違いはないが、立田（82.5%）の肯定的意見が特に高いのが特徴的である。

問8⑥ 今、どこの地域でも高齢化が進行しています。あなたの地域では高齢者は大切にされていると思いますか。（○は1つ）

回答したのは、3,069人（97.2%）である。そう思う（24.6%）、少し思う（31.0%）、あまり思わない（21.4%）、思わない（5.0%）、わからない（18.0%）である。肯定的意見（55.6%）が否

定的意見（26.4％）を上回っている。高齢者が大切にされていると思う人が多い。

男女別にみても。男女別にはほとんど違いが見られない。

年齢別にみても。肯定的意見の比率は、20歳代（48.0％）、30歳代（47.6％）、40歳代（59.8％）、50歳代（54.9％）、60歳代（57.9％）、70歳以上（58.8％）である。20歳代・30歳代では40％台であるが、他の年代は50％台である。しかし、20歳代・30歳代で否定的意見の比率が高いわけではなく、不明の比率が高くなっているのが特徴的である。

地域別にみても（表15-3）。肯定的意見の比率が60％を超えているのは、丹生川（63.4％）、東藤原（68.9％）、西藤原（68.2％）、白瀬（61.8％）、立田（62.3％）、中里（68.3％）である。しかし、他の地域は否定的意見が多いというわけではない。不明の回答のバラツキが影響している。

問8⑦ あなたの地域は、障害者が安心して生活できる地域だと思いますか。（○は1つ）

回答したのは、3,042人（96.3％）である。そう思う（8.7％）、少し思う（18.6％）、あまり思わない（33.6％）、思わない（14.9％）、わからない（24.2％）である。否定的意見（48.5％）が肯定的意見（27.3％）を上回っている。障害者が安心して生活できるとはあまり思われていない。ただし、不明も約四分の一に達しており、判断しにくかったことが予測される。

男女別にみても。男女別にはほとんど違いが見られない。

年齢別にみても。否定的意見の比率は、20歳代（54.6％）、30歳代（56.6％）、40歳代（55.8％）、50歳代（54.9％）、60歳代（41.5％）、70歳以上（37.4％）である。60歳代・70歳以上を除く年代は50％台である。ただし、すべての年代において不明が20％を超えている。

地域別にみても（表15-4）。否定的意見の比率は、笠間（53.8％）、白瀬（56.4％）で50％を超えているが、地域別にはそれほど大き

表15-3

		問8④ 家柄			問8⑤ 自治会			問8⑥ 高齢者		
		否定	肯定	不明	肯定	否定	不明	肯定	否定	不明
北勢	阿下喜	68.2	26.6	5.2	66.3	19.8	14.0	46.2	31.2	22.5
	治田	58.5	33.6	7.7	70.2	17.3	12.5	52.9	29.3	17.8
	十社	55.8	37.2	6.9	69.8	15.1	15.1	57.9	27.1	15.0
	山郷	59.4	30.7	9.8	66.7	15.7	17.7	50.8	27.9	21.3
員弁	員弁西	62.0	28.5	9.5	64.7	20.1	15.2	53.5	25.7	20.8
	員弁東	59.3	32.6	8.1	65.9	17.4	16.7	52.2	28.6	19.2
大安	笠間	53.9	38.0	8.1	63.4	19.7	16.9	54.4	26.8	18.8
	三里	58.4	32.3	9.3	61.8	20.9	17.3	48.5	23.1	28.4
	石樽	58.9	33.7	7.4	65.1	18.9	15.9	59.7	26.5	13.9
	丹生川	59.0	36.1	4.8	75.8	13.3	10.9	63.4	22.0	14.6
藤原	東藤原	56.0	32.0	12.0	71.2	13.7	15.1	68.9	24.3	6.8
	西藤原	60.2	36.1	3.6	73.2	17.1	9.8	68.2	21.2	10.6
	白瀬	62.7	30.6	6.7	75.9	16.5	7.5	61.8	28.7	9.6
	立田	77.6	10.3	12.1	82.5	5.3	12.3	62.3	23.0	14.8
	中里	57.6	31.7	10.8	68.2	15.9	15.9	68.3	20.4	11.3

1)肯定・否定の比率は、四捨五入の関係で、表15-1の数字の合計とは異なる場合がある。

表15-4

		問8⑦ 障害者			問8⑧ 外国人		
		肯定	否定	不明	肯定	否定	不明
北勢	阿下喜	29.5	42.8	27.7	33.3	26.4	40.2
	治田	27.5	48.7	23.8	16.0	39.3	44.7
	十社	26.7	50.8	22.5	18.9	39.1	42.0
	山郷	23.4	50.8	25.8	21.9	30.9	47.3
員弁	員弁西	25.1	46.6	28.3	22.5	34.4	43.2
	員弁東	28.1	50.0	21.9	20.3	38.4	41.3
大安	笠間	21.7	53.8	24.5	15.8	42.6	41.5
	三里	25.9	42.1	32.0	17.9	31.9	50.2
	石樽	28.4	51.0	20.6	18.4	37.4	44.2
	丹生川	33.1	44.0	22.9	18.6	31.7	49.7
藤原	東藤原	27.0	50.0	23.0	13.3	40.0	46.7
	西藤原	28.0	47.6	24.4	14.6	40.2	45.1
	白瀬	31.6	56.4	12.0	14.1	48.9	37.0
	立田	26.7	45.0	28.3	10.2	37.3	52.5
	中里	34.5	45.8	19.7	25.5	32.6	41.8

1)肯定・否定の比率は、四捨五入の関係で、表15-1の数字の合計とは異なる場合がある。

な違いはない。むしろ、不明の比率の高さと地域によるバラツキが特徴的である。

問8⑧ 今、いなべ市在住の外国人が増えています。あなたの地域は、外国人にとって住みやすい地域だと思いますか。(○は1つ)

回答したのは、3,052人(96.6%)である。そう思う(8.0%)、少し思う(11.5%)、あまり思わない(23.3%)、思わない(13.0%)、わからない(44.2%)である。否定的意見(36.3%)が肯定的意見(19.5%)を上回っている。むしろ、不明(44.2%)が否定的意見(36.3%)を上回るなど、判断しにくい項目だったと予測される。

男女別・年齢別にはほとんど違いがみられない。

地域別にみても(表15-4)。肯定的意見の比率が、阿下喜(33.3%)で唯一30%を超えているが、不明の比率が各地域とも高く、一定の傾向を見ることは困難である。

2. 社会観(表16-1、図5)

社会観に関する設問は三問である。「今の世の中」に関する三つのとらえ方についてたずねたものである。なお、ここでは、「そう思う」「少し思う」をあわせて肯定的意見、「あまり思わない」「思わない」をあわせて否定的意見、「わからない」を不明として扱う。

問9① 今の日本は、「格差」が拡大している社会である。(○は1つ)

回答したのは、3,032人(96.0%)である。そう思う(43.7%)、少し思う(28.9%)、あまり思わない(10.5%)、思わない(2.2%)、わからない(14.7%)である。肯定的意見(72.6%)が否定的意見(12.7%)を大幅に上回っている。「格差」が拡大している社会であるという認識は強い。

年齢別にみても。肯定的意見の比率は、20歳代(73.9%)、30歳代(77.6%)、40歳代(81.8%)、50歳代(78.9%)、60歳代(70.8%)、70歳以上(58.6%)である。20歳代~60歳代で70%を超えているが、中でも40歳代の比率は高い。

学歴別にみても。肯定的意見の比率は、小学校(49.4%)、中学校(62.2%)、高校(76.8%)、短大(77.5%)、大学(89.8%)である。学歴が高いほど比率が高くなっている。

暮らし向き別にみても(かなり余裕は省く)。肯定的意見の比率は、少しは余裕(73.1%)、ふつう(69.2%)、少し苦しい(79.5%)、非常に苦しい(84.0%)である。少し苦しい、非常に苦しいの比率がやや高い。

職業別にみても。肯定的意見の比率は、自営(68.7%)、家族(58.3%)、役員(76.1%)、常雇(80.8%)、日雇(78.8%)、無職(68.6%)である。常雇、日雇など労働者の比率がやや高くなっている。

地域別にみても(表16-2)。地域別にはそれほど大きな違いはないが、西藤原(86.6%)の肯定的意見の比率が高いのが特徴的である。

問9② 今の日本は、人権が守られている社会である。(○は1つ)

回答したのは、3,044人(96.4%)である。そう思う(15.4%)、少し思う(31.6%)、あまり思

表16-1 社会観

	問9①「格差」が拡大している社会						問9②人権が守られている社会						問9③努力しても報われない社会						
	そう 思う	少し 思う	あまり	思わ ない	不明	合計	そう 思う	少し 思う	あまり	思わ ない	不明	合計	そう 思う	少し 思う	あまり	思わ ない	不明	合計	
全体 (%)	1324 43.7	876 28.9	317 10.5	68 2.2	447 14.7	3032	469 15.4	961 31.6	886 29.1	339 11.1	389 12.8	3044	849 28.0	1102 36.4	452 14.9	224 7.4	400 13.2	3027	
年 齢	20歳代	45.6	28.3	7.0	0.7	18.4	272	9.9	23.1	38.1	15.8	13.2	273	27.5	35.2	15.8	7.0	14.7	273
	30歳代	45.2	32.4	7.3	1.2	14.0	343	6.1	30.2	35.8	12.2	15.7	344	28.0	34.1	17.8	5.2	14.9	343
	40歳代	50.1	31.7	6.5	1.4	10.3	505	8.2	32.4	35.3	13.1	11.0	510	27.9	42.3	13.4	5.5	10.9	506
	50歳代	49.2	29.7	9.1	2.4	9.6	616	10.5	34.1	33.4	11.7	10.3	622	29.5	39.3	15.3	6.3	9.7	621
	60歳代	41.5	29.3	14.2	2.5	12.4	590	20.4	34.6	22.8	10.8	11.5	584	29.6	35.2	14.7	9.6	10.9	585
	70歳以上	35.0	23.6	14.3	3.4	23.7	678	28.0	30.4	19.3	7.0	15.3	685	25.9	32.1	13.8	9.2	18.9	672
学 歴	小学校	37.6	11.8	14.1	5.9	30.6	85	27.0	25.8	15.7	9.0	22.5	89	13.6	27.3	15.9	10.2	33.0	88
	中学校	38.4	23.8	15.2	2.8	19.7	913	21.8	31.1	23.4	9.3	14.4	916	30.4	32.7	13.2	8.5	15.3	911
	高校	45.4	31.4	8.6	2.0	12.5	1215	12.7	32.5	31.1	11.2	12.5	1220	28.5	38.3	14.1	7.1	12.0	1212
	短大	45.4	32.1	7.5	0.9	14.2	452	10.4	30.6	34.1	12.8	12.1	454	27.6	39.1	16.3	4.0	13.0	453
	大学	55.6	34.2	5.3	1.6	3.3	304	10.5	34.2	36.8	13.8	4.6	304	23.4	39.1	21.7	9.5	6.3	304
暮らし向き	かなり余裕	38.1	35.7	16.7	2.4	7.1	42	27.9	27.9	25.6	14.0	4.7	43	23.3	39.5	20.9	9.3	7.0	43
	少しは余裕	36.2	36.9	12.1	5.0	9.9	282	18.4	37.1	24.4	9.2	11.0	283	14.2	45.2	19.6	12.1	8.9	281
	ふつう	38.8	30.4	12.0	2.4	16.4	1856	16.5	32.6	28.1	10.0	12.9	1866	26.2	35.5	16.3	7.4	14.6	1849
	少し苦しい 非常に苦しい	52.8 70.6	26.7 13.4	6.0 5.2	1.2 0.0	13.3 10.8	581 231	11.8 9.1	28.9 24.2	32.8 35.9	12.3 19.5	14.2 11.3	585 231	31.8 51.1	37.6 29.9	11.5 5.6	5.8 5.2	13.3 8.2	585 231
職 業	自営	42.7	26.0	14.0	3.9	13.4	335	26.3	33.7	20.1	10.9	8.9	338	27.9	34.5	15.9	12.0	9.6	333
	家族 役員	31.9	26.4	22.1	4.9	14.7	163	17.3	27.8	34.6	8.6	11.7	162	28.2	41.1	9.8	7.4	13.5	163
	常雇	47.4	28.7	6.9	2.8	14.2	247	13.0	27.2	38.2	14.2	7.3	246	31.3	36.2	17.9	5.3	9.3	246
	日雇	49.5	31.3	8.0	1.3	9.9	750	10.3	34.4	33.6	12.1	9.5	755	27.7	39.6	15.6	7.2	10.0	752
	無職	44.9	33.9	7.7	1.5	12.0	534	9.1	33.8	31.7	10.8	14.7	539	28.0	39.7	15.7	5.0	11.6	536
	無職	40.9	27.7	11.2	1.8	18.4	793	17.8	32.1	24.6	10.4	15.2	792	25.8	34.5	13.8	8.6	17.4	792
北 勢	阿下喜	43.4	35.3	8.7	0.0	12.7	173	12.6	31.0	28.7	13.2	14.4	174	24.7	42.4	12.9	8.2	11.8	170
	治田	45.0	26.6	12.5	2.6	13.3	271	13.5	35.4	28.8	10.6	11.7	274	25.1	40.2	14.8	6.6	13.3	271
	十社	40.2	30.1	9.2	1.7	18.8	239	18.2	28.4	31.4	10.2	11.9	236	26.5	39.7	12.0	5.6	16.2	234
	山郷	42.0	31.0	11.8	1.2	14.1	255	14.8	31.6	28.1	13.7	11.7	256	32.9	29.8	16.3	8.1	12.8	258
員 弁	員弁西	48.6	26.2	8.7	1.4	15.0	286	14.9	31.5	29.4	9.3	14.9	289	31.9	34.7	13.5	6.6	13.2	288
	員弁東	42.5	28.9	9.5	3.7	15.4	273	14.9	30.2	32.0	9.1	13.8	275	24.6	39.1	16.7	8.3	11.2	276
大 安	笠間	41.8	28.7	12.4	3.5	13.5	282	15.2	34.6	28.3	13.4	8.5	283	26.2	33.3	15.4	11.1	14.0	279
	三里	44.7	31.0	8.4	1.3	14.6	226	9.7	33.5	31.7	12.8	12.3	227	24.8	37.2	16.8	7.5	13.7	226
	石樽	42.3	26.2	13.4	2.6	15.4	305	14.7	36.2	28.0	8.5	12.7	307	28.3	38.8	14.8	6.3	11.8	304
	丹生川	39.8	31.9	12.7	4.8	10.8	166	20.4	26.9	24.6	15.0	13.2	167	26.5	37.3	13.9	10.2	12.0	166
藤 原	東藤原	43.8	26.0	13.7	2.7	13.7	73	23.0	27.0	27.0	8.1	14.9	74	32.9	35.6	16.4	1.4	13.7	73
	西藤原	54.9	31.7	4.9	0.0	8.5	82	14.6	40.2	25.6	9.8	9.8	82	31.3	36.3	16.3	5.0	11.3	80
	白瀬	46.7	28.1	10.4	0.7	14.1	135	17.0	24.4	38.5	7.4	12.6	135	29.5	31.1	16.7	7.6	15.2	132
	立田	49.2	30.5	5.1	3.4	11.9	59	15.0	28.3	33.3	10.0	13.3	60	32.8	37.7	11.5	3.3	14.8	61
中里	39.7	27.7	10.6	2.1	19.9	141	19.0	29.9	22.6	13.1	15.3	137	30.2	30.9	18.7	7.2	12.9	139	

1)全体欄の上段は回答者数、下段は回答者数（合計）に対する百分比。

2)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。

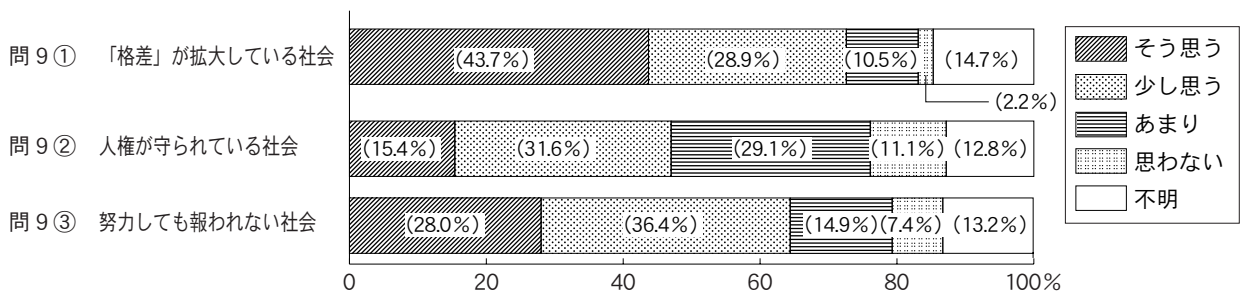


図 5

わない (29.1%)、思わない (11.1%)、わからない (12.8%) である。肯定的意見 (47.0%) が否定的意見 (40.2%) をやや上回っているが、あまり違いはない。人権といっても一般的であることから、どのような事実を前提にして回答したかが影響しているのであろう。

年齢別にみても。肯定的意見の比率は、20歳代 (33.0%)、30歳代 (36.3%)、40歳代 (40.6%)、50歳代 (44.6%)、60歳代 (55.0%)、70歳以上 (58.4%) である。年齢が高いほど比率が高くなっている。

学歴別にみても。否定的意見の比率は、小学校 (24.7%)、中学校 (32.7%)、高校 (42.3%)、短大 (46.9%)、大学 (50.6%) である。学歴が高いほど比率が高くなっている。また、不明の比率も、学歴が高いほど低くなっている。

暮らし向き別にみても (かなり余裕は省く)。否定的意見の比率は、少しは余裕 (33.6%)、ふつう (38.1%)、少し苦しい (45.1%)、非常に苦しい (55.4%) である。暮らしが苦しいほど比率が高くなっている。

職業別にみても。否定的意見の比率は、自営 (31.0%)、家族 (43.2%)、役員 (52.4%)、常雇 (45.7%)、日雇 (42.5%)、無職 (35.0%) である。自営と無職の比率がやや低い。

地域別にみても (表16-2)。石樽、西藤原、中里では、肯定的意見が否定的意見を大きく上回っている。逆に、三里、白瀬では否定的意見が肯定的意見をやや上回っている。

問9③ 今の日本は、努力してもなかなか報われない社会である。(○は1つ)

回答したのは、3,027人 (95.9%) である。そう思う (28.0%)、少し思う (36.4%)、あまり思わない (14.9%)、思わない (7.4%)、わからない (13.2%) である。肯定的意見 (64.4%) が否定的意見 (22.3%) を大幅に上回っている。努力しても報われないという意識は強い。

年齢別にみても。肯定的意見の比率は、20歳代 (62.7%)、30歳代 (62.1%)、40歳代 (70.2%)、50歳代 (68.8%)、60歳代 (64.8%)、70歳以上 (58.0%) である。働き盛りの40歳代の比率が70%を超えている。

学歴別にみても。肯定的意見の比率は、小学校 (40.9%)、中学校 (63.1%)、高校 (66.8%)、短大 (66.7%)、大学 (62.5%) である。小学校を除く他の学歴では、60%を超えている。小学校では不明の比率が高い。

暮らし向き別にみても (かなり余裕は省く)。肯定的意見の比率は、少しは余裕 (59.4%)、ふつう (61.7%)、少し苦しい (69.4%)、非常に苦しい (81.0%) である。暮らしが苦しいほど比率が高く、特に非常に苦しいでは80%を超えている。

表16-2

		問9①格差の拡大			問9②人権の擁護			問9③報われない		
		肯定	否定	不明	肯定	否定	不明	肯定	否定	不明
北勢	阿下喜	78.6	8.7	12.7	43.7	42.0	14.4	67.1	21.2	11.8
	治田	71.6	15.1	13.3	48.9	39.4	11.7	65.3	21.4	13.3
	十社	70.3	10.9	18.8	46.6	41.5	11.9	66.2	17.5	16.2
	山郷	72.9	12.9	14.1	46.5	41.8	11.7	62.8	24.4	12.8
員弁	員弁西	74.8	10.1	15.0	46.4	38.8	14.9	66.7	20.1	13.2
	員弁東	71.4	13.2	15.4	45.1	41.1	13.8	63.8	25.0	11.2
大安	笠間	70.6	16.0	13.5	49.8	41.7	8.5	59.5	26.5	14.0
	三里	75.7	9.7	14.6	43.2	44.5	12.3	61.9	24.3	13.7
	石樽	68.5	16.1	15.4	50.8	36.5	12.7	67.1	21.1	11.8
	丹生川	71.7	17.5	10.8	47.3	39.5	13.2	63.9	24.1	12.0
藤原	東藤原	69.9	16.4	13.7	50.0	35.1	14.9	68.5	17.8	13.7
	西藤原	86.6	4.9	8.5	54.9	35.4	9.8	67.5	21.3	11.3
	白瀬	74.8	11.1	14.1	41.5	45.9	12.6	60.6	24.2	15.2
	立田	79.7	8.5	11.9	43.3	43.3	13.3	70.5	14.8	14.8
	中里	67.4	12.8	19.9	48.9	35.8	15.3	61.2	25.9	12.9

1)肯定・否定の比率は、四捨五入の関係で、表16-1の数字の合計とは異なる場合がある。

職業別にみても。肯定的意見の比率は、自営（62.4%）、家族（69.3%）、役員（67.5%）、常雇（67.3%）、日雇（67.7%）、無職（60.3%）である。職業による違いはあまりみられない。

地域別にみても（表16-2）。肯定的意見の比率は、立田（70.5%）がやや高いものの、地域別にはあまり大きな違いが見られない。

3. 社会や地域問題に関する意識相互間の関連（表17）

（1）『格差』が拡大している×民主主義・地域問題に対する考え方

- ①男女の役割意識で、「おかしい」「少しおかしい」と答えたのは、『格差』が拡大しているの設問で、「そう思う」と答えた人の60.8%、「少し思う」と答えた人の62.0%、「あまり思わない」と答えた人の49.1%、「思わない」と答えた人の39.7%である。「そう思う」「少し思う」と答えた人の比率が高い。
- ②結婚に際して「当人」あるいは「より当人」の意志を尊重すると答えたのは、『格差』が拡大しているの設問で、「そう思う」と答えた人の90.1%、「少し思う」と答えた人の91.9%、「あまり思わない」と答えた人の87.9%、「思わない」と答えた人の86.2%である。あまり違いが見られない。
- ③自治会の女性役員が少ないで、「おかしい」「少しおかしい」と答えたのは、『格差』が拡大しているの設問で、「そう思う」と答えた人の34.5%、「少し思う」と答えた人の33.0%、「あまり思わない」と答えた人の19.3%、「思わない」と答えた人の25.8%である。「そう思う」「少し思う」と答えた人の比率がやや高い。
- ④結婚相手の家柄へのこだわりで、「おかしい」「少しおかしい」と答えたのは、『格差』が拡大しているの設問で、「そう思う」と答えた人の63.3%、「少し思う」と答えた人の63.3%、「あまり思わない」と答えた人の56.6%、「思わない」と答えた人の40.3%である。「そう思う」「少し思う」と答えた人ほど比率が高くなっている。
- ⑤自治会の役割は重要かで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、『格差』が拡大しているの設問で、「そう思う」と答えた人の71.5%、「少し思う」と答えた人の72.5%、「あまり思わない」と答えた人の68.4%、「思わない」と答えた人の68.6%である。それほど大きな違いはない。
- ⑥高齢者は大切にされているかで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、『格差』が拡大しているの設問で、「そう思う」と答えた人の55.3%、「少し思う」と答えた人の59.3%、「あまり思わない」と答えた人の58.8%、「思わない」と答えた人の66.6%である。「思わない」と答えた人の比率が高い。
- ⑦障害者は安心して生活できるかで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、『格差』が拡大しているの設問で、「そう思う」と答えた人の25.4%、「少し思う」と答えた人の27.8%、「あまり思わない」と答えた人の39.9%、「思わない」と答えた人の41.8%である。「あまり思わない」「思わない」と答えた人の比率が高い。
- ⑧外国人にとって住みやすいかで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、『格差』が拡大しているの設問で、「そう思う」と答えた人の20.1%、「少し思う」と答えた人の25.0%、「あまり思わない」と答えた人の19.0%、「思わない」と答えた人の23.8%である。あまり違いが見られない。

表17 社会観×民主主義・地域問題に対する考え方

		問8① 男女の役割意識						問8② 結婚観					
		おかしい	少しおかしい	それほど	おかしくない	わからない	合計	当人達の合意尊重	より当人の意見	より家族の意見	家族の意見尊重	わからない	合計
問9① 「格差」が拡大している	そう思う	35.6	25.2	24.4	10.3	4.5	1305	27.6	62.5	4.5	1.9	3.4	1303
	少し思う	29.1	32.9	28.1	7.0	2.9	866	24.3	67.6	4.6	1.3	2.3	857
	あまり	24.4	24.7	39.3	9.1	2.6	308	31.3	56.6	4.6	4.3	3.3	304
	思わない	23.8	15.9	30.2	30.2	0.0	63	35.4	50.8	9.2	1.5	3.1	65
	わからない	23.2	17.9	23.7	16.3	18.9	418	31.8	48.0	5.1	2.7	12.5	415
問9② 人権が守られている	そう思う	29.8	21.4	28.7	16.3	3.8	449	33.8	53.8	5.9	3.6	2.9	444
	少し思う	28.5	31.8	28.9	8.6	2.2	941	25.6	66.2	5.0	1.5	1.7	940
	あまり	33.1	28.2	27.2	7.1	4.3	875	26.3	63.5	5.0	1.4	3.8	862
	思わない	36.1	20.2	23.8	13.9	6.0	332	32.3	58.2	3.4	2.4	3.7	328
	わからない	26.2	19.2	21.1	12.7	20.8	370	24.8	54.0	3.0	2.8	15.4	363
問9③ 努力しても報われない	そう思う	36.5	19.7	25.7	12.5	5.6	822	32.2	55.6	5.3	2.6	4.4	819
	少し思う	29.0	34.4	25.9	7.3	3.5	1087	23.5	68.3	4.5	1.1	2.5	1077
	あまり	31.4	25.1	33.0	7.6	2.9	446	26.8	63.6	3.2	3.0	3.4	440
	思わない	26.9	19.0	32.9	18.1	3.2	216	32.7	54.8	6.5	1.8	4.1	217
	わからない	24.3	22.7	21.1	13.6	18.4	375	26.1	55.1	4.6	2.7	11.6	372
		問8③ 自治会の女性役員が少ない						問8④ 結婚相手の家柄へのこだわり					
		おかしい	少しおかしい	それほど	おかしくない	わからない	合計	おかしい	少しおかしい	それほど	おかしくない	わからない	合計
問9① 「格差」が拡大している	そう思う	15.3	19.2	36.8	17.3	11.3	1304	36.7	26.6	22.4	8.3	6.0	1298
	少し思う	9.9	23.1	41.6	15.4	10.0	866	28.0	35.3	25.6	6.0	5.2	868
	あまり	6.2	13.1	51.5	23.0	6.2	305	29.1	27.5	26.9	10.4	6.1	309
	思わない	15.2	10.6	25.8	43.9	4.5	66	28.4	11.9	29.9	25.4	4.5	67
	わからない	3.7	9.5	27.8	25.9	33.1	432	25.9	18.5	22.9	11.7	21.0	428
問9② 人権が守られている	そう思う	11.6	15.8	35.4	27.4	9.8	457	33.2	19.9	28.8	12.2	6.0	452
	少し思う	9.8	22.6	43.8	16.5	7.3	940	31.2	33.3	24.1	7.3	4.0	942
	あまり	11.9	20.3	40.6	14.5	12.7	874	33.4	30.4	23.4	6.8	6.1	872
	思わない	18.1	15.4	27.7	22.9	16.0	332	37.5	21.5	22.4	11.5	7.3	331
	わからない	5.9	7.0	29.7	22.7	34.8	374	23.1	22.0	20.2	9.4	25.3	372
問9③ 努力しても報われない	そう思う	16.5	15.9	33.6	21.3	12.7	830	39.1	22.8	21.2	10.0	6.8	833
	少し思う	10.5	22.8	41.3	15.4	10.2	1081	29.7	34.2	24.4	6.0	5.7	1083
	あまり	9.0	20.1	47.4	16.3	7.2	443	32.0	27.0	29.0	7.9	4.1	441
	思わない	10.1	15.6	31.7	30.7	11.9	218	31.5	24.7	22.8	14.6	6.4	219
	わからない	5.1	9.0	30.8	21.9	33.2	389	22.4	20.8	24.5	9.5	22.7	379

(2) 「人権が守られている」×民主主義・地域問題に対する考え方

- ①男女の役割意識で、「おかしい」「少しおかしい」と答えたのは、「人権が守られている」の設問で、「そう思う」と答えた人の51.2%、「少し思う」と答えた人の60.3%、「あまり思わない」と答えた人の61.3%、「思わない」と答えた人の56.3%である。回答にバラツキがあり、一定の傾向は見られない。
- ②結婚に際して「当人」あるいは「より当人」の意志を尊重すると答えたのは、「人権が守られている」の設問で、「そう思う」と答えた人の87.6%、「少し思う」と答えた人の91.8%、「あまり思わない」と答えた人の89.8%、「思わない」と答えた人の90.5%である。ほとんど違いが見られない。
- ③自治会の女性役員が少ないで、「おかしい」「少しおかしい」と答えたのは、「人権が守られている」の設問で、「そう思う」と答えた人の27.4%、「少し思う」と答えた人の32.4%、「あまり思わない」と答えた人の32.2%、「思わない」と答えた人の33.5%である。それほど

		問8⑤ 自治会の役割は重要か						問8⑥ 高齢者は大切にされている					
		そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	わからない	合計	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	わからない	合計
問9① 「格差」 が拡大し ている	そう思う	45.0	26.5	12.8	5.4	10.3	1301	25.5	29.8	21.7	7.1	15.9	1318
	少し思う	34.9	37.6	14.8	1.3	11.5	854	19.4	39.9	22.9	2.4	15.3	864
	あまり	43.4	25.0	19.4	5.3	6.9	304	30.4	28.4	28.1	2.9	10.2	313
	思わない	52.2	16.4	16.4	10.4	4.5	67	43.9	22.7	16.7	9.1	7.6	66
	わからない	24.9	17.9	10.2	3.5	43.5	430	23.1	22.4	14.5	4.8	35.3	442
問9② 人権が守 られている	そう思う	55.1	19.3	10.2	5.1	10.2	450	49.2	22.4	14.2	4.1	10.0	459
	少し思う	43.3	32.5	12.4	2.4	9.4	939	23.1	41.7	19.5	2.9	12.8	947
	あまり	35.1	35.7	16.3	2.5	10.4	872	17.4	33.8	28.2	4.5	16.2	876
	思わない	36.4	21.3	17.6	12.0	12.7	324	19.9	20.8	27.0	15.1	17.2	337
	わからない	20.9	16.0	11.9	3.0	48.2	369	17.5	19.6	15.9	3.4	43.6	383
問9③ 努力して も報われ ない	そう思う	43.1	23.2	14.0	5.9	13.7	826	24.2	27.1	23.1	8.1	17.5	840
	少し思う	39.4	33.9	13.9	2.9	10.0	1081	21.2	37.0	25.0	3.4	13.4	1086
	あまり	39.1	33.2	17.3	3.0	7.5	440	25.7	39.3	20.3	3.3	11.4	448
	思わない	49.1	19.9	10.6	7.9	12.5	216	38.7	23.0	15.8	6.3	16.2	222
	わからない	23.3	21.2	10.1	2.1	43.2	377	22.5	19.7	13.3	4.1	40.4	391
		問8⑦ 障害者は安心して生活できる						問8⑧ 外国人にとって住みやすい					
		そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	わからない	合計	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	わからない	合計
問9① 「格差」 が拡大し ている	そう思う	7.9	17.5	36.5	19.5	18.7	1310	9.2	10.9	23.4	16.6	39.9	1311
	少し思う	6.7	21.1	40.0	11.0	21.1	862	8.5	16.5	28.8	9.8	36.4	871
	あまり	13.3	26.6	31.2	9.4	19.5	308	6.3	12.7	28.6	9.8	42.5	315
	思わない	26.9	14.9	10.4	32.8	14.9	67	13.4	10.4	20.9	19.4	35.8	67
	わからない	8.2	12.1	19.6	9.6	50.5	438	3.4	2.7	10.5	9.1	74.2	438
問9② 人権が守 られている	そう思う	24.8	21.5	21.0	12.6	20.1	452	16.8	14.4	15.7	11.6	41.5	458
	少し思う	6.5	26.8	35.3	12.6	18.8	947	7.2	14.6	27.4	11.1	39.8	948
	あまり	4.3	15.4	46.8	13.8	19.6	874	7.4	11.8	32.0	12.1	36.8	876
	思わない	6.3	11.1	30.6	34.8	17.1	333	4.8	8.4	18.5	29.0	39.4	335
	わからない	5.2	8.7	19.4	8.9	57.7	381	3.4	3.7	8.4	7.9	76.6	380
問9③ 努力して も報われ ない	そう思う	8.3	15.2	33.3	23.9	19.3	831	11.0	7.6	22.2	18.9	40.3	837
	少し思う	6.1	22.1	40.3	12.7	18.8	1080	6.6	16.6	27.5	11.7	37.6	1087
	あまり	9.3	24.4	36.0	8.9	21.3	450	7.1	14.5	30.1	8.9	39.3	448
	思わない	17.1	20.3	21.2	19.4	22.1	222	9.5	12.2	15.8	15.4	47.1	221
	わからない	7.7	8.7	22.6	7.5	53.5	389	4.1	3.4	11.1	9.0	72.4	388

1)合計欄は回答者数、他は回答者数に対する百分比。

大きな違いはない。

- ④結婚相手の家柄へのこだわりで、「おかしい」「少しおかしい」と答えたのは、「人権が守られている」の設問で、「そう思う」と答えた人の53.1%、「少し思う」と答えた人の64.5%、「あまり思わない」と答えた人の63.8%、「思わない」と答えた人の59.0%である。「そう思う」と答えた人の比率がやや低い。
- ⑤自治会の役割は重要かで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、「人権が守られている」の設問で、「そう思う」と答えた人の74.4%、「少し思う」と答えた人の75.8%、「あまり思わない」と答えた人の70.8%、「思わない」と答えた人の57.7%である。「思わない」と答えた人の比率が低い。
- ⑥高齢者は大切にされているかで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、「人権が守られている」の設問で、「そう思う」と答えた人の71.6%、「少し思う」と答えた人の64.8%、「あ

「あまり思わない」と答えた人の51.2%、「思わない」と答えた人の40.7%である。「思わない」と答えた人ほど比率が低くなるなど、関連性は強い。

⑦障害者は安心して生活できるかで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、「人権が守られている」の設問で、「そう思う」と答えた人の46.3%、「少し思う」と答えた人の33.3%、「あまり思わない」と答えた人の19.7%、「思わない」と答えた人の17.4%である。「思わない」と答えた人ほど比率が低くなるなど、関連性は強い。

⑧外国人にとって住みやすいかで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、「人権が守られている」の設問で、「そう思う」と答えた人の31.2%、「少し思う」と答えた人の21.8%、「あまり思わない」と答えた人の19.2%、「思わない」と答えた人の13.2%である。不明が多いものの、回答したかぎりでは関連性は強い。

(3) 「努力が報われない」×民主主義・地域問題に対する考え方

①男女の役割意識で、「おかしい」「少しおかしい」と答えたのは、「努力が報われない」の設問で、「そう思う」と答えた人の56.2%、「少し思う」と答えた人の63.4%、「あまり思わない」と答えた人の56.5%、「思わない」と答えた人の45.9%である。回答にバラツキがあり、一定の傾向は見られない。

②結婚に際して「当人」あるいは「より当人」の意志を尊重すると答えたのは、「努力が報われない」の設問で、「そう思う」と答えた人の87.8%、「少し思う」と答えた人の91.8%、「あまり思わない」と答えた人の90.4%、「思わない」と答えた人の87.5%である。ほとんど違いが見られない。

③自治会の女性役員が少ないで、「おかしい」「少しおかしい」と答えたのは、「努力が報われない」の設問で、「そう思う」と答えた人の32.4%、「少し思う」と答えた人の33.3%、「あまり思わない」と答えた人の29.1%、「思わない」と答えた人の25.7%である。それほど大きな違いはない。

④結婚相手の家柄へのこだわりで、「おかしい」「少しおかしい」と答えたのは、「努力が報われない」の設問で、「そう思う」と答えた人の61.9%、「少し思う」と答えた人の63.9%、「あまり思わない」と答えた人の59.0%、「思わない」と答えた人の56.2%である。それほど大きな違いはない。

⑤自治会の役割は重要かで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、「努力が報われない」の設問で、「そう思う」と答えた人の66.3%、「少し思う」と答えた人の73.3%、「あまり思わない」と答えた人の72.3%、「思わない」と答えた人の69.0%である。回答にバラツキがあり、一定の傾向は見られない。

⑥高齢者は大切にされているかで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、「努力が報われない」の設問で、「そう思う」と答えた人の51.3%、「少し思う」と答えた人の58.2%、「あまり思わない」と答えた人の65.0%、「思わない」と答えた人の61.7%である。「そう思う」と答えた人の比率が低い。

⑦障害者は安心して生活できるかで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、「努力が報われない」の設問で、「そう思う」と答えた人の23.5%、「少し思う」と答えた人の28.2%、「あまり思わない」と答えた人の33.7%、「思わない」と答えた人の37.4%である。「思わない」と答えた人ほど比率が高くなるなど、関連性がみられる。

⑧外国人にとって住みやすいかで、「そう思う」「少し思う」と答えたのは、「努力が報われない」の設問で、「そう思う」と答えた人の18.6%、「少し思う」と答えた人の23.2%、「あまり思わない」と答えた人の21.6%、「思わない」と答えた人の21.7%である。ほとんど違いは見られない。

4. 民主主義的意識相互間の関連（表18）

民主主義的意識に直接関連した設問は、問8（1）（2）（3）（4）の四問である。ここでは、これらの意識間の関連について検討する。具体的には、「結婚相手の家柄へのこだわり」と「結婚観」、「自治会の女性役員が少ない」と「男女の役割意識」の関連についてみる。わかりやすくするために、人数を表示した。

表18 民主主義的意識相互間の関連 (人数)

		問8② 結婚観					合 計
		当人達の合意尊重	より当人達の意見	より家族の意見	家族の意見尊重	わからない	
問8④ 結婚相手の家柄へのこだわり	おかしい	417	493	14	7	12	943
	少しおかしい	138	617	38	12	14	819
	それほど	140	475	59	18	17	709
	おかしくない	76	112	23	22	18	251
	わからない	48	108	4	2	67	229
		問8③ 自治会の女性役員が少ない					合 計
		おかしい	少しおかしい	それほど	おかしくない	わからない	
問8① 男女の役割意識	おかしい	204	189	267	118	125	903
	少しおかしい	59	229	324	80	84	776
	それほど	39	90	431	180	59	799
	おかしくない	18	16	79	160	37	310
	わからない	8	12	29	33	96	178

1)人数は、クロス集計の関係で（どちらかの項目に無回答の場合、集計されない）、表15-1の全体欄の人数より少なくなっている。

「結婚相手の家柄へのこだわり」と結婚観の関連である。二つの項目に回答したのは、2,951人である。このうち結婚に際して、「当人」あるいは「より当人」の意志を尊重すると答えた人は、2,624人（88.9%）である。圧倒的多数が「当人」「より当人」である。「当人」「より当人」と答えた人のうち、「結婚相手の家柄へのこだわり」で、「おかしい」「少しおかしい」と答えた人は、1,665人（63.5%）であり、「それほどおかしくない」「おかしくない」と答えた人は、803人（30.6%）である。結婚に際して当人の意志を尊重すると答えながら、結婚の相手を決めるときに家柄を問題にすることはおかしくないと考える人が、30%ほど存在する。つまり、結婚観を問われれば当人の意志を尊重すると考えるものの、地域における「結婚相手の家柄へのこだわり」にはあえて否定しないということである。

次に、「自治会の女性役員が少ない」と男女の役割意識の関連である。二つの項目に回答したのは、2,966人である。このうち男女の役割意識について、「おかしい」「少しおかしい」と答えた人は、1,679人（56.6%）である。60%弱の人がおかしいと考えている。「男女の役割意識で「おかしい」「少しおかしい」と答えた人のうち、「自治会の女性役員が少ない」で、「おかしい」「少しおかしい」と答えた人は、681人（40.6%）であり、「それほどおかしくない」「おかしくない」と答え

た人は、789人（47.0%）である。「おかしい」「少しおかしい」と答えた人より、「それほどおかしくない」「おかしくない」と答えた人の方が多くなっている。つまり、男女の役割意識を問われれば「おかしい」と考えるものの、「自治会の女性役員が少ない」ことにはそれほど批判的ではないということである。

5. 小括

- (1) 民主主義的な意識に関しては、第一に、「男女の役割意識」「結婚相手の家柄へのこだわり」に対する否定的意見の比率は高く、「結婚観」に対する当人の比率も高い。特に若い年代での比率が高いことが特徴的である。しかし、第二に、「自治会の女性役員が少ない」については、むしろ肯定的意見の比率が高くなっていることである。この結果、「男女の役割意識」を「おかしい」「少しおかしい」と答えた人の中で、「自治会の女性役員が少ない」ことを「おかしい」「少しおかしい」と答えた人より、「それほどおかしくない」「おかしくない」と答えた人の方が多くなっているのである。
- (2) 地域問題については、高齢者への評価と障害者への評価が対照的である。地域で高齢者が大切にされていると思う人は相対的に多いが、障害者が安心して生活できる地域だと思う人は少ない。不明もやや多いのだが、障害者への対応が相対的に遅れていると感じている人が多いということである。外国人については、不明が多く、回答しにくい設問として受け取られたといえる。
- (3) 社会観については、三つの設問をおこなったが、『格差』が拡大している」「努力が報われない」の二項目については肯定的意見の比率が高かった。今日の社会に対する批判意識は広がっているといってよい。ただし、「人権が守られている」かどうかは回答がわかれた。何を人権と考えるのかなど、回答しにくい側面があったのであろう。
- (4) 社会観と民主主義的な意識・地域問題に対する考え方の関連をみた。「『格差』が拡大している」は、「結婚観」を除いて民主主義的な意識と関連しているが、「人権が守られている」「努力が報われない」は、民主主義的な意識との関連がみられない。なお、「人権が守られている」と地域問題に対する考え方の三項目（「高齢者は大切にされているか」「障害者は安心して生活できるか」「外国人にとって住みやすいか」）が関連していることは注目される。

IV. 市の施設の利用と事業への参加

1. 市の施設の利用（表19）

問11 あなたは、四町合併後、次のいなべ市の施設を利用したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

回答したのは、2,521人（79.8%）である。80%弱の人が利用したことになる。利用率の高い順に、朝市「うりぼう」（36.6%）、梅林公園（31.3%）、いなべ公園（30.5%）、北勢市民会館（25.7%）、中央公民館（22.0%）、北勢斎場（21.2%）、阿下喜温泉「あじさいの里」（19.2%）、員弁コミュニティプラザ（18.7%）、藤原文化センター（16.6%）、員弁運動公園（16.4%）などとなっている。

男女別にみても。男性は、員弁運動公園、大安スポーツ公園などの比率がやや高く、女性は、員弁コミュニティプラザ、朝市「うりぼう」などの比率がやや高いものの、それほど大きな違いはない。

年齢別にみても。まず、特定の年代の利用率が高い施設である。中央児童センター（○△□）は30歳代・40歳代の比率が高く、大安図書館、北勢図書館、員弁運動公園、大安スポーツ公園は20歳代～40歳代の比率が高く、いなべ公園は20歳代・30歳代の比率が高い。また、阿下喜温泉「あじさいの里」は50歳代～70歳以上の比率が高く、梅林公園、朝市「うりぼう」は50歳代・60歳代の比率が高い。次に、年代に関係なく平均して利用率の高い施設である。中央公民館、北勢市民会館、員弁コミュニティプラザ、藤原文化センターは、藤原文化センターの20歳代を除いて、ほぼ平均した利用率となっている。

地域別にみても。当然のこととして、住んでいる地域にある施設の利用率が高い。利用率40%以上は、北勢では、北勢市民会館（47.2%）、北勢図書館（40.2%）であり、員弁では、員弁コミュニティプラザ（52.5%）、いなべ公園（51.7%）、朝市「うりぼう」（61.3%）であり、大安では、中央公民館（46.8%）であり、藤原では、藤原文化センター（63.9%）、梅林公園（47.4%）である。特に、朝市「うりぼう」と藤原文化センターの比率が高い。逆に、どこの地域でも利用率が5%を下回っている施設は、北勢武道場、北勢テニスコート、大安武道館、大安西部運動場、北勢運動場・フットサルコート、北勢プール、大安海洋センタープール、大安海洋センター艇庫、青少年野外活動施設の9施設である。

2. 福祉施策の事業への参加（表20）

問12 あなたは、四町合併後、いなべ市が福祉施策としておこなっている次のような事業に参加したり、利用したりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

回答したのは、1,196人（37.9%）である。参加・利用した人は40%弱である。回答した人の人数（表1）をもとに、属性別に参加・利用した人の比率をみても。

年齢別にみても。20歳代（10.2%）、30歳代（28.7%）、40歳代（25.9%）、50歳代（32.1%）、

表19 施設の利用状況

利用施設 (複数)	属 性		回 答 者 数		男 女		年 齢					地 域			
	全体	2521	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	北勢	員弁	大安	藤原	
	回答数	百分比	1141	1358	210	302	438	508	509	537	772	491	792	418	
			45.7	54.3	8.4	12.1	17.5	20.3	20.3	21.4	31.2	19.9	32.0	16.9	
1 中央公民館 (旧大安文化会館)	555	22.0	21.6	22.5	16.2	20.5	29.7	23.4	20.4	19.4	9.5	13.0	46.8	9.3	
2 中央児童センター (〇△□)	220	8.7	8.4	9.1	7.1	23.5	18.3	5.1	3.1	2.2	4.4	5.7	17.3	4.1	
3 北勢市民会館	649	25.7	26.2	25.4	21.4	18.5	26.5	26.4	29.3	26.6	47.2	15.7	14.6	17.7	
4 員弁コミュニティプラザ	471	18.7	15.2	21.9	12.4	25.2	22.8	18.7	18.7	14.7	9.2	52.5	12.8	8.9	
5 藤原文化センター	418	16.6	15.9	17.1	8.6	15.9	15.1	14.2	19.8	20.3	6.7	6.9	6.7	63.9	
6 ウッドヘッド三重	266	10.6	11.6	9.4	5.7	5.6	8.7	9.1	12.6	15.5	24.4	3.3	3.4	6.0	
7 大安図書館	393	15.6	13.7	17.5	26.2	21.9	23.7	14.0	10.6	8.0	4.8	6.5	38.6	2.4	
8 北勢図書館	108	16.2	15.2	17.1	25.2	25.5	23.3	13.8	11.2	8.8	40.2	5.3	4.2	6.9	
9 員弁図書館	162	6.4	5.1	7.5	8.1	14.6	7.8	5.3	4.5	3.0	1.6	25.9	1.8	1.2	
10 藤原図書館	190	7.5	6.9	8.2	9.0	11.9	9.6	4.9	7.7	5.4	1.6	2.0	1.6	36.4	
11 郷土資料館	71	2.8	3.6	2.2	1.0	1.3	2.1	2.4	4.1	4.3	1.0	1.0	5.7	2.6	
12 屋根のない学校	120	4.8	4.6	4.9	1.9	7.0	5.0	4.9	5.3	3.7	2.7	3.1	2.1	15.1	
13 藤原岳自然科学館	103	4.1	5.5	2.9	2.4	2.3	4.3	4.3	4.9	4.7	2.7	2.4	2.7	11.5	
14 員弁運動公園	413	16.4	20.1	13.4	25.2	28.5	28.3	11.8	8.4	8.6	11.9	39.5	9.8	10.5	
15 大安スポーツ公園	390	15.5	18.9	12.7	21.0	21.2	24.4	12.4	10.8	10.4	8.4	7.5	32.2	6.7	
16 北勢体育館	143	5.7	6.1	5.3	11.9	9.3	10.0	4.1	2.4	2.2	12.8	1.0	2.4	3.8	
17 北勢武道場	34	1.3	1.8	1.0	2.9	1.0	3.0	0.4	1.0	0.9	3.4	0.0	0.6	0.5	
18 北勢テニスコート	14	0.6	0.7	0.4	2.9	0.7	0.9	0.2	0.0	0.2	1.2	0.2	0.4	0.2	
19 大安武道館	41	1.6	1.6	1.7	1.0	2.6	4.6	1.6	0.4	0.2	0.6	0.6	3.9	0.5	
20 大安海洋センター体育館	61	2.4	2.5	2.4	2.4	5.3	5.3	2.4	1.0	0.0	0.5	0.8	6.2	0.7	
21 大安西部運動場	22	0.9	1.0	0.7	1.4	0.3	2.1	1.0	0.2	0.4	0.4	0.0	1.9	0.7	
22 北勢運動場	18	0.7	1.2	0.2	3.8	1.7	0.2	0.8	0.0	0.0	1.4	0.6	0.3	0.5	
23 北勢其原グラウンド	64	2.5	3.7	1.6	2.4	5.3	3.9	2.0	1.8	1.3	6.3	0.8	0.8	1.2	
24 北勢中山グラウンド	60	2.4	3.7	1.3	3.3	4.6	3.4	2.4	0.8	1.1	6.5	0.2	0.5	1.2	
25 員弁市之原野球場	65	2.6	4.2	1.2	4.3	4.3	4.6	2.2	1.4	0.7	2.7	5.9	1.0	1.4	
26 藤原第1野球場	86	3.4	6.0	1.2	3.3	6.3	5.7	2.0	2.2	2.4	2.8	2.2	1.4	9.8	
27 藤原第2野球場	40	1.6	2.5	0.8	1.4	3.3	3.0	0.4	1.0	1.1	1.0	1.0	0.4	5.7	
28 藤原運動場	66	2.6	3.8	1.7	2.4	4.6	4.1	0.8	1.8	3.0	0.8	0.6	0.3	12.7	
29 北勢プール	31	1.2	1.0	1.5	3.8	2.0	2.5	0.6	0.4	0.2	3.4	0.2	0.1	0.5	
30 大安海洋センタープール	36	1.4	1.5	1.4	1.9	3.6	3.2	0.8	0.6	0.0	0.1	0.6	4.0	0.0	
31 大安海洋センター艇庫	18	0.7	1.1	0.4	2.4	1.0	1.1	0.4	0.2	0.4	0.3	0.8	1.0	0.5	
32 北勢福祉センター	273	10.8	10.0	11.7	5.7	10.3	8.7	8.7	15.1	13.2	29.9	2.6	1.8	2.9	
33 大安老人福祉センター	203	8.1	7.1	8.9	6.2	6.0	6.2	5.9	7.5	14.3	2.1	2.0	21.2	0.5	
34 員弁老人福祉センター	132	5.2	4.0	6.3	1.9	2.6	4.8	4.1	3.7	11.0	1.6	20.8	1.8	0.7	
35 員弁健康センター	77	3.1	2.6	3.5	2.4	3.0	3.2	3.0	2.8	3.7	0.8	13.6	0.5	0.0	
36 藤原社会福祉センター	58	2.3	3.0	1.8	0.5	1.7	1.6	1.8	3.5	3.4	0.8	0.6	0.5	10.3	
37 藤原デイサービスセンター	41	1.6	1.4	1.8	0.0	1.0	0.7	0.4	1.8	4.3	0.5	0.4	0.1	7.9	
38 藤原高齢者生活支援センター	104	4.1	3.9	4.5	0.5	2.0	0.7	1.2	6.5	10.1	0.9	0.6	0.6	19.9	
39 高齢者等研修施設「熟人荘」	89	3.5	3.6	3.5	0.0	1.3	2.5	2.4	4.5	7.1	9.3	0.8	1.1	0.7	
40 阿下喜温泉「あじさいの里」	483	19.2	18.7	19.6	11.4	13.9	15.1	20.7	25.1	21.4	26.7	13.8	16.5	16.0	
41 いなべ公園	770	30.5	31.0	30.6	40.5	47.7	32.4	26.8	30.8	19.6	27.1	51.7	27.7	18.7	
42 エコ福祉広場	139	5.5	6.3	4.9	6.2	6.0	3.7	5.3	7.1	5.4	3.5	2.9	3.7	16.0	
43 梅林公園	790	31.3	33.0	30.3	23.8	27.8	24.2	35.6	41.8	18.7	32.4	26.1	25.5	47.4	
44 青少年野外活動施設	34	1.3	1.2	1.5	2.4	3.0	2.3	1.2	0.6	0.2	0.1	4.5	0.4	1.9	
45 北勢斎場	535	21.2	24.4	18.9	11.9	17.9	24.4	26.2	23.6	17.5	28.0	16.3	16.5	23.7	
46 朝市「うりぼう」	922	36.6	30.9	41.7	20.0	33.4	36.5	48.4	45.2	26.4	28.8	61.3	38.4	19.1	
47 農産物等販売施設「ふじのいち」	129	5.1	4.7	5.5	2.9	4.0	3.9	6.1	7.9	4.3	2.2	1.6	2.3	20.1	
48 青川峡キャンピングパーク	357	14.2	16.3	12.6	16.7	23.2	17.1	12.4	13.9	8.0	24.1	9.2	11.1	8.1	

- 1)ゴシックは回答者数。回答数欄(縦)の数字は、回答数。複数回答のため、回答数の合計は回答者数を超える。
2)他の数字は、回答者数に対する百分比。複数回答のため、百分比の合計は100%を超える。

表20 福祉施策の事業への参加

属性	回答者数		男 女		年 齢						暮 ら し 向 き					地 域				
	全体 1196		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	かなり余裕	少しは余裕	ふつう	少し 苦しい	非常に 苦しい	北勢	員弁	大安	藤原	
	回答数	百分比	472 39.7	718 60.3	28 2.3	100 8.4	133 11.1	202 16.9	342 28.7	388 32.5	13 1.1	119 10.1	753 63.8	221 18.7	75 6.3	362 30.8	210 17.9	387 32.9	217 18.4	
福祉施策 の事業																				
1	PROJECT Love&Live	29	2.4	2.1	2.6	14.3	5.0	7.5	3.0	0.9	0.3	0.0	5.0	2.4	0.9	2.7	1.7	4.3	2.3	1.8
2	いなべ市民人権 フェスティバル	114	9.5	8.5	10.3	21.4	10.0	12.8	16.3	7.6	5.7	15.4	13.4	9.8	7.7	4.0	8.3	16.7	8.5	5.1
3	心配ごと相談	56	4.7	5.9	3.9	3.6	3.0	3.0	3.0	5.8	5.7	0.0	5.0	4.1	5.0	6.7	6.9	3.3	4.4	2.8
4	ファミリーサポ ートセンター事業	17	1.4	0.8	1.8	3.6	10.0	1.5	1.0	0.3	0.3	0.0	3.4	1.2	1.4	1.3	0.3	2.9	2.3	0.5
5	地域包括支援 センターの事業	10	0.8	0.6	1.0	0.0	1.0	0.0	1.5	0.6	1.0	0.0	0.9	1.4	0.0	0.6	1.9	0.5	0.9	
6	家庭児童相 談室の事業	12	1.0	0.6	1.3	0.0	4.0	1.5	1.5	0.6	0.3	7.7	0.0	0.5	1.8	4.0	1.1	1.4	1.0	0.5
7	子育て支援セ ンターの事業	111	9.3	8.3	10.0	50.0	57.0	11.3	5.4	2.6	1.3	0.0	12.6	9.0	8.1	13.3	7.7	11.0	10.6	8.8
8	住民検診	1004	83.9	84.1	83.8	21.4	40.0	78.2	85.1	93.3	92.8	84.6	77.3	83.9	87.8	81.3	82.9	80.5	84.5	88.5
9	健康相談	68	5.7	6.4	5.0	3.6	3.0	0.0	5.0	5.6	9.0	15.4	3.4	5.6	6.3	5.3	7.7	4.3	2.1	9.2

1)ゴシックは回答者数。回答数欄（縦）の数字は、回答数。複数回答のため、回答数の合計は回答者数を超える。

2)他の数字は、回答者数に対する百分比。複数回答のため、百分比の合計は100%を超える。

60歳代（56.3%）、70歳以上（52.8%）である。60歳代・70歳以上が50%を超えているのに対し、20歳代は10%台にとどまっている。

暮らし向き別にみても（かなり余裕は省く）。少しは余裕（41.6%）、ふつう（38.9%）、少し苦しい（37.0%）、非常に苦しい（31.3%）である。暮らしが苦しい人ほど比率が低くなっている。

地域別にみても。北勢（37.6%）、員弁（36.3%）、大安（38.2%）、藤原（42.3%）である。地域による違いはあまりない。

なお、参加・利用した人の中で比率が高いのは、住民検診（83.9%）であり、いなべ市民人権フェスティバル（9.5%）、子育て支援センターの事業（9.3%）、健康相談（5.7%）、心配ごと相談（4.7%）などは10%以下となっている。

3. 小括

(1) 住んでいる地域にある施設の利用という点で、北勢では、北勢市民会館（47.2%）、北勢図書館（40.2%）、員弁では、員弁コミュニティプラザ（52.5%）、員弁図書館（25.9%）、大安では、中央公民館（46.8%）、大安図書館（38.6%）、藤原では、藤原文化センター（63.9%）、藤原図書館（36.4%）の利用率がいずれも高い。これらの施設は、社会教育活動の拠点施設としての役割も持っており、利用の拡大が一層期待される。

これとは別に、どこの地域にあっても利用率が5%を下回っているという施設が9施設存在する。これらの施設は、住民の活用の拡大という点から運営の検討が必要である。

(2) 福祉施策として実施されている事業への参加・利用者は、40%弱である。地域別にはあまり違いがないが、20歳代の参加・利用率が10%台にとどまっていること、暮らしの苦しい人ほど参加・利用率が低いことなど、検討すべき点がある。

V. 住民の生活・意識とまちづくりの課題

本調査では、対象を住民の意識に限定しないで、住民の生活実態や生活要求をも把握しながら、まちづくりの一環として、人権教育・人権啓発に関わる課題を検討するという方法をとった。したがって、調査結果を次のような観点で整理することとした。

1. まちづくりの前提となるのは住民の生活要求である。
 2. まちづくりの主体となるのは、住民自身の地域活動である。
 3. 民主主義や地域問題に対する考え方は、まちづくりの在り方に影響を及ぼす。
- 以上の整理をふまえて、人権教育・人権啓発に関わる課題を検討することとした。

1. 住民の生活要求－まちづくりの前提

(1) 家庭の生活要求

少子・高齢化は、単に子どもの減少と高齢者の増大という人口の問題にとどまらず、社会情勢と関わった独自の問題を伴って進行している。子どもの問題は、子どもの荒れ・不登校・いじめや学力・進路問題とともに新たに安全の問題が焦点になってきた。子どものことで心配なことで、中学生・高校生では進路問題が一位であるが、小学生では、安全問題が一位となっている。

一方、高齢者問題は、高齢者の介護問題を伴って進行している。介護の必要な高齢者がいる世帯は約六分の一であるが、その約80%が在宅介護となっている。介護者の中心は、配偶者（高齢者）と同居の子どもである。家族構成で、二世帯・三世帯の比率が高いのは高齢者の介護問題も影響している。もちろん、こうした対応だけでは限界や不安のあることは自由記述からも読み取れる。社会的な対応への要求は、強く意識されているといえる。

もちろん、家庭の生活要求はこれだけではない。特に、高齢者問題と並んで経済問題があげられていることは無視できない。昨今の政府の政策を反映してか、医療費や税金の高さに対する意見は多い。

(2) 地域の生活要求

地域の生活要求を、三つの調査内容から検討する。第一は、地域で何とかしなければならないこと（問6）である。この結果にも、少子・高齢化が反映している。地域では、青少年が少ない問題だけでなく、子育てに必要な遊び場や運動場所の少ないことに対する意見が多い。これには、子どもが安心して遊べる場所の確保という意味もこめられているのであろう。また、介護が必要な高齢者のいる世帯のことがあげられており、高齢者介護の施設に対する要求も強い。もちろん、地域の生活要求はこれだけではない。障害者・高齢者が利用できる交通機関が少ないことをはじめ、交通の不便さに対する意見は多い。また、診療体制に対する要求は高齢者より20歳代～50歳代の比率が高いことから、地域全体の問題として自覚されているとあってよい。

第二は、地域の10年間の変化に対する住民の評価である。特に、肯定的意見より否定的意見の比率が高かった「働く場所がふえた」が注目される（問4②）。これは、事実として「ふえた」とは言えないという問題とともに、住民の要求・願いが反映されているとみるべきである。

第三は、地域の問題に対する考え方（問8⑤～問8⑧）である。ここでは、高齢者への評価と障害者への評価が対照的であることが注目される。地域で高齢者が大切にされていると思う人は相対的に多いが、障害者が安心して生活できる地域だと思う人は少ない。障害者への対応が相対

的に遅れていると感じている人が多いということである。

2. 住民の地域活動とその評価—まちづくりの主体

住民の地域活動をめぐる実情は、まちづくりの主体の問題として重要である。二つの調査内容から検討する。第一は、地域の10年間の変化に対する住民の評価である。ここでは、肯定的意見より否定的意見の比率が高かった四項目のうち、「働く場所がふえた」の項目を除く三項目（「他の地域の人たちと交流する機会がふえた」「住民相互のまとまりや助け合いが進んだ」「地域の行事に参加する人が多くなった」）が、住民の地域活動に直接関係していることが重要である。少なくとも、これまで地域活動が活発に展開されてきたとは思われていない。

第二は、現在参加している地域活動についてである。何らかの地域活動に参加しているのは、約三分の二である。参加している活動では、町内会・自治会（36.4%）、老人クラブ・高齢者団体（18.9%）、趣味・教養のサークル（10.0%）などの比率が高い。

参加していないのは、約三分の一である。参加していない理由の中で、「一緒に活動する仲間がない」「参加の仕方がわからない」が一定の比率を占めていることは、今後の働きかけしだいでは参加の可能性がある問題として検討を要する。

ただし、年齢別にみた場合、20歳代の約四分の三が「特に参加していない」と回答しており、他の年代に比べて特に多い。これは地域活動だけではない。身近な施設の利用についても、20歳代では「利用しない」の比率（64.9%）が特に高くなっている。福祉施策として実施されている事業への参加・利用率も20歳代は10%台にとどまっている。このように、青少年問題は、青少年が少ないだけでなく、地域で生活している青年自身が地域への関わりをあまり持っていないという問題としても顕在化している。まちづくりの主体をめぐっては、看過し得ない問題である。

3. 民主主義と地域問題に対する考え方—まちづくりの在り方への影響

(1) 民主主義的な意識

民主主義的な意識については、同様の調査をおこなった滋賀県・日野町と比較してみる（日野町教育委員会・滋賀大学生涯学習教育研究センター『人権学習に関する意識調査報告書』2005年11月）。

四つの項目のうち、「男女の役割意識」「結婚観」「結婚相手の家柄へのこだわり」の三項目については（二つの項目で、日野町の否定的意見の比率がやや高いものの）、大きな違いはない。問題なのは、「自治会の女性役員が少ない」こと（日野町調査では「女性の自治会長がない」こと）に関する回答の違いである。日野町調査では、「女性の自治会長がない」ことに対する

いなべ市調査と日野町調査の比較 (％)

	男女の役割意識			結婚観			自治会の女性役員が少ない			結婚相手の家柄へのこだわり		
	否定	肯定	不明	当人	家族	不明	否定	肯定	不明	否定	肯定	不明
い	56.4	37.6	6.1	88.9	6.7	4.4	28.8	57.3	13.9	59.1	32.7	8.2
日	64.3	33.3	2.4	90.1	6.8	3.0	59.9	34.5	5.6	68.2	28.9	3.0

1)い—いなべ市調査、日—日野町調査

2)日野町調査では、自治会の設問は「女性の自治会長がないこと」についてである。

否定的意見の比率が高いが、今回の調査では、「自治会の女性役員が少ない」ことに対する否定的意見の比率は低い。

これと関わって注目されるのは、第一に、男女の役割意識の関連である（表18）。男女の役割意識で「おかしい」「少しおかしい」と答えた人のうち、「自治会の女性役員が少ない」ことを「おかしい」「少しおかしい」と答えた人より、「それほどおかしくない」「おかしくない」と答えた人の方が多くなっている。

第二に、10年間の変化に対する評価との関連である（表9）。「社会的な活動に参加する女性がふえた」ことに対しては肯定的意見の比率（63.0%／男性63.1%、女性62.8%）が高いことにふれたが、「自治会の女性役員が少ない」ことを「それほどおかしくない」「おかしくない」と答えた人が多いということは、「社会的な活動に参加する女性がふえた」という事実は認めつつも、自治会の役員が少ないことについてはそれほど気にならないということである。

（2）社会観と民主主義的な意識

「人権が守られている」と民主主義的な意識・地域問題に対する考え方の関連については、注目すべき点がある。それは、「人権が守られている」の項目と関連性があったのは、民主主義的な意識に関係した四項目ではなくて、「高齢者は大切にされているか」「障害者は安心して生活できるか」「外国人にとって住みやすいか」の三項目だけということである。これは、人権という概念が、高齢者・障害者・外国人、ひいては他の人びとを大切にすることであるというレベルで理解されているのではないかということを示唆している。

4. まちづくりと教育・学習活動－人権教育・啓発の課題

（1）住民の生活と意識－教育・学習活動の前提

政府関係機関による人権教育・啓発施策の展開に伴って、住民の人権意識があたりにも教育・学習によって左右されかのような論調が強まってきた。住民の人権意識は、何に規定されているかがまず重要である。

今回の調査で注目されるのは、民主主義的意識の相互の関連の問題である。第一は、結婚に際して当人の意志を尊重すると答えた人のうち、結婚の相手を決めるときに家柄を問題にすることはおかしいと答える人は多いのだが、おかしくないと答える人が30%ほど存在する。これは、結婚観を問われれば当人の意志を尊重すると考えるものの、地域における結婚相手の家柄へのこだわりはあえて否定しないということである。第二は、男女の役割意識でおかしいと答えた人のうち、「自治会の女性役員が少ない」ことはおかしいと答えた人より、おかしくないと答えた人の方が多くなっている。つまり、男女の役割意識を問われればおかしいと考えるものの、自治会の女性役員が少ないことはそれほど気にならないということである。

このように、民主主義的な意識といっても矛盾した現れ方をする場合がある。つまり、意識の問題はそれ自体が独立して存在するわけではなく、権利保障の実態や地域・職場・家庭における民主主義の成熟の度合い、合理的な生活習慣の定着などと関連している。住民の意識は、地域・職場・家庭での民主主義の前進などと関わって変化していくものであることを、まず前提として確認する必要がある。

（2）学習課題としての人権問題

地域において人権学習を構想する場合、学習すべき人権課題とは何かが問題となる。今回の調査に関して言えば、二つのことが重要である。

第一は、日常の生活課題の中に人権問題があるということである。人権問題は一般的に存在しているわけではない。人権問題は生活の中に存在する。換言すれば、住民の生活課題の中で人権問題に関係しない生活課題はない。したがって、住民の切実な生活要求の中に具体的な人権問題が存在しているととらえるべきである。ときどき、「身近な人権問題を考える」といった設定がある。これは、県・国・世界レベルではなく、地域で焦点になっている問題であるという意味ならともかく、生活課題とは別に人権問題があるかのように考えられているとすれば問題は残る。

家庭の生活要求・地域の生活要求として示された生活要求の解決は簡単ではないが（地方自治体だけでは解決できない問題もある）、解決に向けた地域のとりくみの中に学習活動が位置づけられた時、その学習は人権学習としての意味も持つことになる。

第二は、人権問題は何よりも自分自身の人権に関する問題だと言うことである。たとえば、高齢者問題（介護や生きがいなど）は、自らが安心して老後を過ごすことのできる権利の問題であり、障害者問題は、障害者自身が安心して生活（教育・医療・福祉・就労など）できる権利の問題である。

つまり、「人間としての尊厳の基本にかかわる価値・利益には—最低限これだけはどんな関係においても侵害・抑圧されてはならないといえるものがあるはずであり—そういう価値・利益については、権力的要素のあるなしにかかわらず、人権としての位置があたえられてしかるべき」（浦部法穂『[新版] 憲法学教室Ⅰ』日本評論社、1994年）だということである。したがって、人権は、侵害・抑圧されてはならない「人間としての尊厳の基本にかかわる価値・利益」に関する問題であって、「お互いの思いやり」といった人間関係の問題とはひとまず区別されるべきである。

「お互いの思いやり」を言うのであれば、むしろ、自分自身と同じ人権問題（たとえば、高齢者問題）をかかえる人たちの存在を知り、共感し励まし合う関係を形成することこそ「思いやり」の基本であることが重視されるべきであろう。

（3）住民参加と自主的活動の支援

住民の地域活動の状況を考慮した場合、次のような観点からのとりくみが重要となる。第一は、住民参加を重視した事業の企画・運営である。いなべ市では、北勢市民会館、員弁コミュニティプラザ、中央公民館、藤原文化センターなどの利用率は高い。こうした施設における学級・講座の開設に際し、住民と共同で企画・運営するという工夫をおこなうことで住民参加を促すことが一層の活性化につながると思われる。

第二は、住民の自主的活動への支援である。学級・講座などを開設する場合、住民が知識・技術を獲得することを目的とするだけでなく、参加した人たちによる自主的な組織の立ち上げや自主的な学習運動を支援するという目的を持って企画・運営されることが期待される。

調 查 資 料

資料1

【自分の将来や老後のことで、不安に思っていることや悩んでいることがあれば自由に書いてください。】

問3（3）には、748人（23.7%）から回答がありました。個人を特定できるようなものでない限り、原文のまま掲載しました。

- ・ 昔の様に、親を立て親に安心を与えてくれる様な子供であってほしい。家族として協力し合える人間関係がほしいと切に願っています。
- ・ 年金が少なくなるので将来心配しています。
- ・ 自分の思う所への就職が出来ないこと。
- ・ 過疎地で文化、地域開発が遅れ、収入源がないこと。生活向上の糸口が見いだせないこと。どうすれば生活に生きがい生まれるのかが明確でない等々、住民は不安の方が多くに思われる。どう対応すればこの地域が開発されるのか非常に注目している。
- ・ たとえ同居していても、老後の事は、まだまだ心配です。元気でいる内はいいが、病気でもすれば子供達にも負担がかかるし、年金が少しずつでも減っているのが心配です。私達がもらう頃には、もっと少なくなってしまうのでは？と。そして子供に頼る事は、今の時代無理だと思いますが。
- ・ 50才位からの収入
- ・ 大安ジャスコが将来閉館されると不便である、ぐらいか。
- ・ 今住んでいる家が古くなってきたので壊れないかと心配。壊れても新しく建てる費用が無いから心配です。
- ・ 障害者（長男）をかかえ、親無き後が心配。
- ・ 年金が、65才からになり、60才からの生活が心配。
- ・ もし私が先に死んだら身体障害者1級の主人が脳梗塞で右半身不随になっているので心苦しくて困り悩んでいます。どうすればよい事やら。
- ・ 将来、年金がもらえるか、もらえないかが不安。
- ・ 息子に嫁がない事
- ・ 老後の経済。生活、生活力、病気、後継の事。
- ・ 後継者や年金。
- ・ 老後の病気、年金、家族の事。
- ・ 今払っている年金が、ちゃんと貰えるかどうか。
- ・ 私達夫婦も目前に年金の事がせまって来て、息子達には迷惑はかけられないし、両親も見ていますので、この先とても不安です。農業も後継者が定まりませんし、この先、先細りの気がしています。
- ・ 年金の事。
- ・ 老後の生活、病気。
- ・ 老後は施設に入るつもりですが、ひょっとして長生きして貯金が足らなくなったらどうしよう。子供には絶対迷惑をかけたくないから。
- ・ 自分自身の介護で子供に負担をかけたくないと思っていますが、高齢者が増える中、施設が利用できるのか、又、現在の施設利用料がかなり高額で自分自身の年金だけでまかなえるのか不安です。
- ・ 今は何でも出来ますが、動けなくなった時の事を思うと、とても不安です。そうなった時どうしたらいいのか心配です。
- ・ 自分が寝たきりや痴呆になった場合に介護をしてくださる病院、施設等入れていただく事が出来れば良いかと心配する。利用される方が多くて順番待ちとか聞いているが。
- ・ 外部から引っ越ししているので、お寺の付き合い方などが不安。
- ・ 病気になった時、介護してもらえるか心配。
- ・ 生計が普通に、あるいは苦しくても継続できるか。健康が継続できるか。しかし最後にどんな末期になるのか、安心して旅立てるのか、最期を迎えられるか。
- ・ 病気になった時、費用が心配。

- ・ 老人2人暮らし。老々介護のこと。
- ・ 年金受給資格年令に達した時、年金が受けられるか。周囲に高齢の1人暮らしの人が多いのが心配です。
- ・ 健康維持の暮らし方（楽しく日常生活を過ごす方法で夫婦仲よく暮らすことを考えています）。
- ・ 自然災害（地震、台風）が起ること。自身の健康維持の心配。家、宅地等の保安全管理。
- ・ 老後、年金だけで暮らしていけるか心配である。
- ・ 高齢化社会になり医療費や税金が高くなりつつある現状で、ますます生活の維持の困難が予想され、障害者になれば老人保健施設や老人ホームが不足し、在宅介護が難しくなるであろう。それには自分の健康は自分自身で心がけるよう努力はしているつもりですけど、もっと町、市、県、国で高齢になっても住み良い町になればと思う。
- ・ パート勤めの為、老後の事が心配。本当に年金はあるのでしょうか？主人も年々、年金・介護保険の引かれる額は増え続けているのですが、本当に自分たちは国が保障してくれるのか？
- ・ 社会保障費、税の上昇による家計の圧迫。
- ・ 高齢者介護が必要となった場合の負担と仕事への影響。
- ・ 子供が増え、車の買い替えなど、かなりの出費が予想されるのに、お金がない。ローンをくむ余裕もない。チャイルドシートが義務なので、子供が増えれば大きな車に替えなければならなくなる。少し補助がもらえたらうれしいと思います。
- ・ 年金が受給されるかどうか心配。
- ・ 将来、高齢者が増えることは決っている。早目に施設の整備に力を入れてほしい。
- ・ 老後は個々家族の中で、また地域の仲間と共に、子孫の世話役をしました。今はこれも儘にならなくなりました。次の世代に取り次ぐ環境はアレ、ヨゴレを渡すのがしのびない。
- ・ 年金は減少し、医療費の負担は増大。子供には世話になるのは、子供への負担が大きい。老後のことが、とても心配。長生きはしたくないと思う。
- ・ 目と足が不自由なので行く先不安である。正に七転び八起き、人は相手の立場を考えるべきなのに中々自分本位、自分の家本位の人が多い。弱いと思うとすぐにつけ込む人が周囲に多いことは、こういう調査だからこそ書ける。でも人様にお世話になる気持は持っているつもりです。
- ・ 車の運転が出来なくなった時の生活（買物他）。親、自分の配偶者の介護。
- ・ 先々の年金の減少の不安を考えます。
- ・ 年金が少しずつ減っていく事。国民年金の人は減らさないで下さい。
- ・ 配偶者とは死別しています。現在の家は息子夫婦が新築しました。私の権限はまったく無く、もし私より先に息子が不幸になった場合、嫁とは他人ですから長く一緒に住めないと思います。居場所が無くなると施設への入所は、経済的に余裕がありませんので前途に失望しています。長生きはしたくありません。
- ・ 配偶者の収入が少なく、夜も働いて、なんとか生活している。子供の進学とか考えると、夜も働いていっぱいいっぱいなのに、なかなか進学に備えて貯金もできず先が不安。自分の過労も心配。
- ・ この先もずっと年金制度があるのか不安。
- ・ 家を継ぐ者がいないので、私ら夫婦のあとはどうなるのか、不安です。
- ・ 高齢者2人暮らしですから、1人病気で倒れたり、1人になったら経済は勿論、日々の生活、社会との付き合いに困ることは明らかです。
- ・ 高齢者福祉及び障害者のこと、また年金のことなどもっと税金の使い道を考えてほしい。
- ・ 町の税金が高いとか年金のこと。
- ・ 嫁や子供がいないから最後は1人になり、どうなってしまうのか？病気等で働けなくなるのじゃないかと心配である。
- ・ 年金生活のため税の出費が年々増して、日を追うごとに生活が苦しくなっていく。仕事も無く、出来ず、年々増える福祉費や税金に将来の不安を感じる。
- ・ 結婚、出産後に勤め続けられるような職場が少ない。
- ・ 今の収入では借金の返済や、生活もギリギリで、今後、年をとって働けなくなった時に、どうやって

生きてゆくか心配。

- ・ もし病気になったらどうするか。
- ・ 調査対象者本人の介護ランクを下げられ、サービス低下が懸念される。
- ・ 地域の中に商店等がなくなり（閉店）、自転車で行動出来るうちはいいが、免許のない老人は、生活に支障が出るのではないかと。将来夫婦だけの老人世帯になった場合、不安を感じる。
- ・ 被保険者1号の自営者で基礎年金だけで、共済、厚生年金、退職金が出ない立場の人は将来が苦しい。個人営業者とサラリーマンの大幅な年金格差や、老人60才以上の人の年金格差が大きく、日本は月額3万～20万くらいと差がひどすぎる。年金を一元化して1人10万円くらいはあたるように考えてほしい。
- ・ 年金制度の崩壊。いつまで働かないと食べていけないか。
- ・ 老後、生活出来るだけの年金がもらえるかどうか。
- ・ 寝込んだらという不安。
- ・ 年金収入が少ないこと。物価が高いこと。
- ・ 私は20代の女性です。両親が出来なくなった時、田、畑は今後どうすればいいのかな？と思います。
- ・ 体が年を取っていくのに自信がない。
- ・ 年金制度について。老後の保障について。子供達の大学進学についての教育費捻出について。
- ・ 医療費や介護費を安くしてほしい。
- ・ 今、夫婦がパートのような収入で老後になった時、年金は少ないし、仕事にもつけないと、どのように生活したらよいか。先の事を思うと心配。
- ・ 介護者が必要になった時、ある程度の設備の整ったホームで国民年金だけで入所出来る所の有無。
- ・ 入院期間が3ヶ月過ぎると病院のたらい回しに合うとか？
- ・ 息子の結婚相手がないこと（25年位）長年悩んでいます。
- ・ 新聞、テレビで兇悪な人殺し等書かれています。老人として恐怖を感じています。最近少し離れた家の老女が行方不明になりました。
- ・ すべてです。年金の事。生活できない子供に迷惑かけたくない。
- ・ 年金制度には大きな不安がある。
- ・ 未婚のため、老後自分が介護状態、病気になる事が将来的には心配である。
- ・ 年金生活で過ごせるか（国民年金）。
- ・ 施設を利用するにも今は料金も高いと聞きます。年金だけでは利用することも出来ないのではないのでしょうか。
- ・ 親が亡き後、自分達でやっていけるか心配です。
- ・ 病気になった時の介護に不安を覚える。
- ・ 年金だけで生活して行けるかが不安に思う。
- ・ 自分の親が持っている田や畑について、親が維持できなくなった時に自分が管理できるか。
- ・ 土地柄不便である。個人的にはもう少し便利（交通や買物）な所へ引越ししたい。子供が大きくなると学校までが遠すぎるし時間がかかる為。今後悩みが大きくなりそう。
- ・ 病気になっても1つの病院に長くおいてくれない事。
- ・ 税金や年金、保険がどんどん高くなってきており、将来、生活していけるだけのお金があるかどうか非常に心配（世の中「お金が全て」になってきている日本社会が恐ろしい）。
- ・ 自分達が年金を頂ける時がくるのか。その時、子供達に負担が、かなりかかるのではと今から心配。
- ・ 年金等が非常に少なくなって生活が苦しくなってきた。
- ・ 年金が本当にもらえるのか、納め損にならないか。各税金は増えるばかり、国・市・町への不信。
- ・ 定年後、年金受給までの収入がないと生活できない不安があります。
- ・ 年金はもらえるのか。国民年金なので不安。
- ・ 年金が本当にもらえるかどうか？（60才から）
- ・ 医療費が高くなったので入院した時の事を思うとお金が心配。
- ・ 定年後、年金だけで暮して行けないので何か仕事を探したいが近くにあるのだろうか。

- ・ 収入が少ない。仕事があまくいかない。将来の生活が不安。
- ・ 定年後の5年間農業等で食べて行けるか、又、親の介護が必要となったらどうしようかと思うこと。
- ・ 夫婦2人の生活なので認知症になったり寝たきり生活になったらどうなるか心配です。入院したり、施設入所等は経済的に負担が多いから無理だと思われるので不安です。
- ・ 自分には血のつながった親族がないので病気になっても、頼る人がいないので、入院等になった時に心配。夫は私を見捨てると思う。
- ・ 今、流行のように核家族化が進み、敷地内別居どころか、全く違った所で生活する夫婦が見られる。自分はどうなるのかな？と考えた時、フッと不安になったりする。
- ・ 今はまだ元気ですが、年令と共に身体の方が自由にならなくなった場合どうしようか。
- ・ 家族のことできちんと介護の必要は認められなくても高齢や病後の事等で老人性脳の変縮等で解らず苦しんでいる人が多い時代です。高齢社会の大きな課題ですがそんな悩みの解決方法を話し合いたいものです。
- ・ 65才まで働けるのか？年金で生活出来るか？
- ・ 自身の結婚
- ・ 健康の事
- ・ 家の中に閉じこもりがちにならない様、趣味のサークル、老人ふれあい交流会には、これからも進んで出席したいと思っています。皆さんとお会いするのを楽しみにしています。
- ・ 自分が生き甲斐の脱線した子育てに、超老人になってやっと反省したがあとの祭り。40年過ぎて謝罪しても、残りの生涯を完全にお返しするのに40年かかりますが、生きてる時間だけです。
- ・ 子供達に、親の為に、藤原に住んで一緒に暮して欲しいといえる環境ではありません。いずれ、老々介護、その前に自分たちの親の介護が必要となります。環境的には、自分たちも老々介護となるかもしれないという不安。子供達に迷惑はかけたくないという気持ちが強いです。
- ・ 介護が必要になった時、施設に入った場合、金銭的に困ると思う。
- ・ 実家に残している二人の両親（70才）をどうやってサポートしてゆくか等。同居している義母が年老いてゆけばゆく程、両親と重なって、かわいそうに思います。自分の老後は夫婦仲良くつつましく暮せる分の現金を持っている方が安心だなと考えています。子供の為にと全てを子供の教育にかけてしまうのは、良いことではないと思っています。一文無しになり子供に頼りたくないから。
- ・ 年金で生活できるか不安？医療費が高すぎる。
- ・ 生涯現役の職をやりたい。
- ・ 環境のこと。
- ・ 年金暮らしになった時に村の毎月の支出（神社費、仏壇費→特に仏・寺の修理代等、組費、区費）等が高額で支払っていけるだろうか。
- ・ 消費税の値上げ、意味がわかりません。フリーターなのでそのままいくと年金がもらえないので不安。
- ・ 年金等だけで生活できるのだろうか、という不安はあります。又、身体の体力的なことも不安になることも。
- ・ 年金の事。
- ・ 少子高齢化の社会で、年金制度が維持できるのか不安。若者だけに過重な負担をかけるのは無理なので、やはり消費税を上げてでも年金制度は存続して欲しい。
- ・ 自分達が老後、年金をもらえるかどうか、不安です。子供達の税金が今以上に上がると不安です。
- ・ 家のローン返済。親の介護。
- ・ 息子が未婚のため、家の後継者が不安。
- ・ もうすぐ退職しますが、会社の経営状態で退職金がもらえるかどうか？老後、今の福祉の中では、病気になったらポックリ死ぬ事が出来るようにと祈るばかりです。子供達の生活を考えると世話にはなれない。今の老人の様に旅行をしてカラオケをして、今日は何をしようか？と遊ぶ事を考えて過ごしている人みたいな事は絶望的で、死ぬまで働かなければと思っている。
- ・ 医療費、介護施設。
- ・ 子供と別生活の為、将来同居出来ること。

- ・ 年金が少ないため、生活が苦しい。健康保険料が高く生活が苦しい。
- ・ 子供が独立した後、夫婦のみの生活になった時の年金、介護等。現在でも問題があるのに、少子化となり、不安に思います。
- ・ 老後の生活資金のこと。
- ・ 息子がまだ結婚をしていないので、早く良い相手がみつかるよう願っています。
- ・ 自分が高齢者になった時に、年金だけを当てに生活できるのか不安。
- ・ 老人の世話。
- ・ 生活費の確保。友達付き合い、近所付き合い。子供達の生活。
- ・ 子供が、後見てくれるか、それが心配。
- ・ 高い年金を払っていて、将来自分が年を取った時に、きちんと年金をもらえるのかと思うこと。払ってない人と払っている人との何か差別化があるのだろうか、と。
- ・ 財政赤字。ハイパーインフレ？世界各国はほとんどインフレで解消。困るのは国民だけ。何もかも十分にすると赤字が大きくなる。行政はどうか？
- ・ 自分の子供の将来の事（この先の年金や、色々な面で）。そして、自分達の老後のこと。
- ・ 年金の増額を望む。
- ・ 結婚しても食べさせて行く力がない。両親が70才を過ぎた。帰りが午後10時を過ぎるので、一番の悩みである。近くで店が無いので両親が買物にも行けない（車に乗れない）。
- ・ 年寄りが多く子供が少ないので、年金をもらうのが遅くなり金額が減るのが心配。老後の病気（入院、痴呆になった場合）。
- ・ 65歳以上の高齢者が20%を超えている現在、老後がすごく不安です。年金も、もらえるのかしら？？
- ・ 会社の勤め関係でこの地に移住。このまま生活をして行きます。2人共元氣の内は良いですが、はや高齢に入りました。今後老人施設等考えるべきかと思えます。
- ・ 子供（男）はいるが、もし親が寝たきりになった場合、介護をしてもらえるか心配です。
- ・ 自分に介護が必要になった時、家族に金銭的にも身体的にも負担がかかる。どうか、皆の重荷にならない様に。
- ・ ①年金 ②健康 ③子供
- ・ 年金は少ないし、もし老後病気になった時、病院へ入るにもお金がいるし、子供が結婚していないので見てくれる人もないし、心配しています。
- ・ ご神仏のお守りと、ご先祖様で1日、1日を過ぎて頂き感謝の毎日です。
- ・ 夫が定年退職になって給料が減ること。
- ・ ①自分が60才になった時、年金生活で、ある程度生活が成り立ってゆくのか。②親の介護について。
- ・ 動けなくなった時、施設が高額な為、入れないので心配しています。
- ・ 400万のローンがあり、今苦しい生活をしています。病気になったら、又、何か事故が起きたらと夜も考えると眠れない。どうかこれ以上何も起きなければいいがと毎日祈る思いで生活しています。誰も知らないところでローン返済の相談に乗って欲しい。誰にも話せない事でとても苦しい。
- ・ 年金が少ない為、大きな病気をした時の事を思うと、とても不安である（先々もらう年金額の知らせを見て）。
- ・ 介護保険を天引きされているが、我々が介護を受ける頃には、世知辛くなっているのでは？心配、認定が。
- ・ 自分は64才です。病気がちで年金は無いのと同じです。生活は苦しいし、この先どうしたらいいのやら悩みどうしです。
- ・ 老後（定年後）病気になり医療費が多額になるとき。
- ・ 子供達が自立して、私達夫婦だけになった時、うまくやっていけるのか？病気になった時、子供達の生活があり、頼れないのでは。子供達にお金をかけているので、あまり自分達のお金が残らないので不安である。
- ・ 寝たきりになった時のこと。

- ・ 1人暮らしを致しております。社会の事にも大変疎く、判断に困ることが度々です。一寸軽くご指導を頂ける人が欲しいです。どうぞよろしくお願い致します。
- ・ 老後の社会生活全般。年金支給年齢の延期。
- ・ 自分の老後のことで心配しています。
- ・ 老人が増え、若い人が減っているのので、私が年金をもらう頃には、年金が目減りしているのではないかと心配しています。子供の教育費や家の新築などでお金を使ってしまったので自分が老いた時にどうやって過ごしていけるのか心配。
- ・ 十年後、職がなくなった時どうするか
- ・ 介護が必要になってきているが、病院には長く入院しておれないが、在宅では家族の負担が多いし、老人の介護の必要な人の住むところがない。少ない。
- ・ 私は耳が聞こえないので、行動、生活は介護者（義妹）に頼む事です。（介護者一人は67才以上になった今、要求する、又、心配する思いは無心。難しいけど姉の思いを読み取りながら二人三脚で進まなければ仕方ないでしょう！私も61才自分の夢は何も出来ない。）
- ・ 生活資金のこと。
- ・ 退職後の生活。
- ・ 現在、介護保険料を支払っているが、自分が介護保険を使わなければならない状態になった時、納得いくような手続、介護が受けられるのか。
- ・ 子ども夫婦と別居していることが不安に思っている。子どもの将来の方針がはっきりしない。
- ・ 男性ばかりなので老後お世話になるのが心配、不安。
- ・ 老後の医療費
- ・ 年金がどれだけもらえるか。現在、子供が高校生ですが、大学へ行くのですが自分達の生活でいっばいでもいいのか等いっばいあります。知的障害の姉もいるし、不安だらけ。
- ・ 2～3年位前から「もの忘れ」があり、配偶者（高齢）で長男家族とも別居中で万一の場合、不安です。
- ・ 大きな病気になったら困るとか、年金がおりてくるのが退職してしばらくしてからなので、その間どうしようか、とか思っている。
- ・ 将来、高齢者になった時の年金、病気の医療費等、不安である。
- ・ 年金だけでは、生活が出来ないのではと思っています。
- ・ 子供が遠い所へ行ったら老後が心配。近所付き合い（組の葬式）を簡素化してほしい。
- ・ 今は老夫婦で野菜作りや屋敷回りの草とりをしています。出来なくなったら、子供達がするか心配。娘夫婦はフルタイムの仕事持ちで、畑や草とりもした事がない。
- ・ 道を歩くのに（自転車、うば車等）狭いので困ります。田んぼのあぜ、ブロックの傍に（セブタ）をしてもらおうと良いと思います。
- ・ もうすぐ定年になりますが、年金は60才からもらえず、年金も減らされてきている。田舎だから近所付き合いや義理も欠かせないし、表向きは、65才まで働けると言うが、実際はいる場所もない。体力的にも自信がなくなって来ているし。年老いた両親は二人とも病気で入院していて経済的にも、両親の年金ではとても足りない。かと言ってまだまだ子供が独立していないし、そんな事を考えると夜もなかなか眠れない。金持ち、公務員が優遇され一般庶民は働かざるを得ないなら死ねと言うことか？
- ・ 子供がいないから、先はどうなるのかしら。
- ・ 年金がもらえる年が遅くなる事。
- ・ 老後の生活費、年金。
- ・ 自分自身の定年まで10年以上あります。今の仕事を続けていく上で、体力や気力が持つだろうか。また公的年金が減額される中で、貯えはどのくらい必要だろうか、など。試算もしていませんが、漠然とした不安があります。
- ・ 年金がもらえるだろうか。60才過ぎてから仕事があるだろうか。子供の就職について。
- ・ 年金がもらえるかどうか？
- ・ 子供が近くにいてくれるかどうか。

- ・ 定年退職が間近で、年金生活でも家のローンが残っており、医者にも定期的に治療で罹っているので、生活に不安がある。
- ・ 後3年で定年。でもすぐには年金がもらえず、年金のもらえる迄、どうやって生活していけばいいのか。家のローンもあるし、不安である。
- ・ いなべ市になり、今迄より役所は遠くなり車に乗れない者にとって大変困る。もっと老後になれば自分で行かれないともっと困ることと思う。
- ・ 老後の不安。
- ・ 夫婦どちらかが介護が必要になったときが不安です。施設、病院には長く居られないとよく聞きます(お金の事もあるし)。そうなると若い者が仕事を辞める事になるのかと。近所づきあい(組の昔からの件)も簡素化と思っても、そう簡単には口に出せません。
- ・ 老後、自分の事は出来るだけ世話にならない様にと健康に気をつけています。
- ・ 夫婦2人なので、どちらかが怪我や病気で入院した時、1人での生活(昼間、夜間)を問わず、とても不安です。
- ・ 年金のこと。医療費が高くなったこと。収入・給料が少ないこと。
- ・ 病氣ばかりしている私は年金だけでは生活が成り立っていかないで困っています。
- ・ 田・畑の守り。
- ・ 目に病氣があるために、頭痛が毎日のようにあるので、健康になりたい。
- ・ 福祉の施設が少ないこと。福祉の施設に入所したくても条件が厳しすぎる。例えば、長男と同居していれば入所出来ない。介護保険は支払っている。
- ・ 医療費が高い事と、福祉がだんだん厳しくなり、不安です。
- ・ もしも老後、寝たきりになったら娘に面倒見てもらえるかと心配のような不安のような気持ちになる。
- ・ 介護保険制度が有っても将来不安である。医療費が高くなる等を考えると、これからどうなるか不安である。
- ・ 親子関係が、いつまでもうまくいけるかが不安である。年金による生活ができるのか。
- ・ 長い間、病んだり、不自由な体になった場合、家族に迷惑かけること。卑屈にならないように努力する。
- ・ 夫が亡くなって居なくなった為、今85才の祖母と一緒になのですが、元気は良いけど、畑の草取りなど、きれいにしすぎるので困る。後々、農作業はしたくないからです。人材シルバーさんなどに、お金を出してしてもらってる祖母の気持ちが、分からなくはないけれど、本人だけが納得しているので、面白くない。
- ・ 年を取って、借金が増え、いつまでに返済出来るかが分からない。返済額が多い為、貯金が出来ず、子供の進学、結婚等、先が見当がつかず、真っ闇である。
- ・ 自分が1人で周囲に世話にならない程度に生活できるかどうか。50才位になって。
- ・ 今、主人と80才のおじいさんと3人暮らし。将来不安です。
- ・ 現在の家を子供が継いでいってくれるか否か。家に戻る者がなくなった時、祖先に対して申し訳なく思う。
- ・ 夫の退職後、年金までに数年あり、生活が心配。
- ・ 今は不自由なことはないが、両親が亡くなった後のことなど考えると漠然とした不安に陥ることがなくはない。
- ・ 今現在は、主人は仕事をしていますが、年と共に仕事の方も余り出来なくなり収入が少なくなっています。やはり、お金の面が心配ですね。
- ・ 年金収入で生活出来るかどうか心配？
- ・ 息子が嫁さんをなかなかもらえなくて困っています。68才、70才夫婦です。
- ・ 病院が遠く、商店も遠く不安。
- ・ 去年、転んで骨折し手術をしたのですが、何とか歩けるようになりましたが、今後、年を取り病氣も悪化すれば、今の生活が保てなくなり、どうなるのか不安である。
- ・ 年金生活に入って一年、限られた収入の中での生活をしていますが、私が1人きりになった時、老後

の生活、又、家庭での1人の生活等を不安に思います。

- ・ 年金生活で収入少ない事。これから老いていくので困っています。税金が高いし医療費も高くなっていくし、これから大きな病気になった時には不安です。
- ・ 収入無いのに年金払って、将来年金もらえるのかな、ということ。
- ・ 税金がまだ上がろうとしている。いろんな“控除”が廃止されようとしている。
- ・ 年金で生活できるのか？
- ・ 息子36才、未婚。本人は結婚しないと言っているため、親が死亡した後の事が気がかりです。
- ・ 病気になった時。介護したり、されたりする事。収入。
- ・ 年金など。
- ・ 退職後、働きたいが働けるような会社はそうそうない。採用される保障がない。その上に、年金も、もらえるか不安だ。
- ・ 老後、年金で施設に入るところがない（施設の金額が高いため）。
- ・ 子供の障害により、兄弟に負担を掛けないようにしたいが、お金がいることなので働きたいが、働くのも無理なこと。主人が持病あり、自分も病気になったら子供（特に障害のある子）の世話がどうなるか不安。年金生活になった時に暮していけるか不安。
- ・ 将来、夫婦2人になりますが、高齢の為、ゴミ出しが遠いこと。病院、買物が遠いこと。
- ・ 老後に安定した生活が送れるか不安。
- ・ 老人入居施設（公立）を増やしてほしい。
- ・ とにかく先祖を守る事が大切です。
- ・ 年金が確実に頂ける保障がないので、老後の生活のことが心配。
- ・ 半身不随になる病気になっています。まだ70才になっていません。東員町では身体障害者になっている人が居ると聞きますが、どう言う事ですか。今無理が出来ません。息子1人で居ても無理です。施設を作ってほしいと思います。これからも安心して生活出来る様にして下さい。
- ・ 施設に入れている義母の毎月の支払い。いつまで続くのかと……。最近、夫が病気になり、手術、いつ倒れるかと思うと、この支払いもと考えてしまう。
- ・ 98才で旅立った兄を世話して、今の看護について一言。約10年間施設にお世話になりましたが、看護に一貫性がなく施設を3回転々としたが、看護受ける人の健康状態が十分に把握して頂けず3回目の施設へ転居して3ヶ月で死亡した。やはり人としての環境に住まわせることが大切である。今の看（介護）は、人は物なりの一面がある。
- ・ 市長が大安町出身で、福祉の事等すべてが大安町を拠点にしているので、他の町の者にとったら利用するにしても分からない。元気クラブ等いらなと思う。普通に誰でも気軽に利用出来る様にしてほしい。
- ・ 子供を大学に行かせられるか不安ですし、私が頑張って働きに出る時、両親の介護と直面したらどうしようとか、先行きを考えると不安です。
- ・ 医療費。介護。
- ・ 高額医療を支払わなければならない病気になった時、病気になって収入がなくなったらどうしたら良いのか、など。
- ・ 年金がもらえるのかどうか不安です。
- ・ 息子が結婚をして、子供が出来て、あと、ずっと家が続いていけるか。
- ・ 私の場合、年金をもらえるのが65才ですが、将来もっと年齢を上げられるかも？不安である（ちなみに私はS28年生れ）。
- ・ 年金の多い人、少ない人、引かれる介護料が同じでは、おかしいと思います。
- ・ 私は80才になり今は自分の事はしていますが、高齢者が多く病気になったら年金も少ないし、医療費も高くなり心配です。
- ・ 私は同市内（となり町）から嫁いだ者ですが、生活意識に20年のずれがあることに驚き、25年経った今も変わらない近所づきあいに、不安を感じます。今までは義父が、権力を持って仕切っていたので、主人も何も知らずに年を取り、夫婦共に外ではそれなりに慕われ頼られる存在になっていますが、

地元では青二才で、古い考えについていくのが、ストレスになっています。月日が経つ程ギャップが大きくなり、定年を迎えた後、この地域で生活していかなければならない事が、苦痛でたまりません。

- ・ 今後、年金が減るので、老後が心配です。
- ・ 妻が私(夫)より長生きして欲しいと願っています。
- ・ 仕事が減ってきている為、将来に不安を感じる。
- ・ 商売の収入の変動に、先行きが不安である。
- ・ 今は2人ですが、もし1人になった場合、病気が進んだ場合が一番心配しています。出来れば、ベル等を押して病院とかへ知らせる方法を取って戴ければ安心ですが（老人ですから）。
- ・ 経済的に余裕がないので、病気になったりしたら、どうなるのか不安です。
- ・ 老後が心配。
- ・ 夫婦、老齢で重病になれば病院、又は施設と云う事も考えるが、腰が痛い、手足がシビレルとか、老齢の病に、通院にも老夫婦2人では、日夜不安な日が続く事も考えられる。子供は都会に出て、勤めも在り、毎日に来てくれない。不安と心配事です。
- ・ 介護保険金が高すぎる。
- ・ 途中退職したため、年金を受給するまでの生活費。
- ・ 年金をかけていますが、自分が収入がなくなった時に、いくら年金がもらえるか。
- ・ 子供が居ないので、動けなくなったら、どこでお世話になるか。
- ・ 年金が頼みの綱とっていて掛け続けていたのに、この先どうなるのか不安に思っています。
- ・ 年金で生活して行けるのか（今、働いて税金を払っているのに老後には年金をもらえないのではないか）。
- ・ 何時まで、この健康な体が続いてくれるのか。
- ・ 年金の支給額。
- ・ 定年後、地域の人と楽しく、仲良く出来れば良いと思います。
- ・ 2人が元気な間は良いが、1人残り健康を損なった時が不安です。
- ・ せっかくもらった年金を減らさないでほしい。生活がやりにくい。
- ・ 今の収入では老後暮していくには困難。家族に負担を掛けたくないが、施設に入る余裕もない。長生きすればするだけ苦が多いと思うと不安が募る。
- ・ 自分達の老後について、年金がきちんと支払われるのか、とても心配です。
- ・ 今後の社会と年金が心配。
- ・ 1人暮らしになって（先年家内死去）永年近所に住んでいる特に女性から卑猥な目と言動に暫々困却し、時として暴力をふるいたくさえます。当節最も悲しい。人間味のない人が増えました。生きたく真面目に生活しているのに、これでは例えば救急要したい折、どうなるのか不安です。
- ・ 収入が少ないのに、健康保険料、介護保険料、地方税が昨年より割高となっている。これはどうしたことか、広報などで判りやすく説明してほしい。
- ・ 親の世話をするために、ここに居なきゃいけないのかどうか。
- ・ 年取ってから、ちゃんと年金がもらえるか？
- ・ 年金問題・家族の健康。
- ・ 老後体の自由がきかなくなった場合、施設に入りたいが快適に暮せる場所があるかどうか？
- ・ 年金についてですが私達国民年金です。年金を受けられる年齢が引き上げられる事が心配です。一応60才から受けられるのですが。
- ・ 年金が少ないのでお金がなくて困ります。
- ・ 年金が減るのに対して税金が上がると働けない様になったら生活が苦しくなります。子供に頼れない今の時代に不安を感じます。
- ・ 貯金が出来ないので将来何も出来ないという不安感がある。
- ・ 手術した時に医療費が多くなった時困る。自分で支払うことが出来れば良いが難しいと思います。
- ・ 将来年金で生活出来るか不安である。
- ・ これは私事だけでないと存じますが、病気などで動けなくなった時や費用です。

- ・ 定年後の生活。子供の進学。
- ・ 国民年金の為、年老いてからの収入に不安です。
- ・ 年金がもらえるか不安です。
- ・ 今は健康ですが、今後体が弱った時にどうなるか。時々考える時がある。
- ・ 年金問題をうやむやにしている政治。政治家や公務員の待遇。
- ・ 子供達はそれぞれの家庭があり、我々主人と2人の生活。迷惑掛けずに出来るだけ健康に過ごすよう心がけています。
- ・ 自分がどの様に老い、どの様な死を迎えるのか気になる。
- ・ 老後で障害が起きた時の施設が少なく、順番待ちという所。
- ・ 国民年金の場合、年金内では食べるだけのため、子供に世話にならなければならないので。
- ・ 収入が少なく、貯金が全く出来ず、将来、子供達の進学や教育費が出せるのか、とても不安。
- ・ 老後の心配は、やはり病気を患わなければ良いとか、人の世話になる事なく、元気で最期迄とか、不安は限が有りません。でも1日1日を明るく、楽しくをモットーに気楽に過ごしたいものです。
- ・ 働けなくなった後の事が不安です（生活費など）。
- ・ 年金は本当にもらえるのか。変化があるのと違うか。
- ・ 自分が要介護になった時、入所の施設があるか？又、費用の事等不安に思う。
- ・ 夫が退職した後の収入について。子供達の進路や誰かが家に残ってくれるか。
- ・ 今後、お金のない者は、介護が必要になった場合どうなるのか。
- ・ 病院に、すぐには入院できないこと。介護をすると、生活が途端に行き詰まって食べれなくなること。
- ・ 年金がもらえるか不安。
- ・ 将来生活していく上で現在の収入で年金が65才以上で受ける金額も少なければ生きていく上でしっかり厳しい生活状況になる様に考えると心配です。
- ・ 年金があてになる様になればと思う。本当に老後が心配。
- ・ 現在、子供の嫁に世話になっています。子供（長男）は他界していて嫁1人にすべて掛かっています。近くに娘達もおりますが、ほとんどは嫁にたよりきっています。嫁が倒れたら、うちはダメになってしまいます。だから最近、週に4回デイサービスをうける事にした。昼間は、嫁は仕事。食事の準備等世話になっている。
- ・ お金（年金等）。
- ・ 年金や医療の保障が果たして、今後良くなっていくのだろうか。また、時勢が変化するに伴い、家庭内で解決できないことが多く浮上し世間を騒がせている。社会全体が、人ごとと捉えるのではなく考えていかななくてはならないと感じる。
- ・ 老後の健康を害したとき、きめ細かな介護が受けられるか？又、それを受けるための年金がもらえ生活出来てゆけるかどうか。
- ・ 貯えがないこと。
- ・ 自治会の中でも後継者がいなくて過疎化している。
- ・ ここ数年で団塊の世代が、定年退職を向えることから、時間の有効利用の対策として、休耕田などを退職者に貸し出してはどうでしょうか？多度町御衣野地内のように安価に貸し出せば借り手は多いと思います。
- ・ 心から何でも話せる友達がほしい。お金を使わずにのんびり出来る場所がほしい。
- ・ 自分達の兄弟、姉妹の生活状態が良くない事。
- ・ 私（女、満62才）は、慢性腎不全で週3回、透析治療に通院しております。直ぐに近付いてくる老後、そして介護が必要になったら毎月が不安です。貯えも無く、どのような施設に入れるのか等々、費用の面も含めて悩みは尽きません。透析治療は生涯続くので、介護と治療が両立している施設へ年金だけの生活者でも入れる『いなべ市』になるよう望みます。
- ・ 年金。
- ・ 後継者の無いこと。
- ・ 老後、年金はどれ位もらえるのか。年金だけで生活できるのか、不安です。

- ・ 年金の減少。
- ・ 年金が少なくなってゆく今、今後のことが心配。
- ・ 1人暮らしで病気になると困ります。連絡が取れない。
- ・ 諸控除がなくなり、税金、医療費等が高くなり（特に老人に対して）行く末が大変心配である。
- ・ 高齢者の二人暮らしの今後。
- ・ 85才の老夫の介護を福祉サービスの援助を受けながら在宅介護を続けているが将来自分が病んだ時どうなるかと不安に思う。又、村の清掃、草刈り行事が年に4回程あるが、いつまで出なければならぬのかと心配事の1つです（老人2人世帯）。
- ・ 当節の厳しい農業行政に直面して、現在、自作農業、田、約1町、畑、約4反（主に茶畑）で有るが、現今の非採算面には、ほとんど嫌気が差して来て将来を考えると希望も夢も無く、唯々「五里霧中」の感がする。一掃の事、廃棄業を考えたく成る。更には、有害獣の年々の増加で尚一層農地の荒廃が目立ち、この為、雑草、竹、笹の侵入には全く農業に対する嫌気が倍加する。遠い将来日本には祖先が営々として築いてくれた貴重な農地が無くなり、元の原野に戻る感がする。
- ・ 考えればきりがないので考えない事にしている。
- ・ 年金者にも健康保険料、介護保険がどんどん高くなっていくこと。
- ・ 年金問題。税金もたくさん払っているのに、年老いた頃に安心して生活が送れるのだろうか。次世代の人の事も心配。
- ・ 今後、入院生活をするようになれば、子供は皆遠方なので色々と先行きが不安になります。
- ・ 交通の便が悪いので高齢になり車が運転出来ないのでは病院へ行くのが大変不便を感じています。現在タクシーを使っていますが交通費が掛かるので不安です。
- ・ 国民年金が、老後きちんともらえるのかどうか。
- ・ 社会保障費が高すぎる。過度なサービスを見直して節約に心がけてほしい。ある程度自己責任で暮すようPRした方がよい（高齢者宅に使わない大人用の紙オムツが山のように積んである）。
- ・ 今の高齢者の方のほうが、元気でいつまでも長生きして、私達中間の年齢（30才後半～40才後半）の人の方が先に死んでいくのではないかな？
- ・ 今後増増、年金の支給が遅くなり、自分達がもらえる段階では、どの様になって行くのかと心細くなります。
- ・ 長男40才になり嫁がないので不安、心配している。老人の福祉、介護が必要と思いますが女性との出会いの場を作る催しをして下さい。それでカップルが出来れば子供も生まれて来るのではと思います。
- ・ 後の事は分からないが、入院すればお金が必要。それが不安です。
- ・ 生活全体に無駄、贅沢が多い。もう少し物を大切に、節約の習慣をつけたい。
- ・ 夫に死別し、子供は2人いるのですが、これからの健康の事や、病気になった時、介護してくれそうにない。施設に入居したいが、待ちが多いのでは、と心配です。
- ・ 子供にお金が掛かり、老後の為の預金等とても出来ず、将来が心配です。
- ・ 高齢者の介護施設を増やしてほしい。（負担金を気にせずに利用できれば良いのですが）
- ・ 年金は将来きちんともらえるか？
- ・ 悩みというと、自分自身が寝たきりになると、家族の者が大変になる。では、施設へと言っても、入所できる所がないのでは？金銭面でも、年金のみで入所できるか？家族に負担が掛からないか？など。
- ・ 年金生活です。収入が少ないので老後が非常に不安です。
- ・ 年金が支給される年が延びていく事。
- ・ 年金の事とか福祉施設の事。
- ・ 少子化による老後の年金確保に対する不安。
- ・ 子供と別なので老後不安。病気になった場合不安です。
- ・ この辺は物騒で怖い。物は無くなるし、隣の人なんだけれども大きい声でおかしな事を言ってくる。何されるか分からない。

- ・ 年金。
- ・ 年金はもらえるのか。
- ・ 税金や医療費が高くなるし、私達の負担が増えるし、公務員の方々は楽しんでいるようやし、どないなってるんでしょうか！
- ・ 自分が病気になったことについて。
- ・ 家族兄弟が病気もしなく元気で人生を終わりたい。
- ・ 年老いてから病気になった時、やはり子供達が近くに居て欲しい。やはり不安である。
- ・ 年金が少なくなっていく中で、近くに買物をする場所も無くなり、車の運転もうるさくなり、毎日が不安である。高齢者にとって住みにくくなっているのが最近特に分かる。
- ・ 市県民税が高すぎる。固定資産税が本年度上昇しているが、路線価、公示価、基準地価は下がっている。税務課の説明では他地区とのバランス調整というが納得いかない。いなべ市は自助努力せず、住民に負担を押し付けている。
- ・ 面倒見てもらおう人が居ないこと。
- ・ 将来、年金はどうなるのか？？
- ・ 生活習慣病などを患って、長く健康を保てなくなるのがないよう体を大切にしたいと願っております。
- ・ 身体が不自由になった時、施設に入らなければならないと思うが、程度にもよるがいくら位要りますか。年金でまかなえるかが心配です。
- ・ 年金が少ない。
- ・ 税金だけ払うだけ払って、私達の老後の時は、年金が出ないとよく耳にします。今の人達は多少出るかもしれないですが、何か損をしている感じがする。
- ・ 代々農業（家）です。しかし、今は稲作は（3672㎡）貸地としてお願いしておりますが、結果、米は親戚の甥より買っている状態です。代々の農地を今後どのようにしていけば良いのか。農業政策と併せ、食料問題について不安をもっています。
- ・ 今は三世帯世帯で住んでおり、食費、光熱費、家の保険等分けあって生活が成り立っています。自分達が主となった時、すべてを自分達で支払っていけるのか不安。でも家を建てたい夢も有。そうなるローンも心配。
- ・ 年金が少ないので老後の事が心配です（国民年金）。国民年金なので医者に雇われません。
- ・ 母96才、私が78才、息子（養子）。母と私が後先にならないように願っています。息子には迷惑を掛けたくない。
- ・ 退職してから1日の流れをどのようにしていったらよいか少し不安ですが、充実できるように、趣味など持って過ごしたいと思います。健康で過ごせるように身体に気を付けたい。
- ・ 年金をもらう年齢がだんだん高くなり、金額も少なくなり生活できるか心配。
- ・ 年金開始年齢が遅くなってしまい、又、支給額が減ることにより、高齢になっても働かなくてはならないこと。
- ・ 年金が少なくなって医療が高くなって老後の生活の出来ない人が多くなると思うので、何とかならないの？
- ・ 子供が家に残る可能性は低い。年寄りが多くなるのではないか。
- ・ 老後、病んだ時の医療費、介護について。
- ・ 年金生活をしてはいますが（2人夫婦共）、収入は減額され介護保険は高く引かれている様に思う。生活費は将来の為切り詰めている。
- ・ 高齢に付き（89才）寝たきり老人にならない様に、なるべく自分の事は自分でやる様にしている。
- ・ 年金生活の中で医療費、税金が高く、病気になっても支払いに苦痛、細々生活に不安。市になってからの水道料、下水料が今までの何倍も高くなった。すべてにお金が掛かりすぎる様になった。今後の生活費？不安。
- ・ 働けなくなった時、年金だけで生活が成り立っていけるのか、暮せるのか心配です。
- ・ 尊厳死について→もう少し一般的になったらと思う。介護度について→安易につけられているのでは

ないかと思う。

- ・ 10月より医療費の負担が僅かな所で3割になり、毎月1度病院に通って居りますが、もし長期入院になった時はとても不安です。
- ・ 年金の目減り。
- ・ 住みにくい。変質者など現れると孫が心配。もっとパトロールが必要。
- ・ 適正な年金が受け取れるかどうかが不安材料。
- ・ 国の借金が増え続けている現状を思うと、将来の社会保障制度や年金の減額が予想され不安に思われる。又、自治体の格差が生じて来ることが予想されることから経営感覚を持ち、無駄な歳出を今から削ることが大事。
- ・ 私が病人、息子は理解が無く、今後近所付き合いに不安（離婚した息子）。
- ・ 年金がどんどん少なくなり、終いには全くもらえなくなるのでは、と心配です。若い世代が少なくなるので。
- ・ 年金問題。
- ・ 自分が年金をもらえる年になった時の、年金の受け取り額が少なくなること。
- ・ 若い人々の負担になりたくないが、国民年金で生活するのが不安である。
- ・ 妻が行方不明。その事だけが不安。
- ・ 息子が独身で精神的に不安定な状態が続いていますので、自分自身も高齢の為、先々の事がとても不安になります。
- ・ 独り暮らしをしているが、老後迷惑を掛けなくて死んで行きたい。尊厳死を望んでいる。末期状態になったら楽に往生出来る葉があればと思っている。
- ・ 自分が病気になって長びいた場合に、年金では足りないので心配です。
- ・ 主人が病気なので、いずれ1人になった時や病気など、又は認知症になったらと思うと不安になる。
- ・ 身体が不自由になったり認知症になった時に、設備、環境の整った施設が周りにないこと。
- ・ 実家の跡継ぎが居ないので、先祖供養が不安になります。
- ・ 年金額は上らず、介護保険の特別徴収額が増え、これから先が心配である。
- ・ 収入が無くなり、年金だけで生活して行けるのでしょうか。それと病気になった時の事が不安に思います。
- ・ 一人娘が結婚して出て行ってしまっって、女房はガンの病に侵されている事。
- ・ 子供が将来、この田舎で一緒に生活する可能性が低いと思うので、老後が不安。
- ・ 子どもが結婚をし、家族を持ち、地域の中で幸せに生活していけるといいと願っている。
- ・ 将来家族の世話にならなくてもよい施設が市内に多く出来ることを求む（費用少なくて入所出来るよう）。
- ・ 年金をもらう年になった時、現在掛金している分に対して十分な金額を受けられるか不安。
- ・ 1人暮らしなので息子が心配してくれて「帰って来る」と言うが、就職先が不安らしく悩んでいる。田舎は義理が有り、出席しなくてはならないし、組親は現在断っているが肩身が狭い。もう息子も大きいし、そろそろ良いのではと言われて悩んでいる。
- ・ 老後、病気になり動けなくなった時。退職後の年金生活。
- ・ 今は年金をもらっていないけれど、年金をもらうようになると減額しないかと心配する。
- ・ 現在、老人施設には余裕がないと聞いている。1人になった時、いつでも入れるように増やしてほしい。どのような終末を迎えるか考えると不安。
- ・ 年金と老後の物価について。
- ・ 高齢者になって、グループで生活できる施設があると良い。
- ・ 現在は幸せです。
- ・ 将来、年金が、どの年齢で支給され、どの位の金額がもらえるのか。その時の物価が、どの位で、年金で生活できるのか。
- ・ 高齢者（84才）です。現在は健康ですが、必ず介護が必要になると思います。その時、即、介護施設に入所させて頂ける様に御願致します。

- ・ 将来、生活していけるのか。
- ・ 年金はどうなるのか？
- ・ 子どもの結婚。
- ・ 将来について。収入もなくなり、年金も少なく生計をどうするか心配です。
- ・ 年金生活に入るとまかない切れず“生きる”だけが精一杯で、楽しみも自由も無くなる。その後、介護される側に突入するとどうなるのか？これまた不安。
- ・ 健康で生きられること。
- ・ 介護が必要になった時。その施設。
- ・ 年金だけでは生活が出来なく、パート収入により生計している。
- ・ 3年前に大病したので、自分の健康に不安を持っている。
- ・ 日本人各自が外国人に負けない肉体労働をしなければ、いつかフランス国の様に外国人が入り乱れ、困る日が来るのでは。体力づくりと働く喜び、森林を植える（政府の力）、空気をきれいにする。輸入に頼らず国内生産を見直す様心がけが大切かと思えます。
- ・ 退職金、年金が、ちゃんともらえるか？
- ・ 大型量販店の進出により、小売店や自営業の方が営んでいるお店が無くなっていくことにより、不便な生活が強いられるのではないか。
- ・ 地域コミュニティの力が希薄になってきており、1人1人が、自分の家族のことしか振り返らなくなってきていることに悩んでいる。
- ・ 自分は結婚できるのか。今、思っている夢は実現するのか。
- ・ 子供が遠くに行って居るので老後が不安。
- ・ 病気になったり、動けなくなったりした時、見てくれる子供が近くにいないため心配。
- ・ 医療費について、いくら70才以上は安いと言っても、やはり年とともに回数も増して来ますと年金生活の中からのやり繰りでは生活が苦しくなると思うと心配します。
- ・ 子供がなく、私に兄弟もないので、主人や私が病気になった時の介護、またどちらか亡くなった後、残された方が独居老人になった時の暮らしなどに不安を感じます。
- ・ うちの、畑、田んぼがありますが、私は農作業の経験も無く、また、引き継ぐ意志もありません。しかし両親は手伝ってほしいようなので、将来どうすればいいのだろうと思います。
- ・ 子供が県外へ出ており、自分達が高齢になり、体力的に不安になったときにどうするか。
- ・ 先ず、経済的なこと。年金暮らしには限界があります。2番目に自分は障害のある身なので、将来健康が心配です。
- ・ 税金が高くなって行って、年金が少なくなっていく。生活できるのだろうか、と思う時がある。
- ・ 将来、私達が年金をもらう年になった時に、ちゃんともらえるのか？
- ・ 今の仕事が長く続けられるか心配あり。もし辞めた場合、次の仕事が見つかるか不安。老後、年金がもらえるのか不安。
- ・ 現在は2人共、お蔭様で健康で暮らしておりますが、近い将来にどちらかが病気などになったらなあの思いがあります。(子供達も心配してくれてはいると思いますが)
- ・ 年金を払うだけ払ってその分自分ももらえるとは、とても思えない。もらえる見込みがないなら払いたくない！もっと公平なやり方を政治家は考えるべきだ。税金についても同様、高すぎる！
- ・ 自分の身内や家族は他県なので、年を取っていくことに不安を感じます。うつ状態になっています。主人との会話は、まるで無し。
- ・ 子供、孫との同居であり、今の所は不安に思った事はない。
- ・ 将来、結婚相手が見つかるか。
- ・ 生活するのに一杯一杯で、将来の為にお金を貯めることができないこと。
- ・ 年金。介護。
- ・ 母子家庭なので、年金など子供が大きくなるにつれて少なくなっているから、今後心配です。家族の健康も心配です。
- ・ 後継について。自分の思う様にならない。

- ・ 子供の将来の生活に関して。
- ・ 会社を定年になった後の生活の事（経済的な事）。
- ・ 主人と老後の接し方。
- ・ 老人会を無くして欲しい。
- ・ 特に今は不安と云う思いはあまりありません。
- ・ 病気になった時のこと。
- ・ 年金だけの生活で大丈夫か。年金のもらえる年がどんどん上っていき、本当にもらえるのか。
- ・ いなべ市が見てくれると思っているので安心です。期待しています。
- ・ 空気が汚れ、水が汚くなると困る。
- ・ 入院後の介護、医療費の問題。
- ・ 高齢で、家族と離れて暮らしている。病気の時、介護してもらうので、心配している。
- ・ 年金の金額が今に比べて、少なくなる事。
- ・ 老後、年金は、今現在受け取っている老人位、もらえるのかと不安（なくなるのか?）。
- ・ 年金。
- ・ 自分の病気
- ・ 年金は少なく税金は上って行く。医療費も高い。子供に負担は掛けられないので、将来は不安です。
- ・ 家業に対して、全てが不安。ここに書くことではないが、不安、不満で悩んでいる。
- ・ 自営業の手伝いをしているが、経営が行き詰まったりしたらと思います。
- ・ 親子関係。
- ・ 社会の基盤となる家（家庭）は、先祖、親に感謝する気持ち（長幼の序）が根底になければならないと思うが、日増しにそうした感覚は薄れて行くように思えてならない。
- ・ 昨年より、小学校、及び中学校の校庭を借用するのに、借用料が必要になったため、利用することが皆無となった。高齢者が利用するグラウンドゴルフ、その他について校庭使用をしなくなったので、遠方まで出掛けることになり、運動することを止むなく止めることになった。
- ・ 定年後の収入や年金のことで不安である。
- ・ 老後、体が思う様にならなくなった場合の事が、心の悩みです。
- ・ 生活するだけで精一杯で貯金が出来ず、この先、家を建てる、病気した時等、不安で悩んでいる。
- ・ 同居する家族もなく、動けなくなったら施設等で御世話になる事と思いますが、容易に入所が出来るでしょうか。その事が一番心配です。
- ・ 年金はこの先、何才から支給に変わっていくか不安です。現在65才、先は70才？
- ・ 医療費が高い事。
- ・ 平成13年に三重大学病院にて妻の病気がパーキンソン症候群と診断され、毎年少しずつ病状が悪化して行きます。今後自分と共に1日違いで、あの世へ行けたらと思っております。
- ・ 年金だけの生活に不安。
- ・ 高齢になった時、家族が居なくても安心して（高額でなく）住める地域であってほしい。そういう施設を大きく作り、そこで住民も働けるような、何才になって、こういう状態（基準を作る）になれば、家族の有無に関わらず入れる。勿論、家族の誰かがその場所で働ける、そんな所を望む。
- ・ 子供が2人嫁に行ったので、老後のことが不安である。
- ・ 自営業をしていたので、高齢になり、国民年金では病気になった時、不安になる。
- ・ 長生きして痴呆、体不自由になった時、子に面倒を掛けず、介護施設に入りたいと思う。北勢地方のそういう施設を知りたいと思う。
- ・ 家族で話し合いがない。若い人は話を聞かない。喜びの心が無い。
- ・ 娘が離婚したので、子供2人（小学4年、中学2年）の事が心配です。
- ・ 税金面などを優遇して企業誘致に力を注いで欲しい。北部では冬場、雪が多く困るので道路設備、除雪などをもっとして欲しい。
- ・ 介護施設が少ないので、市の文化施設を改造して老人介護に安い料金で使用できる事を考えて下さい。
- ・ 年金は掛けていれば、いつ頃もらえますか。

- ・ 結婚していない息子（44才）のこと。私の病気、アルツハイマー病のこと。
- ・ 医療費が高くて、手術等で多額の費用の立替の件。
- ・ 年金が今より大きく下がらないか？医療費の出費が高くないか？
- ・ 預金が少ないので、老後、生活できるかどうか、最近少しずつ気にしています。
- ・ 親等が要介護状態になった場合の金銭面と家族の介護の負担。
- ・ 医療費が高くなり、年金が少なくなる。老後の病気になった時、心配。
- ・ 税金、年金、その他の無駄遣いが行なわれ、何も解決しないままで原資金が無くなり、庶民の負担が大きくなるばかりで支払っているのがアホらしい。
- ・ 長く病気でいない様に悩んでいる。出来るだけ早く死にたい。
- ・ 子供が外へ出ているので、老後が心配。現状維持。
- ・ 年金のことについて不安である。
- ・ 自分の結婚。
- ・ もしも、自分が誰にも連絡できない時。
- ・ 公的年金は、今後間違いなく維持されるかどうか？
- ・ 自分に介護が必要になった時。
- ・ 寝こんだり、認知症で入所した場合、生きられる年数が分からないので、所持金で足りるのか、足りないかが心配である。
- ・ 高額な介護保険料を払っているのに将来が心配。
- ・ 少子化による年金制度の行先。将来まで安定した収入と生活確保。
- ・ 不動産を少し、父が亡くなり受け継いでいるが、税金が高く、田んぼも少しあるが、作り手が無く、営農組合に頼んでも手間がいると言って、昔と反対で、小作と地主、税金と、年末には田んぼの水のことまで集金に来て、あべこべ。作ってもらっている人が支払ってもらわなければ困ります。もっと土地を活用する良い方法はないのでしょうか？原油は高くなるし、医療費は上る。福祉バスは空っぽ。
- ・ 老後に多少の不安があるが、今のところ大きな悩みは無い。
- ・ 高齢の親（姑）と障害のある子供を持っているので、家族の将来や自分の老後、自分の亡き後の子供のことなど悩みは多いです。
- ・ 病院は3ヶ月以上は駄目。退院後の施設が近くにないので不安。
- ・ 配偶者の貯蓄が下手な事。
- ・ 1人になった時、動けなくなったら。その時が不安になります。
- ・ 知的障害を持つ子がいるので、自分が年を取った時、その子をどうしたらよいか。ちゃんと生きていけるかどうか、すごく不安です。
- ・ 自分の将来で年金がもらえるのが不安。（高齢化社会になってくるから）
- ・ 厚生年金を掛けていないので、生活出来るかが不安。また、高齢化社会のため、介護が必要になった場合、受け入れ先が見つかるか不安。
- ・ 年金の受給が、本当にあるのか不安。
- ・ とにかく今の市町村合併後、方向性が分からない。良くも悪くも明白を望む。
- ・ 家が古い事。リフォームや新築の事。
- ・ 体調不良。
- ・ 年金が少なくなり、老後に不安があり、元気で仕事が70才ぐらいまで出来るといいと思っています。
- ・ 現在は健康で暮らしているが、1人息子が県外で生計を立てており、自分が寝たきりや病気になったりした時、面倒をみってくれる家族が居ない。田舎であるので地区の付き合い（行事や村役等）、又、義理事等に出る事が不可能になる。また、家屋敷や田畑の維持管理をどの様にしていくか不安である。
- ・ 子供が遠くで所帯を持っていて、帰れる予定は定年後で、老後が不安。
- ・ 年金の多い人と少ない人の差をなくして欲しいです。出来れば多い方へまぜて欲しい
- ・ 悩んでも仕方がないとは思いますが、年金生活が目の前で、老後の生活はやっぱり不安です。
- ・ 生活できるかどうか。
- ・ 年金は将来的に返ってくるんですか。

- ・ 息子が同居してくれない場合、1人暮らしになった時や、配偶者が病気になり介護が必要となった時。
- ・ 今はまだ働いて収入を得ていますが、年金のみになったら、と思うと不安です。
- ・ 老後、生活できるか。
- ・ 国民年金では入院も出来ない。
- ・ 日ごとに皆が老いていくのが不安。自分だけはまだ、なんて有り得ないから。
- ・ 自分の病気で老後が心配です。
- ・ 私は現在25才ですが、このまま高齢化社会や少子化が進み、自分が高齢者になった時に住み良いなべ市であるかどうか心配です。
- ・ 年金が入るかどうかが不安。会社もヤバイので。
- ・ 息子夫婦が、いなべの方へ帰ってくるのだろうか、と心配しています。嫁さんが都会の子なので。
- ・ 食事や運動をして健康でいきたい。
- ・ 在宅では介護が行き届かない現状な今、自分の70代、80代が心配。我が子には、今のような介護をさせたくない。我が家は家を留守に出来ず、家族全員で旅行に出掛けた事はありません。又、周りの協力を得られず、施設に預ける事も出来ません。長男（嫁）は介護して当たり前と言われ、それに反論できません。
- ・ 年金がもらえる金額が減り、それだけでは生活できないだろうから、たくさん貯金が必要なのに、それさえ出来ないこと。
- ・ 介護疲れ（家族）。
- ・ 一歩踏み出すかどうか。
- ・ 年金。結婚。
- ・ 年金はもらえるのだろうか。（現在40代女性）
- ・ 税金が高くなるのか。
- ・ 手近な場所に有料（少しでも安い方が良いが）でよいから、老人ホームの様な施設が1つでも増えたら良いと思う。遠い所にはいくつかあるようですが、近くにあったらと思う。
- ・ 家を守っていく事。仕事と家業のバランス。
- ・ 自分の体が動かなくなって、寝たきり、又は、病気で長期入院することになった場合、周りに迷惑や負担掛けないか不安。
- ・ 私は今80才の老女です。子供、孫については何も考える事はありませんが、この先どんな苦しみか待ち受けているか等ともったいない思いに駆られます。
- ・ 国民年金のため、老後に病気の時に不安。
- ・ 年金、介護保険料等、毎月きちんと支払っているが、必ず生活に必要な額がもらえるのか。
- ・ 年金が少しなので、生活出来るか心配。
- ・ 現在、定年後仕事をしているが、今後、年金で生活出来るか不安がある。
- ・ 主人の姉を介護（現在は施設）しているが、姉は無年金のため、費用を全額負担せねばならず、主人の年金生活で、子供がいないから自分の老後のことを考えると不安でなりません。姉を1人暮らしの手続をして、生活保護にすればとの人の意見もあるが、今のところ主人の扶養家族にしてあるが、それが1番の悩みです。
- ・ 子供の結婚。
- ・ そんな先の事はわからへん。
- ・ 老後の年金があまりもらえないので不安はあります（生活がどうなるのかとか）。
- ・ 老人（特に高齢者）に対する福祉の姿勢が財政の都合で大改革された事、改悪された事、自立を薦める方針は理解出来るが、実際高齢者になると、甘えているのではなく出来ないのです。昔の「姥捨て山」が平成になり復活して残念至極です。
- ・ 年金がどれだけもらえるか？貯蓄がどれだけ必要かです。
- ・ 定年延長というものの、後17年働いて年金がもらえるか。不安であり、公的年金など全く当てに出来ない。役人が増えすぎた。
- ・ 長男が遠方で勤務しており、自分達夫婦のどちらかが病気、死亡した時に1人暮らしとなり、寂しく

なる。

- ・ 医療費、税金、物価が高いので、将来心配している。
- ・ 老齢により、車が使用出来なくなること。
- ・ 老後の生活と生き甲斐の見つけ方。
- ・ 良い仕事に就けず、将来が不安。
- ・ 自分の親は、週4回のデイサービスに助けて頂きながら在宅介護で世話をしました（介護4、去年5月死去）。私達が高齢になった時、今のようなサービスが受けられるか、施設が整っているのか不安になります。主人63才、私59才。
- ・ 住宅ローンと子育て（3人）で預金も少なく、年金はどんどん減ってゆくのに介護保険はどんどん増えます。老夫婦で2人共大きな持病があり、病院通いです。70才になれば、1割負担と思っていたのに（医療費）、そうはゆかないみたいで、入院を余儀なくしなければならない病状で、とても不安です。
- ・ 年金が少ない為、老後が心配。病気がちの為、医療費も高いので困る。
- ・ 子供に頼ることも出来ず、年金だけで生活していけるのか？老後とても不安です。仕事も以前のように儲かりません。苦しいです。
- ・ 家族の話合いが少ない。
- ・ 将来（老後）心の支えを何に求めるか、生きがいを見つけられるか不安。
- ・ 義父87才、義母85才（寝たきり）、夫69才（病氣療養中）。自分の少しのアルバイト代で、これからの生活がどのようになるのか心配です。
- ・ 今は夫婦68才、67才で何とか元気に生活をしております。長男が障害、又、病気もあり、病院でお世話になっております。私達、親の方が先に逝った時の事を心配します。次男、三男もおりますので、しっかりとその事を頼んで良い関係を作っていかなければと思っています。
- ・ 自分が病気になった時。
- ・ 少子化の時代に入り、其の上、結婚は本人の自由意志に基づくという事で、後継者の件で不安を感じる。
- ・ 寝たきりになった時が心配。周りの者に迷惑を掛けたくないから、ころっと死にたい。
- ・ 家業に後継者がいないことはないけれど、進んでやる事がないと思う。
- ・ 治安が田舎であっても悪くなっているのではないかと思う。
- ・ 年金がきちんともらえるかどうか。
- ・ 年金が何才からもらえるか。
- ・ 税金、社会保険料の増額により、手取りの給与が全く増えない。
- ・ 最近の年金が減り、介護（保）及び税金が増えて、今後の生活が不安である。
- ・ 税金や介護保険金など高くなった事で年と共に先が思いやられる。
- ・ 年金受給額で不安である。
- ・ 医療費、年金問題で老後の生活が不安。
- ・ 年金問題。
- ・ 主人と2人で生活していますが、もし自分が病気になったら私はどうなるのかなと心配です。主人は何もしてくれないので。
- ・ 仕事を辞めた後の収入のこと。
- ・ 勤めているため、近所付き合いがなく、地域に知り合いが少ない為、仕事を辞めてからの不安がある。
- ・ 年金はもらえるのでしょうか？
- ・ 無し。子供たちがしっかりしているので心配しない。
- ・ 60才後半の稲作農家。最近は年々収益が上らず、遣り甲斐がなくなってしまう。これでは後継者が育たない。
- ・ 私は重度障害者です。親が高齢なので介護してもらえなくなる日が迫っています。兄弟も居ないので、5年以内にいなべ市に入所施設が出来ることを切望します。安心して毎日を送りたいです。
- ・ 寝たきりの姑を在宅で2年間介護。又、認知症の実母が骨折で寝たきりになり、1年近く入院。自分

の老後は家族に迷惑を掛けたくないとの思いが強い。その為の施設が充実してほしいと願っています。

- ・ 現在、老夫婦2人で生活していますが、息子夫婦孫達は遠くに居ります。もしも長期間の入院とか不幸でも出来た場合の心配があります。
- ・ 今は2世帯仲良く暮らしていますが、寝込んでしまった時が心配です。
- ・ 国民年金少額、老後が心配。
- ・ 親の面倒を見た後、自身の老後は誰に見てもらえるのか。
- ・ 糖尿病で、死ぬまで注射治療を受けなければならない。
- ・ 今現在は2人とも元気で居りますので、不安や悩みはありません。
- ・ 病気や怪我をした時、介護してくれる人がいない。
- ・ 田、畑、山林があるが、その管理をすることが出来ないので誰かに頼みたい。
- ・ 2、3年の内に、ヘルパー（1級、2級）が介護福祉士として統一されるそうですが、統一後、本当にヘルパー1人1人の能力が同じになるようにして欲しいです。能力にバラツキがあると、介護する方もされる方も、不安や不満が溜まると思います。
- ・ まだ想像もつきません。
- ・ 近くに信頼できる医療機関がないこと。
- ・ 退職後、年金受給できるまでの間の収入（就労）のこと。
- ・ 健康のこと。人付き合いのこと。
- ・ 不安や悩みはないとは言えませんが、自分自身の将来・老後は自分自身のことなので、今は精一杯毎日を送り、自分自身が将来困らないように自分自身の人生を恥じなくてもいいように生きています。
- ・ 子供の学費が大変で老後までまわらない気がする。
- ・ 国会等で年金の話が出ていましたが、選挙前になると話はなく、すむとまたあり、自分等でOKして掛けた年金ですので現実に合せることはないか？（特に議員年金となるともっと多いと思う。）
- ・ 収入の減と年金の減により、老後の生活が心配。
- ・ 家の耐久性について。木造家屋の耐震診断について（個人持家の場合）、市の方の対策は進んでいるか？
- ・ 年金がもらえるのか？（国民年金）
- ・ 年金生活をしているが、医療費が高くなったこと。特に3割負担はきびしく、3割負担者に集中的に重い負担になってきた。介護の負担も多く、定年までがんばって働き、老後の余裕を考えていたのにがっかりしている。
- ・ 老後の生活。地域との関わり。
- ・ 持病があるので、医療費が高くなるのは家計への負担が大きい。
- ・ 将来、ちゃんと年金がもらえるのかどうか不安。
- ・ 年金受給について。本当に受給出来るか。
- ・ 野菜をいろいろと作って楽しんでおりますが、作業ができなくなったときのことを心配しております。
- ・ 今現在、年金をかけているが、私達がもらえる年齢になった時に本当にもらえるかどうか？ 又、年金額が少なすぎはしないか？ 不安です。
- ・ 夫が後に残る事。年金生活でやっていくのが難しいのでは？（田舎は何かと入用が多いから）
- ・ 老後、年金だけで生活ができるのか。できない時、シルバー対策などで働いて給料をもらえる様なことができるのか。それができる環境があるのか少し不安です。
- ・ 年金のこと。たばこ税があがること。
- ・ このごろ子供はあてにならず、お金もないので老後が不安です。保険料はだんだんと上昇するし。
- ・ 年金は下げられ、介護保険は上がってばっちり引き落としされているが、いざ自分が介護を受けられるかが心配。医療費も高いので年金生活の者によっては痛手です。
- ・ 息子二人が一人娘さんと結婚し、将来相手の家の事等どうするか私達親は心配ですが、息子達を信じまかせる事が大切かもしれません。
- ・ スーパーマーケットが遠い。老いると乗物（自動車）が動かせない。雪が多く降ると。

- ・ 介護保険法改正により、自己負担が増えました。約2倍の出費となり苦しいです（デイサービス現在利用中）。
- ・ 妻の痴呆症？で桑名の方へ嫁いでいる娘に介護に来てもらっているのが一番の悩み。私も81才であるが、夏の太陽にはホントに弱くなってしまった。
- ・ 独身の年金で暮らしている者に税金が重すぎる。
- ・ 年金を納めていても、後々受給できるのかどうか。納め損になるのではないか。
- ・ 老後の生活。
- ・ 一人暮らしですから病気になったら不安です。
- ・ 治田地区に住んでいますが、近所（歩いていける所）にお店がないので、今は自転車がありますが、将来は不安です。
- ・ 福祉の充実（老人になってから収入がなくなりますので）。
- ・ PPK（ピンピン生きてコロリと死ぬ）運動におもう。私はお陰様で81才になる今日まで入院したことはありません。又、よく言われる80・20（80才で自分の歯が20本）これも達成できました。人間は健康で長生きしてこそ意義があると思います。ひとたび病気、入院ともなれば、家族はもとより社会に介護という労力と多大の医療費が必要となり、上記の運動を市全体としておこなえば、膨大な労力と経費の節約となるものと思います。
- ・ 自分が病気をした時に家族に不安がある。非常に苦しい立場。
- ・ 子どもは3人いるが、各々の道を進ませてやりたいと思うと私たち夫婦のみの老後になると思われる。共に元気なうちは良いが介護が必要となると年金と介護保険のサービスだけで二人が生活していけるか不安。
- ・ 私の住むところはバスが1時間に1本位です。今後、バスなどが廃止になると足がなくなるので困る。
- ・ 年金が老後もらえるのかどうか。
- ・ 年金がきちんともらえるかなあ。汗水たらして働いた給料から高額な税金をいろんな名目で払わされている。税金を無駄に使いたい放題している役所の人達はいいですね。
- ・ 現在、单身なので両親の老後のことや自分自身の老後について考えると不安になることがある。
- ・ 老後、年金だけでは生活できないので、どれくらい預金が必要か、それによって今の生活が変わってくる。
- ・ もしガンが再発した時、病気で動けなくなった時に家族は良くしてくれるだろうか。いつ迄も健康で自分の事は自分で出来る自分でありたい。また、夫がいつ迄も元気であってほしい。
- ・ 殺人やあまり良くないニュースが毎日起きている事。
- ・ 国民年金（二人とも）だから年金額を上げてほしい。一人が亡くなった時に国民年金額は上乗せ出来ないのですか。
- ・ 定年後の生活が心配である。高齢者の働けるような軽作業があればよろしいですが。高齢者介護の施設が少ない。
- ・ 国民年金で生活ができるか心配。
- ・ 年金の事、老後が心配です。
- ・ 病気になった場合、収入がないので年金だけで心配。
- ・ 年金が減って行く事が心配。
- ・ 子供二人は独立して住んでいます。15年くらい先に認知症などになったら大変不安に思うこともあります。
- ・ 年金は大丈夫か？
- ・ 子供達に迷惑をかけずに暮らしていくにはどうすれば、などと年を重ねるにつれ思います。
- ・ 老後の生活が不安である。年金も余裕がないし、貯金をしておかないといけないと思いつつも。
- ・ 夫婦二人共が高齢になった時（自由がきかなくなった時）。高齢になり一人になったり、介護が必要となった時。
- ・ 見た目には生活が便利になったように見えるが、反面、犯罪等増え続け格差も広がっているように見え、かえって生活しづらいように思う。

- ・ もう少し年金が多いと良いが、これからどうなるか。
- ・ 病気にならないか。
- ・ 老後、年金はどうなっているのか。
- ・ 高齢者がもっと安心して生活出来るよう医療面においても、また年金のこと、さまざま申し出たいことが山ほどあり、毎日が大変です。誰しもこの道を避けることは出来ないのです。よく考えてください。
- ・ 交通の便が悪い為、地域の中学・高校に通学する家庭が引っ越していかれるという話を、このところよく耳にします。特に冬場の事を考えると頭が痛いのが現状です。過疎化と除雪が不安です。
- ・ 定年退職後、年金で生活ができるか？
- ・ 老後に年金だけでは暮らしていけないと思うので、働けなくなったらどうするのか心配。
- ・ 将来、受け取る年金が不透明で予測がつかない。自助努力をする必要があるかと思うが、収入が少ない。今後の資金計画を立てることが困難。
- ・ 現在学生のため、将来、自分の力が発揮できる職につきたい。
- ・ 元気であれば働きたいが、職種や年齢で働く所が少ない。
- ・ 通院が多いので困ります。
- ・ 年金支給や介護保険制度が現在よりも良い状況にあるとは思えない。老人の負担が大きくなり、安心な社会が描けないので全体的に不安。
- ・ 医療費が高くなる事。
- ・ 病気持ちなので医療費がかかり、年金も減ってきているので心配である。
- ・ 仕事がなくなりつつある。
- ・ 年金の制度が改革され、減少すると生活費に不安。
- ・ 年金は払っているが、これで本当に老後の生活が保障されるのか。
- ・ 老人ホームの様な施設が少ないこと。
- ・ 高齢者が3人おり、子供はまだ小学校の低学年という事もあり、今の収入だけでは将来やっていけるのか、高齢者の1人はすでに入院しており、あとの2人もいつ病気や介護が必要になってもおかしくない事が不安である。
- ・ 自分達が年老いた時、地区のつきあいをどんな風にしていけるのか心配です。
- ・ 国民年金をずっと払い続けているので、正直者がバカをみない年金制度であってほしい。
- ・ もうじき息子も40になります。まだ1人ものでいます。
- ・ 年金や医療費など金銭的なこと。
- ・ 将来、自分たちに年金はあるのだろうか。
- ・ 子どもと同居はしたくないが、自分の老後は。
- ・ 半日の仕事で給料が少なく、生活費も苦しく、借金・ローンの返済もあり、返済をした後は本当に生活が苦しいです。役所への返済もありますから。
- ・ 今、多くの厚生年金を支払っているが、私達が65才になって年金を受け取る事が出来るのか。
- ・ 20年～25年先の事を思うと、北勢町にももう少しアイリス、グループホーム等の施設を増やして欲しいです。
- ・ 家の下水工事がまだ出来ていませんが、費用が足りない為出来ないこと。
- ・ 先の事なので、具体的には何も思い浮かばないが、でも自分の身体が自分の身体で無くなった時、独りでやっていけるのかなあ、という不安はあります。
- ・ 周囲の家が荒れていて草木が覆ってきている。また、自分の家も出来なくなると、こうなると思う。シルバーさんに来てもらいたいけど、お金がないので困る。
- ・ 年金の問題。
- ・ 夫婦2人で現在の生活がいくつまで、あと何才まで、病気・障害もなく生活が送れるのか大変心配に思います。又、医療費の高さには大変おちつきません。不安です。
- ・ 一人になった時。
- ・ 夫の年長の兄（62才）の面倒を見て行くようになると思うので心配です。

- ・ 足や腰が弱ってよろよろしています。どうしたら良いか心配です。
- ・ 医療費が高くなったので自分の老後のことが不安です。
- ・ 病気で寝込んだ時、介護等が心配である。
- ・ 現在は蓄えが無に等しいので、将来の生活に不安がある。
- ・ 寝込んだ場合に誰にみてもらうか、また介護についても不安がいっぱいです。
- ・ 年金でもらえる額や年齢制限など。
- ・ 定年になった時に年金がもらえるのだろうか？ また金額はどれくらいになっているか？
- ・ 年金。
- ・ 今現在、車で移動していますが年取って車が乗れなくなった時、タクシーは少ないし、北勢線はあるのか、バスがあるのか不安になります。
- ・ 結婚の適齢期が過ぎていのに彼氏も居なく、この先が不安。
- ・ 年金の支払いは年々上がっているが、自分が年金をもらう年になっても支払った分より少ないかももらえないかで心配。
- ・ これからは子供が少なくなって自分の老後が心配です。
- ・ 今はまだ若いので体も動き生活できていますが、20年位経つと私も老人の仲間に入ります。足の障害もかかえているので、その頃になると今のような具合にはいかないと思うので、介護も必要になる場合も考えておかなくてはと思っています。車に乗れたとしても歩くことが不自由になることには違いないので、不安に思っています。それまでに悪化したらどうなるかなと不安になります。
- ・ 80歳余の女の一人暮らし。病院もなかなか入院させてもらえない。老人ホームもなかなか入れない。年金も少ない。将来、長生きしたらと不安の毎日。
- ・ 物価が高く、老後の年金が少ないことが予想されるので不安に思っている。医療費も高くなっているので病気になった時が心配。
- ・ 近年、年寄が増えて社会的に老後の利用する、例えば老人ホーム的な所が足りないように思いますが。
- ・ 今の仕事が自分に合っているかどうか。
- ・ 年々税金などは高くなりますが、収入は年々増える事はなく、年金もどうなるか。自分達の老後はどうなっているのかなど不安な事ばかりだし。いなべ市になっても良くなった事はあるのか？ いつも心配な事ばかりで日々不安です。
- ・ 病気と年金。
- ・ 現在64才です。今の所、仕事に行っています。でも65才以上になると仕事がありません。その時になって年金だけでは？と思いますが、その時になってまた仕事でもみつかりますかね。仕事をやる気はありますが、先々不安です。
- ・ 介護保険、医療費のことなど、私たちににとって良い方向には変わっていかない。税金などお金の負担が心配。
- ・ 年金や退職金がきちんと支給されるか不安。
- ・ 年金がどうなるか？ ちゃんともらえるのか？ 医療費が高くなる事。消費税のUPが不安です。
- ・ 少しの田畑があっても農作業が出来ない。家の修理費のこと等不安です。
- ・ 戦前の自宅で現在の暮らし向きでは建替えは不可能です。かなり前からボロボロ（シロアリ）の状態です。地震、台風は恐怖です。
- ・ 交通に不便。商店がない。動けなくなったら困る。
- ・ 高齢になっても健康で、無理のない程度に働いたりする場所がきちんと確保できるようにすること（老後も誰かの役に立ったり、他人の世話になるべくならないようにしたい）。
- ・ 年金で生活出来なくなる！！ なんとかしてくれ！（月10万前後で生活出来ない。）
- ・ 一人暮らしなので病気になった時が心配です。
- ・ 自分の事が自力で出来なくなり施設に入りたくても自分の予算内で入院できる施設があるかどうか不安です。
- ・ 年金がもらえるか心配です。
- ・ 家族間はうまくいっているのですが、健康に気をつけながら頑張っていけば良いと思っているので別に不

安はありません。

- ・ 老後にもらう年金がきちんともらえるのかとても不安。寝たきりになったりしたら、子供にみてもらうのはちょっと嫌なのでホーム等に入りたいが、そのお金等も心配。
- ・ 老後、子どもの世話になるのは望めないので、寝たきりになったらどうしたらいいかと不安です。
- ・ 配偶者が親の面倒を見るつもりで同居し、その親は仕事（パート）しているが、家に家計の足しをしてくれる訳でなく、携帯電話代等個人的なもの一部こちらが払っている現状にして、家のローンも20年近く残っており、子供もこれからお金がかかる時に、配偶者が仕事を辞め、次の仕事もいつ就くか分からない今、今後が不安。
- ・ 少子化で学校がなくなるのでは？ 通勤通学の事（車のガソリン代が高くなる）。
- ・ 夫婦で少しでも長く健康でありたい。
- ・ 健康への不安。
- ・ 将来自分のもらえる年金だけでは満足に生活していけないのではないかと？ 現在の会社を定年退職後も働かなければならないと思うが仕事はあるのだろうか？
- ・ 年金が少ない国民年金。
- ・ 将来、公的年金は本当にだいじょうぶでしょうか？ 不安です。
- ・ 老後、時間にゆとりがあれば何かやりたいと思うけど見つからない。親しい友人がいない。
- ・ 公的年金がもらえるのか不安である。
- ・ 結婚していないのでまだよくわかりませんが、老後のことが心配である。
- ・ 年金、退職金の減少等、金銭面での不安。老後の生活や趣味等の不安。
- ・ 健康上の事が不安です。
- ・ 市民税を取りすぎ。大安ばかりにつかひすぎ。税金の使っている所がわからないので不安。
- ・ 若者が他で土地を買って出ていく一方なので不安。田舎へ戻って来る人に引越し代くらいは市が持つてほしいと思った。近々田舎へ戻った一人。
- ・ 年金がもらえるのか心配。
- ・ 年金問題と税金の高いこと。
- ・ まじめに年金をかけているけど、はたしてもらえるのか心配です。
- ・ 年金がもらえるのか。ある程度の金額。
- ・ 老後のお金の事。
- ・ いつ失明するかわからないので不安。
- ・ 年金受給額が少ない。子どもの病気。
- ・ 将来どのように働き、どのように生き、どのように暮らしていくのか考えることが多いです。
- ・ 将来生活できるだけの年金がもらえるか？ 食料品がなくなることがないか？
- ・ 田畑山林の荒廃化。企業誘致に注力望みます。（東海環状道路の構図早期実現。）
- ・ 子供も結婚せず、夫も家事も出来ず、自分がいつまでも健康でなくては、と無理な事を願っている毎日です。
- ・ まだ年金がもらえませんが、病気がちで無職です。早くからのでもらおうと思っっていますが、はたしてそれで生活出来る額であるのか不安です。
- ・ 跡継ぎが無い。
- ・ 農業の後継者がいない。
- ・ 今迄の年金体制が崩れていく中、老後を年金で維持する事は難しくなって行きます。子供に負担をかけず老後を送る事に不安があります。
- ・ 病院が近くに無いこと。
- ・ 年金が必ずもらえるかどうか？ 今までかけてきた分は必ずかえしてほしい。
- ・ 子供達の進路問題。社会の一員ときちんとなれるか問題。自分の今後の就職問題。健康問題（心と体）。
- ・ 自分達の年代の老後は、現在の高齢の方のように年金を受け取ることもできないと思う（少額になるであろうと思われる）ので、ずっと働いていけるように夫婦で健康でありたいと願っている。それから子どもたちだけで介護というのも負担が大きいと思うので、在宅での介護（ヘルパーの派遣など）

や施設（入所する場合）など、少しでも負担が少なくすむように、これからの介護も今より良い方向へすすんでいってほしいと思う。

- 年金が受給されるか心配である。
- 自分の将来について。生き方。老後について。死に方。
- 老後、交通も無いし、病気や介護を大金をかけずに助けてくれるのだろうか心配。
- 老後、動けなくなったらどうなるかと心配。
- 自営業なので老後の年金が少ない事。
- 病気（今現在は健康だが、私が倒れた時、家族はどうなるかとか）。年金について（支給額、支給開始年齢など）。
- 知らない人から電話が何べんもかかるので困る。

資料2

【子育てや家族の介護のことで、不安に思っていることや悩んでいることがあれば自由に書いてください。】

問3（4）には、352人（11.1％）から回答がありました。個人を特定できるようなものでない限り、原文のまま掲載しました。

- ・同居で孫のしつけを目にしているのですが、親の教育をしてほしいと思う程です。早寝早起き、食育を充実してほしいと思う。
- ・高齢者の気まま、わがままで家族の言う事を聞かないこと。
- ・老人介護はかなり充実してきてますが、障害者には厳しい現状で仕事もなかなか無い。市とか県とかで障害に応じた仕事場、住居（グループホーム）がほしい。
- ・主人の障害年金が貰えず国民年金が満60才でもらえる所、5年延びたので生活苦のため早く貰ったので2人とも63%で少なく病院通いです。1ヵ月の支出を計算すると、どうすればよいのか判らなくなりました。これ以上書きたくありません。
- ・老人の介護での家の経済、施設への高支払。
- ・介護。施設は高い。
- ・今の所は両親も元気でおりますが、いずれ病気等にて、介護が必要となってきた時。
- ・介護費用が高い。
- ・介護している自分が病気になった時のこと。
- ・先が見えない介護は、家族にとっては経済的にもかなり負担が大きい。施設が利用できず在宅介護になった場合の仕事との両立。
- ・子どもの数が少なく、一地域での異年令仲間集団が出来ないことで人間的な資質が育てられないこと。又、地域のネットワークも崩れた状況もそれに輪をかけていないかの不安。
- ・夕方～夜まで子供だけの家が多くあるので、核家族世帯の中、子育て（子供同士の中）が心配な時もある。どれだけ自分の子供を見ている家庭があるのか？意外と少ない様に思える。
- ・高齢者介護が必要となった場合の負担と仕事への影響。
- ・お金がかかる。
- ・将来の家族の介護。
- ・母が介護施設に入所しているが、入所料金が高くなった。今後も入所料金が上がるとなると、生活が出来なくなる。不安に思っている。
- ・長生きの時代で老々介護が増えると思うが、施設、システムの整備をお願いしたい。
- ・恵まれた時代の中で不自由なく営みをしています。精神的に衰えはじめてきています。
- ・孫の躰に口出しが出来ないこと。親の言う事を聞き入れぬ嫁を何とかしたい。せめて常識だけは持つてほしい。
- ・介護認定の手続きを自治会長さん等を通じてもっと簡単にできるようにしてほしい。
- ・子供の進学や、親の介護が近い将来にせまる中、経済的な不安がある。
- ・介護する人が仕事に行き行って忙しいので、ケアの人を頼みたいです。
- ・高齢のため、自動車・自転車も乗れず医院、病院も遠く、又、日用品や食品を買う店も近くにないので困ります。
- ・現在母の介護中であるけれど、なんとか自宅で死を見取りたいと思うが医者の方とかもあり実現出来るかどうか？
- ・子育てで不安に思う前に、自分の身の周りの生活を質素にし、祖父母の同居で子育ての心配はなくなると思う。
- ・介護の判断がよく分からない。家族から見ればおかしくとも、ケアマネージャーの前では、ほぼ普通なので理解されない。
- ・介護老人入居施設後の使用料が高額である。収入から見ると、今後不安ばかり。
- ・妻が痴呆で長い間私が介護してきましたが、子供夫婦は見向きもせず邪魔者扱い。かわいそうで施設

に入所、早5年。私も年金生活者最低の生活で入院費支払いしてきました。今日までは健康でおられたが、最近では体も弱り倒れたら医療費などの不安でいっぱいです。

- ・ 介護の件で、父に障害があり、今は何とかひとりでの身の回りの事が出来るが、母も共に年をとり、ゆくゆくは妻の負担になるかと思うと不安。妻は仕事を持っている。
- ・ すべて、年金が多くない人は介護支援が充分出来ない為、個人営業者とサラリーマン、公務員の年金の均一化、一元化を早くしてほしい。特に個人営業者の年収の低さを救ってほしい。サラリーマンの老後は有利だと思う。
- ・ 祖父が無趣味で、ずっと家にいるため痴呆が心配。出かける時は車を運転するのでもっと心配。
- ・ 介護が必要になった時、家族の手に負えなくなったら即入居できる施設がほしい。
- ・ 今、介護はないが、この先、介護が必要になった時、ホームへは入れられない（お金がない）。家で、私が介護をするようになった時、どうやって、生活をしたらよいか。収入がないから。
- ・ ありすぎて、書けない。
- ・ 犯罪増加に対して不安だ。
- ・ 将来、両親が介護状態になった時が心配である。
- ・ 親が寝たきりになった場合の介護。
- ・ 介護の事について今は主人が手伝ってくれるので良いが、病人ですので、いつか又病気で倒れた時の事が心配である。
- ・ 不安に思っているはずなのに書けと言われると書けない。
- ・ 障害児等が気軽に利用、相談できる場があればと思います。医師などが居てくれる様な場があれば、もっと良いのではないのでしょうか。障害児、又はそれに近い状態にある子をもつ親にとって、不安だし、保健士さんをフォローできる人がもっと近くにいた方が良いのでは。
- ・ 子供はまだいませんが市内の保育園の内容が不満。市立保育園はただ遊んでいるだけで子供にとってこれでいいのかと思う。年令の高い先生が（キャリアのある先生が沢山いるからというが）昔ながらの考えで少しも新しいことを取り入れていないと思う。少子化が進むが、子供が出来ても市外の幼稚園に入れようかと思ってしまう。中央保育園のような色々なことを取り入れていくべきだと思う。そう思う人が多い為、中央保育園が人気でなかなか入れない現状を市は考えてもらいたい。
- ・ 近所の母親ですが、子供への叱り方や息子の母親（老人）への対応など日常気になっています。
- ・ 自分が介護を受ける事になった場合、資金等が非常に不安がある。
- ・ 介護はお金がかかりそう（デイサービスなど）。
- ・ 子供がまだ小さいので（おそがけにできた）将来が不安。親が近いうちに寝たきりになる可能性がある為、介護の事、お金の事が不安。
- ・ 介護で病院には行きたくないと言うので、その時はどうしようかと思う。
- ・ 夫婦2人の生活なので認知症になったり、寝たきり生活になったらどうなるか心配です。入院したり、施設入所等は経済的に負担が多いから無理だと思われるので不安です
- ・ 甘やかすばかりの夫。子供は良くないことばかりを覚える一方。私が子供を叱っても夫が私に叱ってきて。子供は夫に私のことを言いつけて、又夫に叱られる始末。でも夫は子供のことを本当に愛して行っているのではない。子供が危ない目に遭っても、助けようとはしないし、連れて歩いてほったらかしできちんと見ていない。
- ・ 本人の希望であれば安楽死が認められてはと思う。
- ・ 精神障害者が居るので、両親は先に不安を持っています。物質的にも精神的にも、末の事が大変心配です。経済的な市の援助を望みます。
- ・ 親はありませんが、書いている自分が高齢になってきます。若い夫婦達は簡単に仕事は休めません。急に病気になった時の対処の仕方がとても心配です（贅沢な悩みですが）。
- ・ 子供は今のところ素直に育っているので心配ありませんが、進学、就職に対してのシステムや情報が複雑なので親がついて行けるか心配です。家族の介護も危険が及ばない限り家で行ないたいです。ただ、離れている両親の老後に対して力になってくれるサービスを勉強しなければと考えています。
- ・ 年寄りはお話の話を聞かない！頑固。

- ・ 年金のお金だけでは、介護にかかる費用が補っていきなくなるのと同時に子供にお金がかかる。
- ・ 高齢者同居の為、日頃、火事につながる事多々あり、家をあける事すら、儘ならない状態。これから冬にかけて特に。当然、自分にもストレスがたまり、先を案じてしまい、子供にも、目を向けられない様に思う。高齢の人（80才以上）が一日中、ずっと過せるホーム・場所をもっと真剣になって造ってほしい。
- ・ 介護は、まだ、まじかに迫ったものはないので不安はありませんが、知っておかなくてはいけないこともあるだろうな、とは感じています（一緒には同居していませんが主人の両親がいるので）。
- ・ まだ先の事ですが、きちんと近くで就職出来るか不安に思っています。
- ・ 今、母が少しボケた状態になっていますが父の年金なので、特養で年金内でみて頂いてるので助かっています。でも私達が介護が必要になったら、病院へもお金が無い為、入れないし、家にいたら誰かが犠牲になって1人働き手が無くなり、皆が不幸になると思う。福祉の充実を希望しております。
- ・ 環境が良く、子育てはしやすいと思いますが、その反面、ゆっくりしすぎていて競争心や厳しい社会に対応していける心強さ等がうまく育っていくかと不安に思います。又、学校の登下校、学校の開放的すぎる程の無防備さに不安を感じています。
- ・ 自分の親が要介護状態になった時、施設などすぐに見つかるか心配。
- ・ 今後、親の介護が心配（施設の充実化を求める）。学校施設の老朽化（耐震、防災は大丈夫か？）。幼児医療負担年令引上げをお願いします（小学就学中は補助）。
- ・ 今は少し離れたところで、2人で生活している、じじ、ばばですが、この先どうするのかと思うと不安です。
- ・ 長期の病気での費用。
- ・ 私は男です。料理が出来ないので、今でも毎日不安です。人に頼ってお金が払って行けるか心配です。精神を安定させて生活させてやりたい。近所の人とは仲良く出来る様に市の方から力を入れてほしい。今は形ばかりで悪口とか本当に仲が悪い人の方が多いと聞きます。
- ・ 病院の医療費が月15万円必要な人（高齢者）が、身近にいます。とっても大変な事で、他人事とは思えません。
- ・ 子供が自立できるか？
- ・ 私は姑を3年半ばかり介護しました（家で）。まだ32才でした。自分が介護が必要になった時どうしようと不安です。
- ・ ①老夫婦、マッサージしあい助け合って毎日を送らせて頂き幸せです。②今の親さん方は、自分の思い中心に子育てをみると思います。そのことが悲しい事件の元となっていると思います。③子育ては子供の心を中心に、どう答えてやるのが最も大切と思う。親さんはもっと料理の仕方を勉強し楽しい団欒を中心に、そこでお互いの結び合いを強めて過ごしたいと思います。④人格を育てる基本は、人と人との結いと自然の中で育つと思います。子供のしたいことは何かをしっかりとその実現に向けて子供の心を中心にした軌道の中で育ててやりたいと思います。
- ・ 高1の子が不登校ぎみ。本人が病気。
- ・ 老々介護になり共倒れしないか。親の介護費用の負担。
- ・ 男の子のきれるのがこわい。何も言えない。今、中三で勉強の事でよくもめる。つい口うるさく言ってしまう、言わないと、全然勉強しないので。言ったら言ったで、おこる（人と比べたりするので良くない(自分))。やる気がなくなったと言い困っています。
- ・ 子供が男の子ということもあるのか、少し反抗的です。
- ・ 義母は、胃ガンの手術をして、食事を1日数回に分けて食べなければいけないのと、骨折（足）して車イス生活なので施設に預かってもらっていますが、これから先もっと料金が上がると聞いているので生活の負担が多くなるのではないかと心配している。
- ・ 子どもが悪の道に入っていくか。
- ・ 介護が必要で入院していても、お金がかかる。老人の国民年金では月5万円ぐらい。これでは家計が大変である。
- ・ 本人は何もしたくない。寝ていたい。えらい事はしたくない。散歩はいや。でも、車ドライブはOK

です。→自立が欠けていく様に思う。うつ病になっては、私の手におえないと思う。心配です。

- ・ 両親共、病気もちであり、自分は仕事をもっている為、いつ仕事を辞めることになるのか心配である。
- ・ 孫の結婚・就職が、本人の満足するように進んでいないこと。
- ・ 母も高齢です。現在は介護はいらないけど、後、介護しなければならない。働かなければ生活できない。どうしよう。
- ・ 将来（早い時期）1年ごとに介護保険も値上がりして行くこと。介護料も高くなっていくことは明らかである。お金のないものは世話してもらえない。格差はすでに生じている。この格差はどのように是正していくかは行政の今後の課題である。（人間は誰でも生きる権利がある。）
- ・ 介護というと、女性ばかりに負担が掛かってくること。
- ・ 老夫婦に将来どんな病気が待っているか。老々介護になるのではないか。又、通院に困るのではないか。高齢者介護の施設が増える事を期待しています。終の住家は病院だろうと娘を信用する外はない。
- ・ 娘がいますが、私達の死後が心配です。残してやる金がない。不動産は少々あります。
- ・ 両親の病気の事が一日中脳裏から離れない。家で5年間ほど介護していたが、限界があり、火を使うとダメと言っても、すぐ忘れて使うし、火が点きっぱなしでも、自分は知らないと言う。家族全員が限界であり、母は施設に入っているが、金額が高いこと。父は足腰が弱り最近病院に入院したが2人が入院となると家計は苦しい。自分も定年近くになり、自分達の老後の事考えなければいけないが、そんな余裕もない。この先、両親がいつまで入院しているかわからないし、先のことを考えると、真っ暗です。もっと普通の人も余裕ある生活が出来るように考えてほしい。
- ・ アルツハイマーの姑の、この先の過ごし方。ひどくなったら、どうしたらよいかしら？
- ・ 親の病状が悪化した場合、介護と勤務の両立が出来るのか心配です。家事、子育ても含めて。
- ・ 在学中の娘の就職について、息子の将来について、いずれ起こるだろう義父母の介護についてなど、不安です。
- ・ 子供が満足のいく進学先、就職先が見つかるかどうか。
- ・ 今すぐ、介護したり、されたりは必要ないが、私自身も主人も現在治療中の病気があり、要介護状態になった時が心配。
- ・ 子供の物の価値観も私達とは異なり大切さや与えてもらう事等が当たり前になり、躰も難しくなっている。他の家等も物を与える生活なので家だけ与えないという訳にもいかないのが難しいと思う。
- ・ 自分が元気で居れば介護する事が出来ますが、もし自分が病気等で動けなくなった時、主人の介護はどうするか心配です。
- ・ 92才の母親が入院しているが入院費が高いので家につれてこようと考えているが、以前に介護していた時に自分が腰痛になったので自分の健康も気になる。
- ・ 年金で介護が長引く時。
- ・ 高齢で国民年金も少なく、若い人の負担になっているのが辛いです。
- ・ バリアフリーに改造しなければならない。金が必要になること。大きな体を動かす体力がないこと（自分に）。
- ・ 遠方に親が住んでいる為、自由に行き来が出来ない。
- ・ 長年、病気で寝たきりでの為、施設や病院でお世話になっていますが、毎月10～12万程かかります。厚生年金はなく、老齢基礎年金5万円では、毎月6～7万、子供夫婦の負担となっています。私達が定年になって収入が無くなった時のことを考えると心配です。
- ・ 認知症の祖母の症状が悪化している。この先、どうなるのか不安。
- ・ 家には83才の祖母がいます。今は、まだ自分で自分の事は何とかやっていますが、そのうちに自分では出来なくなっていくと思います。その時の介護とかお金の事が気になります。
- ・ 病人の介護が難しい（頑固）。
- ・ 今、テレビ等で子供がきれる。そして殺人などに発展して暗い世の中になっていますが、未来の持てる明るい社会にしてほしい。年を取り、オムツをしているのですが、他市ではオムツ券など支給している所もあり、いなべ市ではどうですか。
- ・ 介護保険料金が上がっている。

- ・ 介護にお金が沢山かかる（自分だけでは自分も弱って行くし、人の手を借りて介護しなくてはならない時）。人間らしく心の有る人に育っていくのか。
- ・ 躰と虐待で、躰のつもりが行き過ぎると虐待に見られそうに思われる。決してそのつもりはない。しかし、マナー、モラルのことで、きつく言い聞かせてしまう所はある。
- ・ 大学生になる子供の学費等。これからの生活が不安だ。
- ・ 親がいなくなった後の子供のこと（特に障害のある子）。安心して子供を世話できる施設、人に世話してもらいたいが、現状から言うと不安が多い。兄弟、親戚が世話をするのが当たり前という風潮がなくなしてほしい。
- ・ 介護は病院よりも自宅が好ましい。
- ・ 現在、両親と離れて住んでいるが、近い将来、両親の介護が必要になった時、自分自身の生活の拠点をどうすべきか。実家に戻るということは収入源を断ち切るということなので、とても難しい選択になると思う。
- ・ 主人は骨折した後、家の仕事も精一杯しています。この世話が出来るか不安です。毎日が不安な生活をしています。戦争で若い時も大変でした。老後安心させて下さい。
- ・ 義親の介護、金額が高くなった（施設）。かと言って、家に帰ってもらってもミキサー食では、家族全員倒れてはと思います。何故、長男夫婦ばかりにと思う。義親の元気な内は、我慢、我慢で、倒れたら今度は介護。お金の負担で最悪。
- ・ 町民が集まれる公園があれば、子供も遊べて自由に話も出来る。
- ・ 在宅で介護をと思う時、犠牲にしなければならない事が多く、1対1の介護に不安を感じる。
- ・ 「おまえ達の世話には一切ならん！」と、25年間、倒れる寸前までやりたい放題の義母が、脳梗塞で倒れ、車イスが必要となってしまいました。4ヶ月経ってやっと「世話になる」という言葉が出たのですが、気がしっかりしている分、これから先が心配です。主人は夜遅く、ほとんど私と1対1で世話をすることになるのです。又、今は入院中ですが、家をリフォームして、在宅介護となりますが、まだまだお金も必要なので、パートを続けながら、デイサービスを利用したいのですが、近所の目だけでなく口も出るので、精神的な面が不安です。
- ・ 母が痴呆症に罹るのではないかと心配しています。
- ・ 93才の祖母がいます。今は健康であるため良いが、介護が必要となった場合、どうしていいか分からないので不安を感じる。
- ・ 年寄りが病気になれば、家族が働けないので、どうなるのか。介護と働くこととが、うまく出来るか。この点が心配です。
- ・ 介護が心配である。
- ・ 夫婦、老齢でも、2人で暮している時は好いが、1人になった時に日常生活の中での、事故でもあった時、大きな悩みです。
- ・ 高齢の義母との会話や世話。
- ・ 病院、施設への入所がスムーズに行えない。
- ・ 祖母が寝たきりになったら介護がより大変。
- ・ 子供を放課後、児童クラブに通わせています（三里小学校区）。あと約3年後に施設の移転を言われています。市などは協力していただくと大変ありがたいです。
- ・ インフルエンザの予防接種は老人と同じように費用の補助をしてもらいたいです。
- ・ 90才の親が元気でいますが、いつまでも元気で居れるよう食事に気を付け、毎日会話をして一日でも楽しく暮せるようにしたい。
- ・ 親には、金銭面では助けられている部分はあるが、将来的介護が必要になったら在宅では無理かと思う。受け入れ場所を確保してもらえるか心配。その度合によって施設に入れてもらえないと困る。
- ・ 今は、まだ家族の介護は必要ではないですが、数年先は不安になっているのでしょうか？
- ・ 最近の子供は外で遊ぶのも不自由だと思う（危険）。
- ・ 介護の今後必要性が生活の大半を占める様になったらどうするか。
- ・ 親が高齢なので、今後介護が必要になった場合、年金（国民年金）だけで介護が受けられるのか？

- ・ 子供の学力、進学について。高校が少ないこと。
- ・ 子供の医療。
- ・ すぐ近くに祖父が1人暮らししている。毎日、薬や世話をしに行っているが、急に体調が悪くなった場合を思うと心配。
- ・ 会社が正社員を雇用しなくなり、契約社員ばかりになっているのに景気が上向きという日本社会が心配。
- ・ 地域に子供が少ない。小学校がいずれ統合されてしまうのでは？ そうなれば子供にとって環境が変わりストレスになるのではないかと不安。
- ・ 家族に高齢者がいるので、いずれは介護が必要となると思うので、介護について何もわからない事が不安です。
- ・ 子供が犯罪などに巻き込まれないか。今は大丈夫だけど、楽しく学校に通い続けてくれるか。
- ・ 痴呆が進んだ場合、すぐ入居可能な施設があるかどうか心配。
- ・ ヘルパーさんだけでは、大変な生活になっていること。何も保障がないこと。
- ・ 現在、両親は80才を越えています。いずれは介護が必要だとは思いますが。しかし、生活しながら働きながらでは、介護も完全には出来ません。だからといって仕事を辞めて介護では生活は出来ません。色々な面でこの先が心配です。
- ・ 家庭教育、学校教育、社会教育が決してこのままで良いとは思わない。道徳教育を根底に教養を高める社会環境、学校、家庭環境を作ることこそ急務と考える。富を得ても礼節を失わない人間作りこそ大切。
- ・ お金が心配。
- ・ 現時点で悩みはないが、周りの声を聞くと、将来の自分に対して不安がよぎる。核家族化が進む中、子育てを誰に支援を仰ぐべきか、また、今の世の中で情操教育が成されているのかなど。
- ・ 週に1, 2回介護を依頼することが出来る（介護するまでいかない状態でも）ところを情報としてあれば、安心して家を空けられるので。又、2, 3日預かってもらえるようなシステムがあれば良いですが。
- ・ 高齢者のフォローはたくさんあるが、介護人の心のフォローをしてくれる施設とか医者とかほしい。
- ・ 子供会やPTAは、無くせないのか？
- ・ 長男のこと。
- ・ 過疎、僻地、悪条件、これからが心配に思う。
- ・ 親がしっかりとし、子育てが出来るのであり、現在の親子関係は不安でなりません。家庭教育をしっかりとせねばと思います。
- ・ やがて来る老後。夫（満67才）が先に介護が必要になったとき、週3回の透析治療に通院の身では、全く構ってやれない心配があります。そんな時、安心して相談出来る『いなべ市』になるよう要望します。
- ・ 息子（30才）の嫁探し、大きな課題です。
- ・ 介護が必要になったら、十分な手当ては受けられるのか（介護認定は審査が厳しいと聞いたし）。この先、長生きをすれば損？と思うような感じがする（税金、年金など考えると）。
- ・ 私は67才、身体のアちらこちらの部品が、痛んで来ている。修理、補修で少しずつ機能低下しながら、動いているが、どこまで持つか、動けなくなってから長くなると困るなどと思っている。
- ・ 子供同士仲良く出来ているのか。今多いキレる子供にならないか。
- ・ 子供の生活態度や言葉遣い。
- ・ 高齢になり、老々介護になる事が不安です。
- ・ 母を預かっていただいています（痴呆の為）、月12万円近く必要です。少々負担に感じます。しかし、家で世話することもできず（勤めとの関係で）。
- ・ 高齢者の方の筋力トレーニングは、施設へ通うのではなく田畑を耕す事だと思ふ。生き甲斐にもつながりますし、市の健康保険の医療費も抑えられると思ふ。動物に対する被害を真剣に取り組んでほしい。

- ・豊かな自然が残っていても、外で遊ばせたりしないで、習い事ばかりさせている親が多く、学校以外の時間を自分で見るのではなく、お金で他人に見てもらっている人が多い。小さい内は、自然で学ぶ事がたくさんあるのになあ。
- ・介護をする側も年齢がいくなど、お年寄りの世話を年寄りがする様になるのでは、と心配になります。
- ・家族制度を大切に守って行きたい。
- ・子育ての年齢はもう過ぎたが、子供が成人して、やっけて行けるのか心配です。
- ・親（自分自身）が、介護が必要になっても、一緒に住んでいないため、なかなか思うようにはしてあげられないし、両家の親が同じ時期に、介護がいるようになると困るかなと思う。
- ・核家族のため、老後、介護が必要になるとすごく不安です。
- ・高齢者2名の生活。昼間の行動が心配です。
- ・寝たきり状態になった時、施設に入るのは出来ても料金が高いので在宅にならざるを得ないのでどうしたらいいのか。
- ・子育て、介護共、国、市のサポートシステムがよく分からない。対象者に案内をして欲しい。PTA、子供会役員は、父親→PTA、母親→子供会でないといけないように決められている。もっと学校行事に父親を参加させ、夫婦で育てる環境作りを市から提案してもらいたい。
- ・成人した息子の家庭内暴力（ニート）。
- ・地域での警察を主とする防犯活動がみられなく不安。
- ・現在、介護職に就いて、他人様のお世話をさせて頂いておりますが、父、母、身内の者に介護が必要となった時に果して、今のように、感情的にならずに介助、援助、助言ができるのかということが気になります。
- ・老人や父親を立てる家風がなくなり、孫も同様となり、躰に口が出せないし、困っています。
- ・少子化とか言われていますが、もっと子供の事に関して色々してほしい。オムツ、ミルク代などのお金を請求すれば返ってくるのか。それから介護ホームとかよく見かけるが子育て支援は少ない。それに土、日もやってほしい。子供が保育園とか行っている子は来てはいけないと言われたら、行けないし（下の子がいても）休みの日に子供を遊べる場所をもっと増やしてほしい。年齢制限無しで。乳幼児医療が4才までは短すぎる。これからケガ、入院が増える時期で終わってしまうのはおかしい！！後、3人目が産まれた所には100万ぐらいお祝いが出ると、きっと子供が増えるのでは？大安とかは100才の人は100万がお祝いにもらえると聞いたのですが、老人だけ特別ではなく、これからの子達にもっとお金をかけてほしい。でなければ人口は増えないと思う。
- ・子供がいないということ。高齢化した老人だけの部落になっては、いけないだろうか。1人暮らしの老人家庭が増えるような気がする。
- ・子育てというより、子供が少ないため、色んな面で心配がある。
- ・夫、妻、共に、もし30代で介護する人が出来てしまったら、子育て&介護ができるのかな？と思います。
- ・私の子供達が、もし私が動けなくなった時、世話をしてくれるかが心配です（年金が少ないから）。
- ・70代の義父が寝たきりになった場合、どうしようかと思う。
- ・通学時の危険。
- ・今のところ、介護の経験がない事があるがたい。今後、親、自分が必要にならない事を願いたい。
- ・TVや新聞で“キレる子ども”“ニート、引きこもり”“いじめ”など目にする、うちの子も将来そうなるのでは、と不安になります。
- ・家に居る高齢者、今のところは自立していますが、近い将来、介護が必要になったら、私（女性）が仕事、家事、子育てと両立できるか心配です。
- ・（小学生）先生の手が足りず、目が行き届かない。
- ・介護される者の年金での介護が難しい。介護に掛かる金が多すぎるから？
- ・年々、子供の数が少なくなり、これから先、教育のことがどうなっていくのかがとても不安です。介護についても、いなべ市（特に藤原町）は土地柄もあると思いますが、介護に対しての考え方がとても遅れているように思います。これからどんどんお年寄りも増えてくるので、介護にもっと積極的

に取り組んでほしいです。

- ・ 治らない病気（多発性骨髄、肺気腫）になったことで、これからもっと介護が必要になった時、どの様に対処しようか悩んでいる。
- ・ 実家の母が老人ホームでお世話になっています。まだ若いので、病気が良くなって、早く老人ホームから出られるといいなと思います。
- ・ 女房がガンに侵され、未だ現在、月に一回、抗がん剤を病院で投与している。その1週間が大変。
- ・ 自分が左半身麻痺なので、介護を必要としているが、妻が高齢になって介護ができなくなったらどうしていくか、考えてしまう。
- ・ 高齢者（父、母）の介護（どちらかが死んだ後の介護）。
- ・ 年寄りが介護をし、また、介護される時代ですので、どうなるのか少し不安はある。
- ・ 子供の補装具代は、乳児医療終了後どのくらい負担してもらえるのか。1足の靴を作るのに9万円以上現在掛かり、半年や1年に1足は要するため。
- ・ 別居の母の病気。
- ・ 余裕のある子育て介護が必要だと思います。キレル若者、キレル子供、子供達の住み良い町が続ければ良いと思います。
- ・ とにかくお金がかかりすぎる。お金をかけなきゃいけないのは当然のことだが、豊かな時代になり、金銭感覚が麻痺していて、本当にお金をかけなければいけないことにお金をかけていないように思う（私もそうだが）。なので、この先、生活していけるのかな？と思う。学生の身としては、将来の雇用（女）もどうなるか分からないため「生きていくこと」「家族の役に立てること」に不安を感じる。雇用形態が悪ければ、お給料もあまりもらえないし、家計も苦しくなると思うと、悩む。
- ・ 姉の子の子育てが難しい。言う事を聞かない（わがままさせすぎた）。子育て環境について、○△□児童センターは常連さんが多くて入りづららしい。もっと気軽に行ける子育て中の人応援カフェのような場所を私は作りたい。岐阜のNPOママズカフェさん（HP有）のように（行ったことはないが、オーナーの話は聞いた）。
- ・ 私は1人っ子なので、遠くに住んでいる両親が患った時の介護への関わりについて不安です。
- ・ 若い世帯が出ている家が多いので、子供が少なく、子供の遊び相手の家へ車で送迎しなくてはいけないほど、近所に子供がいない。私が子供の頃は、近所に同級生が沢山居て、いつも遊びの輪ができていたのに。子供が少な過ぎるのが気になります。
- ・ 親に介護が必要になったとき、どこに相談すればいいのか？
- ・ 今はまだ子供はいないが、できたら教育費にお金がかかりそうで不安。ゆとり教育とは名ばかりで、学校で学べなくなった事で塾に行かなくてはいけなくなった。その分、お金がかかり、余計に少子化が進んでいると思う。学校を昔のように戻して欲しい。
- ・ 学校での友達がいらない。休み時間は1人で図書室で本を読んでいるとのことで心配です。学校に相談しても、何らよい回答が得られません。
- ・ 祖母が要支援のため、在宅で全て自力でして過ごしているが、日中外出することもなく1人で過ごしているので、出来ればデイサービスなどへ行ってほしい。本人は行こうとしない。
- ・ 母子家庭なので、十分な収入がないので、今後の生活面で色々不安です。
- ・ 昔と違い、女性も仕事を持っている時代に、子育て、介護、家事、仕事を全部背負うことは身体だけでなく精神面でも疲れ、毎日が精一杯である。
- ・ 5年程、在宅介護をしていたが（デイサービス2年を含む）4月から入院（肺炎）。現在、治療、投薬なしで鼻から栄養を入れているが、退院と言われ、次の医療機関を探してもらっているが、寝たきり、口から飲食不可であり、どのような所へ行けるか心配している。
- ・ 子供の同級生の親との価値観の違いには、閉口するものがあります。
- ・ 私自身、介護される人が居ないので、一番心配だ。
- ・ 現在、共働きで、祖父、祖母が寝込んでしまったら、働けなくなると生活が苦しくなる。
- ・ 私の母親が、私の祖父母を介護しています。その負担が日を迫る毎に大きくなってきている気がして心配しています。特に祖父の介護が大変そうです。祖父はデイサービスもあまり乗り気でなく行こう

としません。

- ・ 夫婦間での子供に対する教育の方針や気かけ方が、かなり違う。
- ・ 介護施設の利用が不明。利用費用が高いと聞いている。
- ・ 他の人は子育てを楽しんでいるように見えるが、自分は楽しむことがあまり出来ず、行き詰まって、子供に暴力をふるわないか、良い母親になれるか不安に思っている。
- ・ 年金がもらえるのかどうか。
- ・ 現在93才の母を世話しているが（60代の夫婦ですが）2人が健康で居ての介護なので、何とか今の状態で続けられれば、と思う（現在、多少介護する方が健康状況が悪くなりつつあるので）。
- ・ 母親が90才の高齢なので、今の所は元気で自分のことが出来るので良いが、先行き不安である。介護制度があるが、どのように利用出来るか心配している。自分も65才となって来ているため、これから体力的に耐えられるかも含めて、不安材料である。
- ・ デイサービスの充実、活用をPRして欲しい。積極的に利用する、出来るように呼びかけて欲しい。
- ・ 介護施設を増やしてください。他の施設はもういらぬ。
- ・ 75才のお父さんが、私の介護、洗濯、炊事一切をしてくれていること。
- ・ 子供達は今の所、友達と仲良くしているけれど、この先いじめも無く、スムーズに行けるだろうか？
- ・ 仕事があるので、なかなか子供と居てあげられない。
- ・ 遊べる公園がない。北勢の支援センターは専用施設じゃないので休み等が多くて困る。
- ・ 名古屋に現在90才の母1人生活していますので、介護のことが心配。
- ・ 母が病院に入院している。医療費が高いので困っている。年金は月4万円なのに、病院が20万円もいる。やっと大部屋に変えてもらったので少しは安くなると思う。
- ・ 子供の登下校が1番心配です。途中から1人になり、大分、家につくまで1人で歩いてこななければならないので、すごく心配です。集団下校を毎日してほしいです。どの地域でも、必ず先生が1人ついて帰ってくるようにしてほしいです。
- ・ 介護をしていて、年金を沢山もらっている人は、グループホームなど良い施設に入れるし、家族も楽出来るが、年金が少なく本人の預金も少なく、これから何年続くか分からない介護に不安になります。
- ・ 学校下校後の学童保育がほしい。特に子供の休み期間。
- ・ 家族が増えて、家の敷地に住んでいます。前は軽の車だったが5人家族ともなると、5人では、どこへも行けないと言って普通車に1年前に変えたので、娘は子供が小さいながらも、パートに出て、娘婿は、外壁の仕事なので雨が降ると仕事が休みで、ほとんどパチンコの開店前には車で出かけて行く。家の敷地は広いので、私が全部税金を払っているし、又、男は草の1本も取らない。女が家で家事をしていたのが、パートに出ると家の中は足の踏み場もなく、もっと夫が手伝ってほしい。パートの仕事先と反対の方の保育園に子供を預けているので、ガソリン代と、又、買物に寄って来て、何のためのパートに行くのかわからない。そんな家庭では全部ではないと思うが、女は朝起きて床に付くまで主婦業。それに比べ男の人は本当に。家庭内は、誰それと決ってないのだからもっと協力してやってほしい。女がパートに出て高ガソリン代を払って、雨降りに男はパチンコでは？
- ・ 両親が高齢のため、介護のことで少し不安になることがある。
- ・ 認知症の人と生活しています。負荷がどこまで耐えられるか不安である。先が不明です。
- ・ 保育園が古く、とても子供の体に良いとは思えません。みんながお昼寝をしている部屋は、下水の匂いで時々大変臭いです。土地だけ買ってあるのに建てないのはおかしいです。建設しないのなら土地を売り、そのお金で子供達に、空気清浄機を買ってください。石樽ばかり良くなり不公平です。
- ・ 今のところうまくやっていますが、これ以上、手が掛かる様になった時はどうなるのか不安です。障害者自立支援がとても現実の生活と沿わない法律なので、これから地域でどの様に生活できるのか具体的なことが何も分からず不安です。
- ・ 高齢者の転倒による寝たきり。
- ・ 子供について：声が小さく、話下手な事。自分の意見を言わない。
- ・ 思春期を迎える子供と、どう付き合ったらよいか。

- ・ 現在、家計が苦しい状態が続いていますが、この先、両親に介護が必要になった場合、金銭的な援助がどの位受けられるか、税金やローン等をどの様に払っていけるかが心配です。
- ・ 保険。老人への負担額が圧迫している。
- ・ 保育園が、新しくなる事で家から遠くなるので、おばあちゃんにお迎えを頼めなくなる（車に乗れない）ので、働く事が難しくなる。バス（送迎）を出してほしい。
- ・ 今、姑が81才と高齢であり、近い将来、介護が必要になって来ると思う。経済的な不安もあるが自分も体力的に介護が不可能になると思う。老々介護の現実をどう乗り越えて行くか不安である。
- ・ 81才の母、今は健康であるが、自分も60才を過ぎ老々介護となる恐れあり。
- ・ 息子になかなか結婚する気がなくて困っています。
- ・ 介護する人の確保。
- ・ 老人を狙った悪徳業者を以前見かけた。
- ・ いなべは、病状保育がない。働いて子供が病気すると仕事を休まなければならない。
- ・ 自分の子供が高度なアトピー性皮膚炎。
- ・ 明日も動けると思い眠りますが、体力の限りが段々と見えて来る不安。
- ・ 高齢者がみえるので介護が心配です（今は元気にしてみえるけれど）。私に病気が有るから。
- ・ 高齢者の食事量。注意することが出来ない。
- ・ 現在、介護が必要な高齢者はいませんが、祖母が高齢で、最近、認知症の症状が出てきて、昼間、家に1人であるので心配です。両親も共働きなので火事や悪徳商法等、事故が起こらないか気がかりです。
- ・ 子供の生活面で、近所の子が、我が家を頼ってきています。“お腹空いた”“家に誰もいない”など。その子が心配になります。
- ・ 学校の登下校で、気をつけるように言っていますが、1人で帰る事がないように学校でも話して頂きたい。
- ・ 知り合いが近くに居ないので、すぐ相談することが出来ない。
- ・ 私自身も年を取ってくる為、義母の介護に不安があります。桑名市役所が運営して、駐在所の空家などでデイサービスがされているとのこと。ボランティア等で週1～2回しているとのこと。いなべ市でも空家を利用して週2～3回でも自宅近くで楽しめる所を作って頂きたいです！
- ・ 目が不自由な母親がいるので、外泊は出来ない。母は外へは出たがらないし、思えばかわいそうで仕方ない。でも私が面倒みているので本人は満足している。介護保険料は多く納めているのに何の役にも立たない。矛盾している。市の認識不足。
- ・ 現在は介護が必要ないが、必要となった場合、自分は仕事を辞めなくてはいけないだろうか。そうすると収入が少なくなり非常に困る。
- ・ 父、母が80才を過ぎています。私自身も60才近くなって来て膝が痛い、腰が痛い、の日々です。両親が寝込んだ時どうすればいいのか、今から不安です。
- ・ 子供が結婚していないこと。
- ・ 障害者の働き口。
- ・ 子供への安定した生活を続けること。
- ・ 私は耳が遠いから不安に思っている。
- ・ 子供の習いごとで旦那ともめること。旦那は自分の話は聞いて欲しくて、私の話は聞いてくれない。
- ・ 母が高齢なので、自分が弱いので、介護が出来るか心配です。
- ・ 子供がゲームのことにしか考えていない。
- ・ 働きたいのに介護認定からは外れて働けない。会社のパートさんの話を聞くと、何の為の介護保険か分からない。どこかで甘い汁を吸っている人がいるんだと思う。
- ・ 75才以上の老人がおり、寝込んだ時に介護してもらえる施設をもっと多く作ってもらいたい。順番待ちとか無いように、税金の使い方をもっと考えてもらいたい。市の職員や公務員が多すぎる。合併の効果が出ていない。人件費を少なくして福祉に役立ててもらいたい。
- ・ 悔いの無い子育てと子供の将来（希望の職業）。

- ・ 息子家族の事が心配です。息子が転職で収入が少なく、3人の孫には、これから教育費が必要です。親2人で必死で働き、生活していますが、長男（私からは孫）が高1で、通学費を含め、出費が家計を圧迫しています。せめて下が高校卒業まで元気で親子共々生活出来る（最低限）制度、ほしいと思います。欲しい物がすぐ手に入る、他のお子さんとは違い、辛抱、我慢、思いやりは三人共、今のところあり、病弱の私を心配してくれます。このまま健やかに成長してくれる事のみ願っています。何もしてやれない自分が情けない。
- ・ 介護してもらえないと思います。1人になったらホームへ入りたいと思っていますが、もう少し安い介護ホームになったら良いと思います。
- ・ 義母が入院したばかりなので、今は病院の方でお世話になれますが、3ヵ月後家に帰って来た場合、私まで働けなくなるのではと。
- ・ 介護までお金が回るか心配。
- ・ 教育費。
- ・ 自治会老人会の役職を賜って2年。老人への虐待が随所に隠れています。
- ・ 高齢者を抱えているので、将来病院で介護してほしい。
- ・ 員弁町には幼稚園がない。保育園は資格制限があり、自由に入れない。希望する全員の子供を保育園しかないのなら、入れるようにしてほしい。制限するなら幼稚園を作ってくれ。（あくまで公立で。私立なら津田があるが？）
- ・ 自宅で介護したくても充分にしてあげられない為に、施設にお世話にならざるを得ないこと。
- ・ もし家族で介護が必要な事態になった時、福祉制度のことが全く分からないため、どうしたら良いのか分からない。また、自分の仕事は続けていくことができるのか不安に思う。
- ・ 将来、介護の必要な両親と、同居したいと思っているが、今の家では狭いので、増築、又は新築しなければならないこと。
- ・ 医療費が高くなると、面倒が見れない。老人を預かってくれる（父、母）の場所があるのか？
- ・ これから先、母親にどのくらい手が掛かるかが心配ですが、その時に考えればよいと思っている。
- ・ 老人ホーム。学校の立地。設備の不足。
- ・ 介護をする方もされる方も1人では難しい。
- ・ 介護について、保険料の金額が、私達が受けようとした時、今の2倍や3倍にならないか心配です。払うお金が無いので、介護が受けられないというのは絶対無くして欲しいです。みんなが平等に受けられるか不安です。
- ・ まだ考えたことがありません。
- ・ 社会で生きていく力をもった大人が育っていくのかどうか。
- ・ 不安や悩みはないとは言えませんが。子育てについては後になって“あの時ああやって子育てしていれば”と後悔しなくてもよいように親として子供に体当たりでかかわっているつもりです。もし何か問題が生じて、それは私たち自身の子育ての結果として受けとめる覚悟で子育てしているつもりです。家族の介護は、祖母・父・母と同居していますが、介護が必要になれば仕事をやめて介護したいと考えており、今皆が元気なうちは家のことは祖母・母・父にまかせ、精一杯仕事にうちこませています。
- ・ 社会通念上することを守ってほしい。
- ・ 子育て・介護にはお金がかかる為、女性のパート収入と本人の給料では足りない。
- ・ 夫婦二人暮らしであるが、一人が倒れたり、一人きりになった時、どんな施設にたよればいいのか不安である。
- ・ 子供が進んで勉強をしてくれれば良いと思う。自分も出来なかったが、漢字とか必要なものもある。
- ・ 通学路で暗い所があるので、帰りが遅くなる時、大丈夫か心配することがあります。
- ・ 共働きの為、親の病院や介護で会社を休んだり、辞めて面倒をみなければならない事。
- ・ 施設にすぐに入れない。
- ・ 孫の子育てですが、はっきりだめな事はだめと言っていますが、つい親の前ではだまってしまう私が

います。

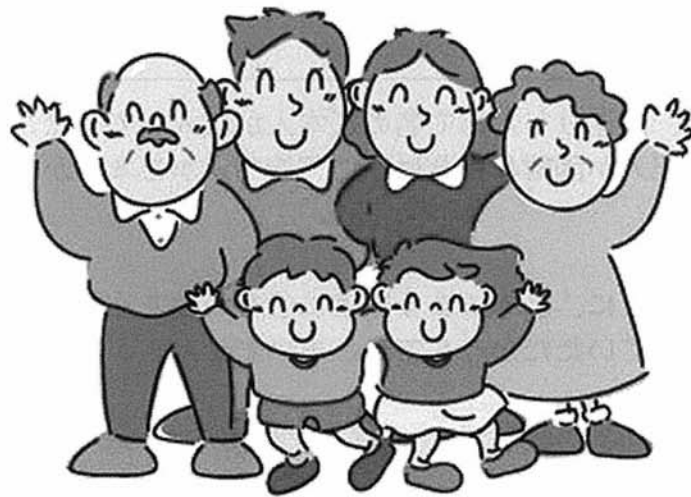
- ・ 老いて介護が出来ないだろう。
- ・ 妻の痴呆症？で桑名の方へ嫁いでいる娘に介護に来てもらっているのが一番の悩み。私も81才であるが、夏の太陽にはホントに弱くなってしまった。
- ・ 子育てや介護に金額が多くかかるということは家族のものには大変なことです。生活していくのが精一杯の世の中です。
- ・ 家族が病気で生活に不安があり、どう対処していいのかわからない。
- ・ 将来、仕事と介護と両立していくことが。
- ・ 仕事を持っているので親の介護が必要になった時、どの程度のサービスを期待できるか。
- ・ 現在、両親とも健康でいるが、近い将来介護が必要になるだろうと考えると不安に思う。
- ・ 離れて生活している親が高齢になり、面倒を見るため時々実家に帰っているが、同居しようか考え中です。
- ・ 小学生の子供の下校時が不安です。町や地区でもう少し対策を考えてほしい。
- ・ お年寄りになって介護される事やする事が大変だなーと最近つくづく思う。
- ・ 交通が不便な為、病院の送り迎えが大変。
- ・ 保育園、小学校に行く様になったら、母親は8時～5時までの勤めでなくて、子供は宝であると云う事を良く心におぼえる。表向きだけではダメ。勤めは行くなら9時～3時（パートで良い）。もっと食べる物を節約して子供を守る事です。
- ・ 自分がほとんど不規則な職業の為、この先、子育てで精一杯の妻に老人（親）の面倒は負担が大きすぎるのではと思う。
- ・ 子育ての中、手のかかる様になってきた老人の世話が負担になってきている。家計がえらくても、まともに働けない。
- ・ 不安な生活を送ることがない様、アンケートを無視せず安心出来る様にしてください。
- ・ 近くに学童保育が無い為に働きにくい。
- ・ 最近子供をねらった犯罪が多いので心配です。
- ・ 介護施設の不足（どの施設も入所待ちで、いつになるか不明）。
- ・ 息子の孫への子育てが不安に思う。
- ・ 本人が希望する介護サービスを受けられるような状況が出来て欲しい。在宅を基本に望む人が多数を占めると思われるが、医療・介護・地域のネットが繋がっていけば、家族の負担が少ない選択が可能になるのでは？
- ・ 90才の姑がこの度胃ガンの全摘出手術を受けるので、後の食事や生活パターンが変わるので、どの様に対処すべきかわかなくて不安になっている（私68才）。
- ・ 子供が障害を持っているので、親亡き後の生活が心配です。地域の中学校に共在共学出来るのか？将来の就職先はあるのか？
- ・ 高齢者が3人おり、子供はまだ小学校の低学年という事もあり、今の収入だけでは将来やっていけるのか、高齢者の1人はすでに入院しており、あとの2人もいつ病気や介護が必要になってもおかしくない事が不安である。
- ・ 子どもが遠くにいるため、何かあった時のことが心配です。両親が健康であることは嬉しいことだが、4人が同時に病んだ時、仕事との両立をどうするか。
- ・ 父母が動けなくなった時。
- ・ なかなか人に任せられない、かと言って任せると「大丈夫だろうか？」と不安になります。子育てよりも介護の方にもっと力を入れて欲しいと思います。「他へ行きたい。いなべに居たくない！」→「最後はいなべで」という声に皆を変えてください。不安は前進の第一歩です。よろしくお祈りします。
- ・ 祖母が要介護2であり、これから先目が離せなくなった時、仕事に行けなくなったら自分の収入が無くなるため先が不安。
- ・ 国民年金額またはそれに近い収入でぜいたくでなくて良い、若い人達に（出来るだけ）迷惑をかけない介護をしてくださる所を考えてほしい。

- ・ 83才のばあさんがいますが、なかなか頑固で言う事を聞く耳がありません。また下の事などでも悩んでいます。下着をつけたがりません。また、手も不自由です。片方の5本指がリュウマチでそっぺっています。こちらがストレスでいっぱいです。
- ・ しつけ。
- ・ 相談できる場所が分かりにくい。サポート内容が不明。
- ・ 救急医療機関が遠いため、緊急事態が生じた時の救急車の交通所要時間が不安である。
- ・ 高齢者の方が増えてきたから、デイサービス、施設、子供からお年寄りみんなが楽しめる施設があるといい。
- ・ 子育てについては、将来の子どもの学費が高額と予想されるので心配している。
- ・ 家族の介護で町なり民間なり利用出来るのですが、本人（介護される側）が嫌がって行きたがらないので現状は在宅です。今現在でも友人がいないので、主人は友達が出来から週2回ぐらいデイサービスを利用するとよいと何度も説得するのですが、なかなか話が進行しません。ボケてはいないのですが、歩行が少し悪いのとトイレを汚して困るのです。
- ・ 介護施設なども増えてはいますが、自分達がお世話になるまでには金額的な事も含めて、どうなるのか心配です（今40代）。もっと増やして行って頂きたいと思います。
- ・ 私はいずれ家を出てしまうので、親の介護が必要になったとき、心配。何をやるにもお金がかかるし、もっと福祉関係のこと充実させてほしい。
- ・ バブル崩壊後のまだ経済の回復していない社会に子供達を送り出さなければならないのは非常に不安です。親はまだ介護が必要な状態ではありませんが、介護する私あまり丈夫な方じゃないので介護が必要になったら私の方も寝込んでしまうのではないかと不安です。
- ・ 夫の仕事内容が神経を使うものなので、ストレスのたまりすぎで色々な病気にならないか、労働時間なども体調に支障のない様にしてほしい。子育てについては、これから成長するにつれ色々な問題が出てくると思うので、その都度、親や先輩の方々に相談していきたい。
- ・ 旦那の親を介護する時がきたら、できるか不安。
- ・ 今後、親が病気や怪我をした時、医者通いに付き添ったりしなければならなくなると、勤めを辞めなくてはならなくなると、収入が減ると生活がより苦しくなるなど、不安です。
- ・ 子供の友達親子を呼ぶことを嫌う配偶者の下で幅広く人と係わりあえる子に育ててあげられるか不安。
- ・ 家の近くで介護施設がない。地域ごとに1ヶ所くらい利用できるグループホーム等必要な。
- ・ 高齢の家族が将来寝たきりになった時、身内で面倒をみきれない場合どうすればよいか？施設は？費用は？
- ・ 子供に注意しても中々理解がむつかしく実行しない。危機感がない！
- ・ 老夫婦の介護。
- ・ 子供の就職と結婚。
- ・ いなべ市になってから住みにくくなった気がします。
- ・ 書いても改善されないなので内容は書けません。
- ・ 母をある施設に預けているが、その費用が月約13~14万円で自分の預金も残り少ない。このままあと半年もすれば残金は0となり、母を家に戻せば生活が成り立たない。
- ・ 病気になったら家で見てもらえないと思うと不安。
- ・ 仕事を持っている現在、父や母の介護が必要になってきた時、生活はどうなっていくのか？不安を感じています。
- ・ 高齢者だけではなく、障害者(児)の地域・自宅での生活について対策や措置をして頂き、よりよいまちをつくってほしい。
- ・ 子供の教育・環境を思う時、道徳や思いやりといった面で不安があります。今は何でも相手が悪い、学校が悪いと親が強くて出て来る状況があり、また逆に学校、教師も立場とか世間を一番にする等、本来の意図がずれてきている事に不安があります。
- ・ 高校生活がきちんと送れるか問題（勉強、友達、スポーツ等）。

- 子育て期間や高齢の親の介護のため仕事に出られない人もいますので、そういう人たちでも働けるようになれば良いと思う。実際、子育て中や介護のためにお金も必要となってくるのに仕事に出られず収入が得られないので、そういう場合、仕事をできるように相談できる窓口などあればよいと思う。
- 介護とは何か！？ 今後、どんどん変化していく社会保障制度、各サービスについて具体的に制度を利用していくことができるか！？
- 高齢者の介護をしている中で現在の介護に関する決まりごとにかかなりの矛盾を感じます。これから先、まだまだ介護が続くので不安ばかりです。
- 子どもの進学先や就職先が少ないこと。遠くになってしまうこと。
- 義母の介護(寝たっきり)で自分自身60才近くなり、自分の体がいつまでつづくか心配です。施設に入れるにも金銭面でとても入所させるだけの余裕がありません。
- 子どもたちが仕事につくことができるか。家庭を持つことができるか。
- 子育てはかなり後半にさしかかっているが、土地柄、女性の負担が他地域より重い。介護ももっと行政の側が積極的にかかわってほしい。

豊かなくらしと

お互いを尊重するまちづくりに関する調査



いなべ市

『豊かなくらしとお互いを尊重するまちづくりに関する調査』へのご協力をお願い

市民のみなさまには、日ごろから市政の発展のために何かとご協力いただきましてありがとうございます。

さて、いなべ市では市民のみなさまのご協力のもと、いなべ市総合計画「新生いなべいきいきプラン」を策定し、各種の施策に取り組んでおります。その一環として、「豊かなくらしとお互いを尊重するまちづくり」に向けての事業を進めていくために、市民のみなさまのお考えを広く聞かせていただきたいと思います。

この調査は、無記名のうえ、回答はコンピューターで統計的に処理するため、回答者個々の回答内容を公表したり、他の目的に使用したりすることはありませんので、あなたの日ごろのお考えを率直にご記入ください。

ご多忙のところお手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成18年9月

いなべ市

《回答にあたってのお願い》

- (1) この調査票は、お送りしたあて名のご本人が記入してください。
ご本人による記入が困難な場合は、ご家族などがご本人から聞き取って代筆してください。
- (2) 回答は、質問ごとに、あてはまる数字に○をつけてください。回答しにくい質問には、答えていただかなくてもかまいません。
- (3) 質問によって、回答の数が「1つ」「あてはまるものすべて」となっていますので、注意して記入してください。自由に書いていただく箇所もあります。
- (4) 回答を記入の上、9月30日(土)までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手をはったり、差出人の名前を書く必要はありません。

この調査について、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

いなべ市 福祉部 人権啓発課

〒 511-0292

いなべ市大安町大井田2705番地

電話 78-3508 FAX 78-1114

豊かなくらしとお互いを尊重するまちづくりに関する調査

問1 あなたの家族についてお聞きします。

(1) あなたと同居している家族は、どのような構成ですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 1人暮らし(単身世帯) | 2. 夫婦のみ(一世代世帯) |
| 3. 親と未婚の子ども(核家族) | 4. 親と子ども夫婦(二世代世帯) |
| 5. 親と子ども夫婦と孫(三世代世帯) | 6. その他() |

(2) あなたと同居している家族の中に、次のような子どもはおられますか。

(あてはまる子どもすべてに○をつけてください)

- | | | |
|--------|---------------------|--------|
| 1. 乳幼児 | 2. 小学生 | 3. 中学生 |
| 4. 高校生 | 5. 高校は行っていない(18歳未満) | |

(3) (2) で○をつけた方にお聞きします。子どものことで心配なことはありますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. しつけがうまくできないこと | 2. 病気がちな健康のこと |
| 3. 友達ができないこと | 4. 学校にいきたがらないこと |
| 5. 他の子どもからのいじめのこと | 6. 成績がよくないこと |
| 7. ゲームばかりしていること | 8. 携帯電話の料金や使い方のこと |
| 9. 登下校の安全のこと | 10. 進学や就職のこと |
| 11. 男女交際のこと | 12. その他() |
| 13. 特になし | |

(4) あなたと同居している家族の中に、高齢(65歳以上)のために介護や世話の必要な方がおられますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

(5) (4) で「1. いる」に○をつけた方にお聞きします。その方は、どこで生活されていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 在宅 | 2. 病院 | 3. 施設 | 4. その他() |
|-------|-------|-------|-----------|

(6) (5) で「1. 在宅」に○をつけた方にお聞きします。主に介護や世話をしている方はどなたですか。介護や世話を受けている方から見た続柄でお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------------|-------------------|-------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 父親 | 3. 母親 | 4. 兄弟・姉妹 |
| 5. 同居の子ども・子どもの配偶者 | 6. 別居の子ども・子どもの配偶者 | | |
| 7. その他() | | | |

問2 あなたの住まいについてお聞きします。

(1) 現在の住まい(住居)はどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------|-----------|---------|
| 1. 持ち家 | 2. マンション | 3. 公営住宅 |
| 4. 民間の借家・賃貸マンション | 5. アパート | |
| 6. 社宅・寮 | 7. その他() | |

(2) あなたは、現在の住まいに何年間お住まいですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|----------|------------|----------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年～9年 | 3. 10年～19年 | 4. 20年以上 |
|---------|----------|------------|----------|

問3 あなたの家庭のくらし向きについて、お聞きします。

(1) あなたの家庭のくらし向きは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. かなり余裕がある | 2. 少しは余裕がある | 3. 普通 |
| 4. 少し苦しい | 5. 非常に苦しい | |

(2) あなたやあなたの家庭で、日ごろ何とかしなければならぬと思っていることにはどのようなことがありますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 子育てや子どもの進学・就職のこと | 2. 子どもや自分の結婚のこと |
| 3. 家業に後継者がいないこと | 4. 家族の病気やけがのこと |
| 5. 高齢者や病人の介護のこと | 6. 近所づきあいのこと |
| 7. 相談相手が少ないこと | 8. 自分の老後のこと |
| 9. 年金のこと | 10. 医療費が高くなったこと |
| 11. 仕事が見つからないこと | 12. 労働時間が長いこと |
| 13. 通勤時間がかかること | 14. 商売がうまくいかないこと |
| 15. 収入・給料が少ないこと | 16. 税金が高いこと |
| 17. 物価が高いこと | 18. 借金・ローンの返済のこと |
| 19. 子どもや高齢者に対する虐待のこと | 20. 配偶者や恋人からの暴力のこと |
| 21. その他() | 22. 特にない |

(3) 自分の将来や老後のことで、不安に思っていることや悩んでいることがあれば自由に書いてください。

(4) 子育てや家族の介護のことで、不安に思っていることや悩んでいることがあれば自由に書いてください。

問4 あなた（と家族）が住んでいる地域で、次にあげてあることは、この10年間でよくなったと思いますか。

(1) 道路・住宅などの生活環境がよくなった。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(2) 働く場所がふえた。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(3) 暮らしの面で利用できる施設がふえた。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(4) 大学に進学する子どもたちがふえた。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(5) 結婚する2人の意志が尊重されるようになった。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(6) 社会的な活動に参加する女性がふえた。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(7) 昔からのしきたりにこだわらなくなった。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(8) 他の地域の人たちと交流する機会がふえた。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(9) 住民相互のまとまりや助け合いが進んだ。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(10) 地域の行事に参加する人が多くなった。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(11) お互いの人権が尊重されるようになった。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

問5 現在、あなた(と家族)が住んでいる地域に、このまま住み続けたいですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. できれば引っ越したい |
| 3. わからない | 4. その他() |

問6 あなた(と家族)が住んでいる地域で、日ごろ何とかしなければならぬと思っていることにはどのようなことがありますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 子どもや青年が少ないこと | 2. 後継者がいないこと |
| 3. 下水道の整備が遅れていること | 4. ゴミの処理のこと |
| 5. 障害者や高齢者が利用できる交通機関が少ないこと | 6. 交通が不便なこと |
| 7. 公共施設(市の施設など)が遠いこと | 8. 医療機関が遠いこと |
| 9. 救急・休日・夜間の診療体制が不十分なこと | 10. 地元の仕事がないこと |
| 11. 住民相互のまとまりが乏しいこと | 12. 買い物が不便なこと |
| 13. 子どもの遊び場や運動する場所が少ないこと | 14. 子どものいじめ・不登校のこと |
| 15. 介護を必要とする高齢者のいる世帯のこと | 16. 高齢者介護の施設が少ないこと |
| 17. 障害児(者)の世帯のこと | 18. 母子・父子世帯のこと |
| 19. 子どもや高齢者に対する虐待のこと | 20. 配偶者や恋人からの暴力のこと |
| 21. その他() | 22. 特にない |

問7 地域における活動についてお聞きします。

(1) あなたは現在、地域でどのような活動に参加されていますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. 町内会・自治会 | 2. 婦人会・女性団体 | 3. 老人クラブ・高齢者団体 |
| 4. 青年団・青年団体 | 5. スポーツ団体 | 6. 子ども会 |
| 7. 青少年育成 | 8. P T A・保護者会 | 9. 障害者団体 |
| 10. ボランティア | 11. 人権教育・啓発 | 12. 教養・趣味のサークル |
| 13. 消防団・自警団 | 14. その他 () | |
| 15. 特に参加していない | | |

(2) (1) で「15. 特に参加していない」に○をつけた方にお聞きします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 仕事が忙しい | 2. 病気がちである |
| 3. 高齢である | 4. 病人や高齢者の介護 |
| 5. 家事・育児で忙しい | 6. 他にやりたいことがある |
| 7. 一緒に活動する仲間がない | 8. 参加の仕方がわからない |
| 9. 関心がない | 10. その他 () |

問8 あなた(と家族)が住んでいる地域で、お互いを尊重しながらまちづくりを進めていく上で、次のようなことはどのように思われますか。

(1) 今の日本では、男女の仕事や役割に関して、「男は仕事、女は家庭」「男は外、女は内」「男は主、女は従」といった考え方が存在しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. おかしいと思う。
2. 少しおかしいと思う。
3. それほどおかしいとは思わない。
4. おかしいとは思わない。
5. わからない。

(2) 結婚に際して、いろいろな理由で家族やまわりの人々が反対することがあります。このことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. 当人同士の合意があればよい。
2. どちらかといえば、当人同士の合意が、より尊重されるべきである。
3. どちらかといえば、家族やまわりの人々の意見が、より尊重されるべきである。
4. 家族やまわりの人々の意見が尊重されるべきである。
5. わからない

(3) 自治会の役員に女性が少ないことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. おかしいと思う。
2. 少しおかしいと思う。
3. それほどおかしいとは思わない。
4. おかしいとは思わない。
5. わからない。

(4) 結婚の相手を決めるときに家柄を問題にすることについて、あなたはどのように思いますか。
(○は1つ)

1. おかしいと思う。
2. 少しおかしいと思う。
3. それほどおかしいとは思わない。
4. おかしいとは思わない。
5. わからない。

(5) お互いを尊重する地域づくりのためには、自治会の役割が重要だという意見があります。
このことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(6) 今、どこの地域でも高齢化が進行しています。あなたの地域では高齢者は大切にされていると思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(7) あなたの地域は、障害者が安心して生活できる地域だと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(8) 今、いなべ市在住の外国人が増えています。あなたの地域は、外国人にとって住みやすい地域だと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

問9 今の日本社会について、次のような考え方があります。

これについてあなたはどのように思いますか。

(1) 今の日本は、「格差」が拡大している社会である。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(2) 今の日本は、人権が守られている社会である。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

(3) 今の日本は、努力してもなかなか報われない社会である。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

問10 日ごろ、地域の人が利用する施設についてお聞きします。

(1) 身近に、地域の人が集まったり、話し合ったりする施設がありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

(2) (1) で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします。

ア. その施設はどんな施設ですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| 1. 市の施設 | 2. 自治会の施設 | 3. その他 () |
|---------|-----------|------------|

イ. その施設を、あなたは利用されていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. よく利用する | 2. ときどき利用する |
| 3. あまり利用しない | 4. 利用しない |

問11 あなたは、四町合併後、次のいなべ市の施設を利用したことがありますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

〔文化施設〕

- | | | |
|--------------------|-------------------|-------------|
| 1. 中央公民館 (旧大安文化会館) | 2. 中央児童センター (○△□) | |
| 3. 北勢市民会館 | 4. 員弁コミュニティプラザ | 5. 藤原文化センター |
| 6. ウッドヘッド三重 | 7. 大安図書館 | 8. 北勢図書館 |
| 9. 員弁図書館 | 10. 藤原図書館 | 11. 郷土資料館 |
| 12. 屋根のない学校 | 13. 藤原岳自然科学館 | |

〔スポーツ施設〕

- | | | |
|---|------------------------------|----------------|
| 14. 員弁運動公園 (体育館・テニスコート・野球場・運動場・サッカー場・プール) | | |
| 15. 大安スポーツ公園 (体育館・テニスコート・野球場・運動場・スパーク大安) | | |
| 16. 北勢体育館 | 17. 北勢武道場 | 18. 北勢テニスコート |
| 19. 大安武道館 | 20. 大安海洋センター (B & G) 体育館・武道館 | |
| 21. 大安西部運動場 | 22. 北勢運動場・フットサルコート | |
| 23. 北勢其原グラウンド | 24. 北勢中山グラウンド | 25. 員弁市之原野球場 |
| 26. 藤原第1野球場 | 27. 藤原第2野球場 | 28. 藤原運動場 |
| 29. 北勢プール | 30. 大安海洋センタープール | 31. 大安海洋センター艇庫 |

〔福祉施設〕

- | | | |
|------------------------|-------------------|------------------|
| 32. 北勢福祉センター | 33. 大安老人福祉センター | 34. 員弁老人福祉センター |
| 35. 員弁健康センター | 36. 藤原社会福祉センター | 37. 藤原デイサービスセンター |
| 38. 藤原高齢者生活支援センター「いこい」 | 39. 高齢者等研修施設「熟人荘」 | |
| 40. 阿下喜温泉「あじさいの里」 | | |

〔その他の施設〕

- | | | |
|---------------------|------------------|--------------|
| 41. いなべ公園 | 42. エコ福祉広場 | 43. 梅林公園 |
| 44. 青少年野外活動施設 | 45. 北勢斎場 | 46. 朝市「うりぼう」 |
| 47. 農産物等販売施設「ふじのいち」 | 48. 青川峡キャンピングパーク | |

問12 あなたは、四町合併後、いなべ市が福祉施策としておこなっている次のような事業に参加したり、利用したりしたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. PROJECT Love&Live (プロジェクトL&L) | 2. いなべ市民人権フェスティバル |
| 3. 心配ごと相談 | 4. ファミリーサポートセンターの事業 |
| 5. 地域包括支援センターの事業 | 6. 家庭児童相談室の事業 |
| 7. 子育て支援センターの事業 | 8. 住民検診 |
| 9. 健康相談 | |

問13 最後にご自身のことについてお聞きします。

(1) あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

(2) あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

(3) あなたが最後に卒業された学校は、次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 不就学、小学校 | 2. 中学校、(高等小学校) |
| 3. 高校、(旧制中学校) | 4. 高等専門学校、短期大学、(旧制高等学校) |
| 5. 大学、大学院 | |

(4) あなたの仕事は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 自営業主 (農業・林業をふくむ)
2. 家族従事者 (自営業を手伝っている人)
3. 会社 (企業) や団体の経営者・管理者・役員
4. 常雇の被雇用者 (官公庁、会社などに正社員・正職員で雇われている人)
5. 被雇用者のうち、日雇い・臨時雇い・派遣社員・パートタイマー
6. 学生・無職

(5) あなたのお住まいは、いなべ市のどこですか。小学校区でお答えください。(○は1つ)

[北勢地区]

1. 阿下喜小学校区
2. 治田小学校区
3. 十社小学校区
4. 山郷小学校区

[員弁地区]

5. 員弁西小学校区
6. 員弁東小学校区

[大安地区]

7. 笠間小学校区
8. 三里小学校区
9. 石榑小学校区
10. 丹生川小学校区

[藤原地区]

11. 東藤原小学校区
12. 西藤原小学校区
13. 白瀬小学校区
14. 立田小学校区
15. 中里小学校区

※調査にご協力いただき、ありがとうございました。

本報告書は、梅田修（滋賀大学生涯学習教育研究センター）が作成した原案をいなべ市が検討し、それにもとづいて梅田が加筆・修正して完成させたものである。

豊かなくらしとお互いを尊重する まちづくりに関する調査報告書

平成19年3月

発行 三重県いなべ市（福祉部人権啓発課）
〒511-0292 いなべ市大安町大井田2705
印刷 マルキ印刷株式会社
〒520-0846 大津市富士見台12-8
